

高齡者保健福祉実態調査報告書

令和8年3月

富 山 市

目 次

I 調査の概要

1 調査目的-----	1
2 調査の内容	
3 調査対象者	
4 調査方法	
5 調査期間	
6 回収結果	
7 回答者の属性-----	2

II 調査結果の要約----- 4

III 調査結果

1 家族や生活状況について-----	8
2 からだを動かすことについて-----	21
3 食べることについて-----	31
4 毎日の生活について-----	36
5 地域での活動について-----	57
6 たすけあいについて-----	60
7 健康について-----	66
8 認知症について-----	78
9 高齢者福祉について-----	88
10 医療について-----	98

IV 調査票-----104

この冊子のみかた

1. 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入した。そのため、単数回答（SA：複数の選択肢から1つだけ選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合がある。
2. 複数回答（MA：複数の選択肢から2つ以上の回答を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの回答数に対して、それぞれの場合を示しています。そのため、合計は概ね100.0%を超える。
3. 図表中において「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なもの。
4. クロス集計では、各属性に「無回答」があるため、属性の合計と全体が一致しない場合がある。
5. 図表中の「N」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表す。

I 調査の概要

I 調査の概要

1 調査目的

次期富山市高齢者総合福祉プラン（令和9～11年度）策定のための基礎資料とするため、対象となる高齢者の生活実態、保健・福祉・介護保険に係るサービス、施策・制度等に関する意向等を把握することを目的とする。

2 調査の内容

- （1）回答者の属性
- （2）家族や生活状況について
- （3）からだを動かすことについて
- （4）食えることについて
- （5）毎日の生活について
- （6）地域での活動について
- （7）たすけあいについて
- （8）健康について
- （9）認知症について
- （10）高齢者福祉について
- （11）医療について

3 調査対象者

- ・富山市在住の65歳以上の男女の内、要介護1～5の認定を受けていない方
- ・富山市内18圏域ごとに200人ずつ（計3,600人）を無作為抽出

4 調査方法

郵送返送方式

5 調査期間

令和8年2月3日～2月13日

6 回収結果

配布数	有効回答数	回収率
3,600	2,470	68.6%

7 回答者の属性

(1) 性別・年齢別（上段：件数、下段：％）

	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳～89歳	90歳以上	無回答	計
全体	499 20.2	565 22.9	707 28.6	395 16.0	196 7.9	90 3.6	18 0.7	2,470 100.0
男性	250 20.6	281 23.1	348 28.6	206 16.9	93 7.6	35 2.9	3 0.2	1,216 100.0
女性	246 20.2	276 22.7	353 29.0	186 15.3	100 8.2	53 4.4	3 0.2	1,217 100.0

(2) アンケートの記入者（上段：件数、下段：％）

		あなた (ご本人)	ご家族 (ご本人からの 聞き取りにより 記入)	その他 (ご本人からの 聞き取りにより 記入)	無回答	計
全体		2,296 93.0	131 5.3	6 0.2	37 1.5	2,470 100
性別	男性	1,143 94.0	61 5.0	4 0.3	8 0.7	1,216 100
	女性	1,135 93.3	70 5.8	2 0.2	10 0.8	1,217 100
年齢別	65歳～69歳	484 97.0	14 2.8	1 0.2	0 0.0	499 100
	70歳～74歳	542 95.9	17 3.0	0 0.0	6 1.1	565 100
	75歳～79歳	671 94.9	30 4.2	1 0.1	5 0.7	707 100
	80歳～84歳	360 91.1	29 7.3	3 0.8	3 0.8	395 100
	85歳～89歳	174 88.8	18 9.2	0 0.0	4 2.0	196 100
	90歳以上	62 68.9	22 24.4	1 1.1	5 5.6	90 100

(3) 要介護認定（上段：件数、下段：％）

		受けていない	事業対象者	要支援1	要支援2	無回答	合計
全体		2,255 91.3	5 0.2	72 2.9	54 2.2	84 3.4	2,470 100
性別	男性	1,135 93.3	2 0.2	29 2.4	13 1.1	37 3.0	1,216 100.0
	女性	1,097 90.1	3 0.2	42 3.5	41 3.4	34 2.8	1,217 100.0
年齢別	65歳～69歳	486 97.4	1 0.2	5 1.0	0 0.0	7 1.4	499 100.0
	70歳～74歳	542 95.9	1 0.2	6 1.1	1 0.2	15 2.7	565 100.0
	75歳～79歳	669 94.6	1 0.1	13 1.8	6 0.8	18 2.5	707 100.0
	80歳～84歳	353 89.4	1 0.3	16 4.1	11 2.8	14 3.5	395 100.0
	85歳～89歳	146 74.5	0 0.0	23 11.7	14 7.1	13 6.6	196 100.0
	90歳以上	51 56.7	1 1.1	9 10.0	22 24.4	7 7.8	90 100.0

(4) 居住地域

圏域・地域	件数（人）	%
総曲輪、愛宕、安野屋、八人町、五番町、柳町、清水町、星井町	144	5.8
東部、山室	147	6.0
西田地方、堀川、光陽	138	5.6
堀川南、蜷川	119	4.8
奥田、奥田北	131	5.3
桜谷、五福、神明	142	5.7
岩瀬、萩浦、大広田、浜黒崎	138	5.6
針原、豊田	131	5.3
広田、新庄、新庄北	134	5.4
藤ノ木、山室中部	115	4.7
太田、新保、熊野、月岡	136	5.5
四方、八幡、草島、倉垣	133	5.4
呉羽、長岡、寒江、古沢、老田、池多	138	5.6
水橋中部、水橋西部、水橋東部、三郷、上条	141	5.7
(富山地域 計)	1,887	76.4
大沢野地域、細入地域	144	5.8
大山地域	143	5.8
八尾地域、山田地域	147	6.0
婦中地域	137	5.5
無回答	12	0.5
合計	2,470	100.0

Ⅱ 調査結果の要約

Ⅱ 調査結果の要約

1 家族や生活状況について

同居状況は、「1人暮らし」が16.8%、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が39.6%、「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」が5.0%、「息子・娘との2世帯」が21.5%となっている。

日中、「高齢者（65歳以上）のみ」や「一人」になることが「ある（「よくある」＋「たまにある」）」との回答が、いずれも6割を超えている。

普段の生活において「介護・介助は必要ない」と8割以上が回答している。

一方で、介護・介助が必要となる主な原因としては「高齢による衰弱」、「骨折・転倒」、「心臓病」などが高い。介護・介助は「娘」や「配偶者（夫・妻）」、「息子」、「介護サービスのヘルパー」などから受ける割合が高くなっている。

生活の中での不安としては、「病気に対する不安」、「認知症になることの不安」、「寝たきりになることの不安」などが高くなっている。また、現在の暮らしの経済的状況について、3割以上の人「苦しい（「大変苦しい」＋「やや苦しい」）」と感じている。

現在の住居形態は、「持ち家（一戸建て）」が約9割。住居について「特に困っていることはない」と、3割以上の人回答している。一方で、「冬季の除雪」、「住宅の修繕などの維持・管理」、「庭木の手入れや除草」、「生活が不便（交通の便が悪い、近くにスーパーがない等）」などに困っているとする割合が高い。

2 からだを動かすことについて

「階段を手すりや壁をつたわずに昇っている」は約6割の人が、「椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっている」や「15分位続けて歩いている」は約7割の人が、いずれも「できるし、している」と回答している。

半数の人が転倒に対して「不安である（「とても不安」＋「やや不安」）」としており、3割強の人が過去1年間に転倒した経験が「ある」としている。

昨年と比較して外出頻度は「減少していない（「あまり減っていない」＋「減っていない」）」と7割以上が回答しており、「週2～4回」および「週5回以上」外出する人は合わせて8割を超える。なお、外出する際の移動手段は「自動車（自分で運転）」、「徒歩」の割合が高い。

一方で、昨年と比べて外出頻度が減少している人は、その理由として「足腰などの痛み」を挙げる人が4割で最も多い。

3 食べることについて

回答者の平均身長は、160.0cm（男性平均166.8cm、女性平均153.0cm）、平均体重は59.0kg（男性平均65.3kg、女性平均52.5kg）となっている。

「半年前に比べて固いものが食べにくくなった」人は3割にのぼり、口腔の状態については「お茶や汁物でむせることがある」人が3割弱、「口の渇きが気になる」人が2割となっている。また、「入れ歯を利用」している人は半数近くになっている。

誰かと食事をともにする機会が「ある」と9割以上が回答しており、頻度は、「毎日ある」が6割と最も高くなっている。

4 毎日の生活について

約4割(40.4%)の人が「物忘れが多い」と感じており、「いつも同じ事を聞くとされる」人は14.1%、となっている。

「乗り物を使って1人で外出」したり、「食品・日用品の買い物」、「請求書の支払い」、「預貯金のお出し入れ」については、いずれも8割の人が「できるし、している」と回答している。他方で、「食事の用意」については男女差が大きく、男性の4割強に対し女性は9割強が「できるし、している」としている。

家庭内での役割として「掃除」を挙げる人が最も多く約7割(66.4%)。次いで「炊事」、「洗濯」が約6割、「庭や植栽の管理」が約5割となっている。

その他、「新聞や本、雑誌を読んでいる」人は約9割、「家族や友人の相談にのっている」は8割弱、「趣味や生きがいがある」とする人は全体の約7割。また、7割弱の人が週1日以上頻度で「運動(散歩など軽い運動を含む)」を行っている。

10～20歳代の世代と交流しているかについては、半数近くの人が「はい」と回答しており、大半が「孫」との交流で、「おしゃべり」がうれしいと回答した。インターネットの活用は5割以上が活用していると回答しており、どのように活用しているかについては、「メール」「情報収集」との回答が8割以上であった。

5 地域での活動について

「収入のある仕事」が最も参加頻度が高く、週1回以上参加している人は2割超。「スポーツ関係のグループやクラブ」、「趣味関係のグループ」などは、比較的参加頻度が高い。

地域づくり活動への参加意向を示す人は、「参加者として」では5割、「企画・運営(お世話役)として」では3割強となっている。

6 たすけあいについて

心配事や愚痴を聞いてくれる人、聞いてあげる人、病気になった時に看病や世話をしてくれる人、してあげる人のすべてで、「配偶者」が最も高くなっている。

家族や友人以外の相談相手については、4割強の人が「そのような人はいない」と回答。

友人や知人と会う頻度は男性より女性の方が高く、「週1回以上会う」人は3割強にのぼる。

7 健康について

現在の健康状態については、「とてもよい」が7.2%、「よい」が71.0%となっている。

現在の幸福度の点数評価(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点)は、平均で6.9点となっており、「8点」とする人が2割と最も多い。

最近1か月間に「気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりする」ことがあった人は4割弱。また、「どうしても物事に興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがかった人は2割強。

タバコを「ほぼ毎日吸っている」人は男性で14.4%、女性で2.7%。

現在治療中、または後遺症のある病気として「高血圧」が45.4%と最も高くなっている。

健康づくりや介護予防に向けて、半数以上の人が「運動(散歩など軽い運動を含む)を行う」、「休養や睡眠を十分とる」、「健康診断を受診している」などに現在取り組んでいる。

一方、今後取り組みたいものとしても、「運動（散歩など軽い運動を含む）」が6割となっている。

話し声や周囲の音について「聞こえにくい」人は37.4%で、そのうち7割以上の人が機器を「利用していない」と回答した。利用しない理由としては、7割超が「利用するほどの不便さを感じていない」と回答していた。

8 認知症について

「認知症という言葉や症状についてどの程度知っているか」については、ほぼ全ての人が「認知症」という言葉を知っていると回答し、認知症に関する相談窓口の認知度は3割であった。また、情報を何から得ているかについては、「テレビ、ラジオなど」が75.5%と最も多く、次いで「家族、友人、知人などの話」が50.5%となっている。

認知症についてどのようなイメージがあるかについては、約8割が「認知症は誰でもなる可能性がある」と回答した。

「本人や家族に認知症の症状がある人がいる」と回答した人は14.1%となっている。

また、「自分や家族が認知症になったとしたら、どのようなことが不安か」については、「これまでできていたことができなくなる」、「家族に迷惑をかけてしまう」、「家族や自分に介護等の精神的・肉体的負担がかかる」などの割合が高くなっている。

また、「認知症になったとしたら、家族や近隣の人、友人に認知症であることを伝えようと思うか」については、「家族（子）」に伝えるとの回答が最も多く83.2%、次いで「家族（夫、妻）」が70.9%となっていた。

さらに、「認知症の人が住み慣れた地域で暮らしていくためにどのような支援が必要か」については、「家族などの介護負担を軽減するための施策の充実」、「認知症の介護サービスの充実」、「できるだけ早い段階から、医療・介護等のサポートを利用できる仕組みづくり」などの割合が高くなっている。

9 高齢者福祉について

地域包括支援センターを「利用したことがある」人は2割強、「知っているが利用したことはない」が5割弱となっている。

介護を受けながら生活していくときに望ましい生活としては、「在宅での訪問介護、デイサービス、ショートステイなどのサービスを活用しながら暮らしたい」、「在宅で家族の介護を受けながら暮らしたい」の割合が高くなっている。

介護サービスを受けながら自宅で生活し続けるために必要な支援として、「ヘルパーや看護師などが自宅を訪れ、日常生活の世話や療養上の世話を行うサービス」、「日帰りで施設に通うデイサービス」、「在宅で生活する高齢者を介護する家族に対する支援」を望む割合が高くなっている。

住み慣れた地域で安心して暮らしていくために必要な生活支援やサービス等については、「声かけや見守りサービス」、「買物代行や配達、移動販売」、「配食サービス」、「除雪」、「日常の相談相手」などの割合が高くなっている。

介護保険制度における費用負担については、36.5%の人が「サービスは少なくともよいが、なるべく低料金で利用したい」、35.8%の人が「現状程度の費用負担が適当である」と考えている。

身近に整備してほしいと思う介護・福祉施設等については、「訪問介護やデイサービス、ショートステ

イなどのサービスを行う小規模多機能型居宅介護施設」、「デイサービスや短期間だけ宿泊するショートステイの施設」、「筋力向上トレーニングや転倒予防などの介護予防を目的とした施設」の割合が高くなっている。

10 医療について

現在、8割強の人が通院しており、頻度は「月1回程度」が約4割。「かかりつけ医」がいる人は6割強となっている。

自宅で療養する場合の不安や課題等については、「家族への介護負担」、「病状急変時の対応が不安」、「経済的な負担」などの割合が高くなっている。

最期を迎える場所として、半数近くの人が「自宅」を望んでおり、人生の最終段階における医療やケアについて、家族等まわりの信頼する人たちと「話し合っている」と2割強の人が回答している。

また、「人生会議（ACP：アドバンスケア・プランニング）について知っているか」については、「知らない」が8割となっていた。

Ⅲ 調査結果

Ⅲ 調査結果

1 家族や生活状況について

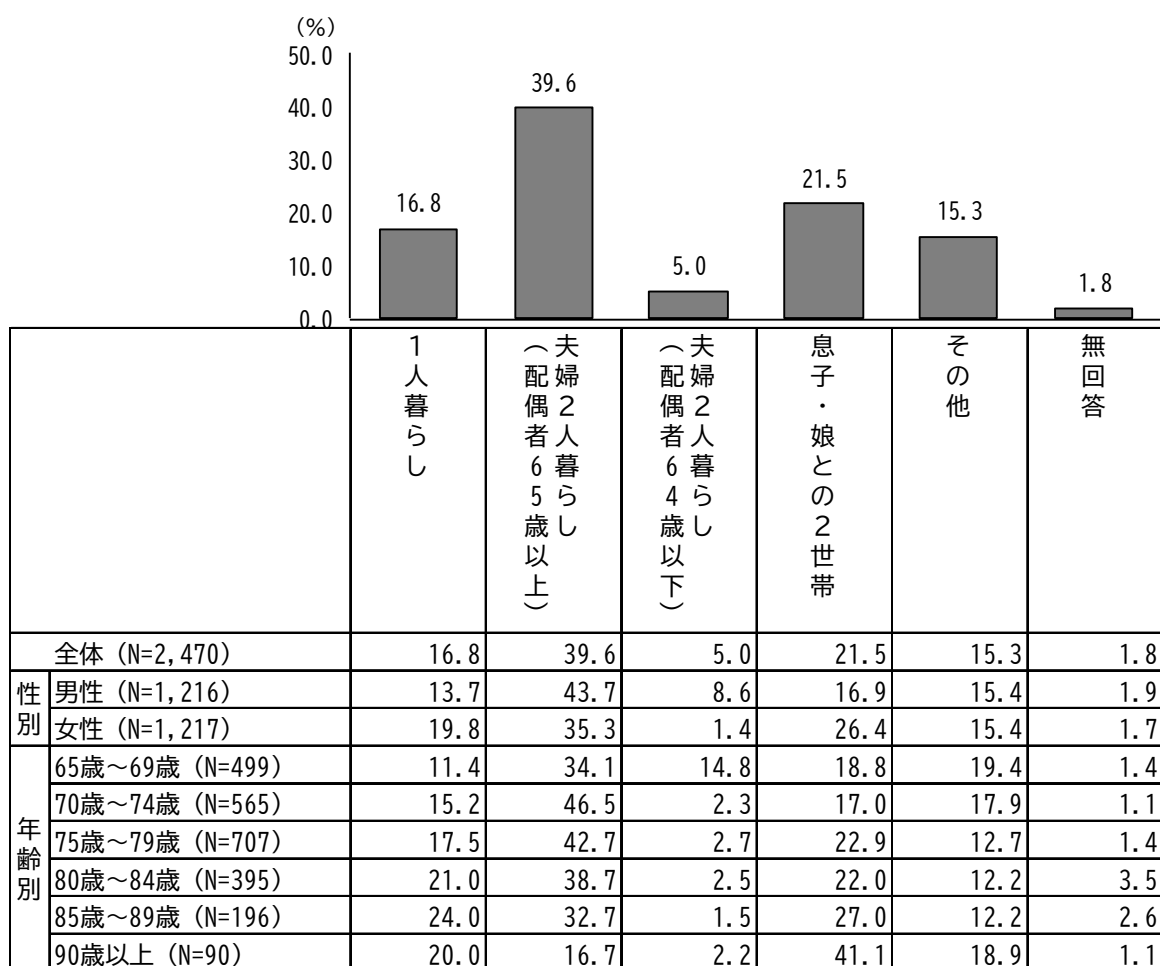
問1（1）あなたは誰と一緒に暮らしていますか。

誰と一緒に暮らしているかについてみると、「1人暮らし」が16.8%、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が39.6%、「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」が5.0%、「息子・娘との2世帯」が21.5%となっている。

男女別にみると、女性は「1人暮らし（19.8%）」、「息子・娘との2世帯（26.4%）」が、男性と比べて高くなっている。

年齢別にみると、年齢とともに「1人暮らし」や「息子・娘との2世帯」が高くなる傾向がみられる。

図表1(1)-1同居状況



図表1(1)-2同居状況【圏域別】

		1 人 暮 ら し	夫 婦 2 人 暮 ら し (配 偶 者 6 5 歳 以 上)	夫 婦 2 人 暮 ら し (配 偶 者 6 4 歳 以 下)	息 子 ・ 娘 と の 2 世 帯	そ の 他	無 回 答
総曲輪、愛宕、安野屋、八人町、 五番町、柳町、清水町、星井町	(N=144)	22.2	38.9	6.9	13.2	13.9	4.9
東部、山室	(N=147)	21.1	36.1	9.5	18.4	15.0	0.0
西田地方、堀川、光陽	(N=138)	25.4	39.1	5.8	18.1	10.1	1.4
堀川南、蜷川	(N=119)	15.1	44.5	4.2	19.3	15.1	1.7
奥田、奥田北	(N=131)	21.4	44.3	5.3	18.3	9.2	1.5
桜谷、五福、神明	(N=142)	14.8	40.1	4.9	24.6	14.1	1.4
岩瀬、萩浦、大広田、浜黒崎	(N=138)	21.0	37.7	2.9	18.1	19.6	0.7
針原、豊田	(N=131)	14.5	34.4	2.3	27.5	18.3	3.1
広田、新庄、新庄北	(N=134)	15.7	45.5	5.2	20.9	11.9	0.7
藤ノ木、山室中部	(N=115)	14.8	44.3	7.0	18.3	12.2	3.5
太田、新保、熊野、月岡	(N=136)	11.8	45.6	2.2	25.0	14.7	0.7
四方、八幡、草島、倉垣	(N=133)	14.3	36.8	4.5	20.3	20.3	3.8
呉羽、長岡、寒江、古沢、老田、 池多	(N=138)	15.2	31.2	3.6	31.9	16.7	1.4
水橋中部、水橋西部、水橋東部、 三郷、上条	(N=141)	20.6	41.1	6.4	17.7	12.8	1.4
大沢野地域、細入地域	(N=144)	13.9	36.8	6.3	22.9	17.4	2.8
大山地域	(N=143)	16.8	39.2	4.2	22.4	16.8	0.7
八尾地域、山田地域	(N=147)	13.6	36.7	2.0	22.4	24.5	0.7
婦中地域	(N=137)	9.5	40.1	5.8	29.2	13.1	2.2

問1（1）において家族等と同居されている方のみ回答

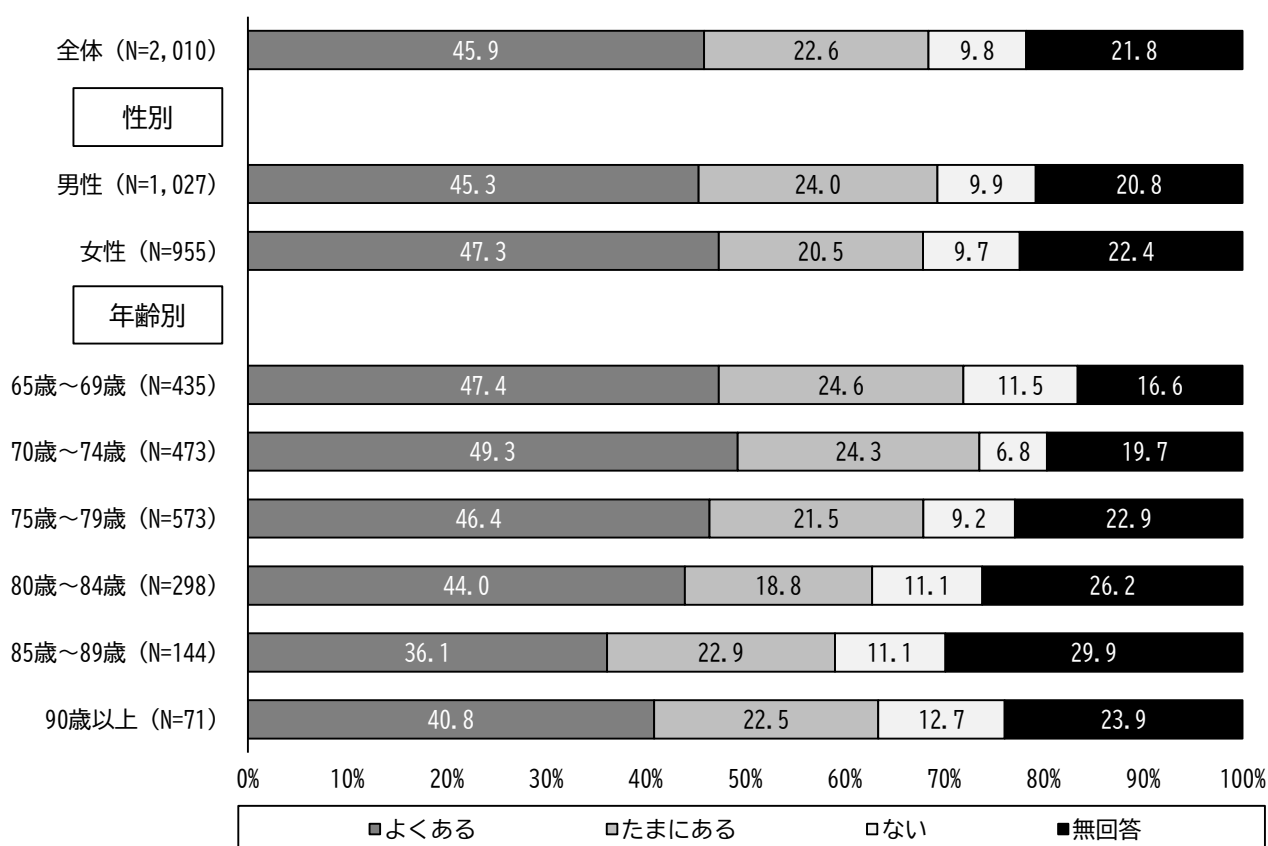
問1（1）①日中、高齢者（65歳以上）のみになることがありますか。

日中、高齢者（65歳以上）のみになることがあるかについてみると、「よくある」が45.9%、「たまにある」が22.6%、「ない」が9.8%となっている。

男女別にみると、女性は「よくある」が47.3%と、男性に比べて高くなっている。

年齢別にみると、「ある（「よくある」＋「たまにある」）」とする割合は年齢とともに緩やかに低くなるが、「90歳以上」になると「ある（「よくある」＋「たまにある」）」が増加している。

図表1(1)①日中、高齢者のみになることがあるか



問1（1）において家族等と同居されている方のみ回答

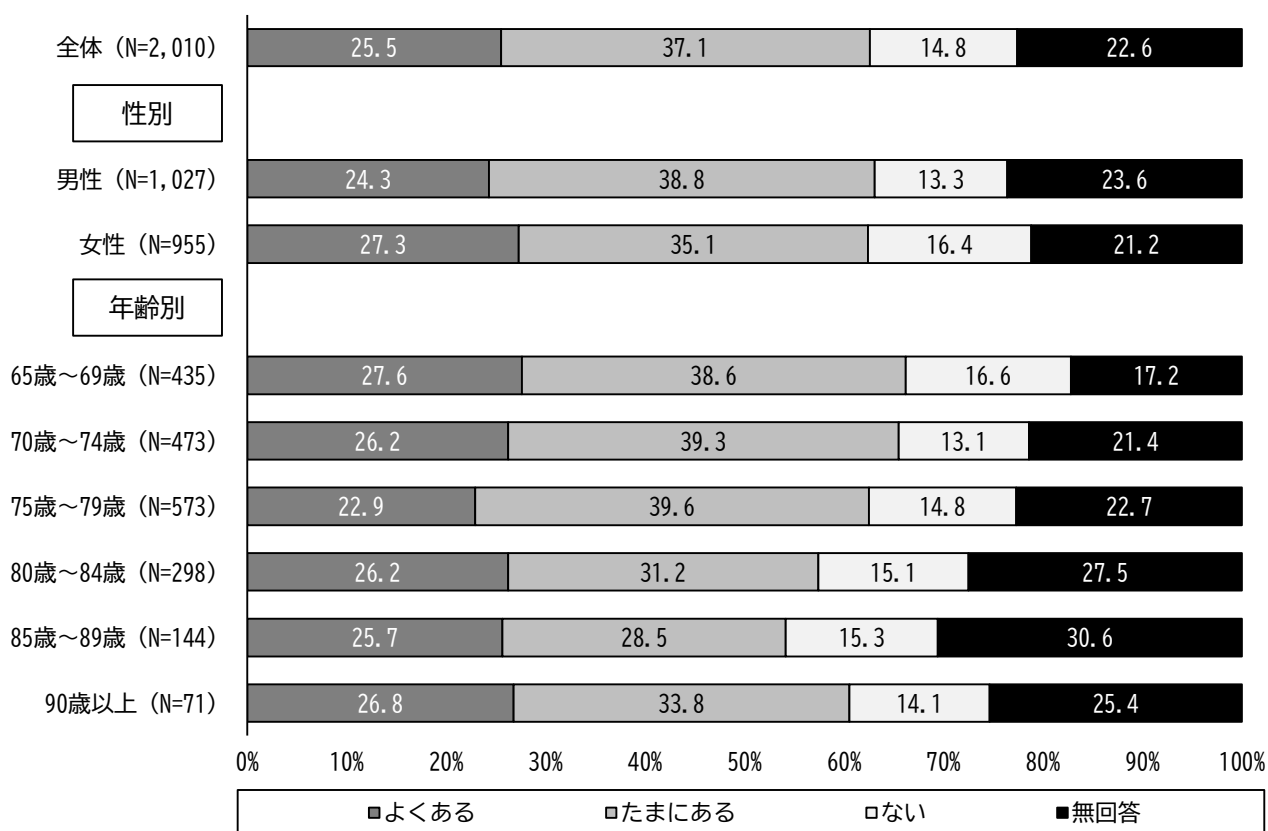
問1（1）②日中、一人になることがありますか。

日中、一人になることがあるかについてみると、「よくある」が25.5%、「たまにある」が37.1%、「ない」が14.8%となっている。

男女別にみると、女性は「よくある」が27.3%と、男性に比べて高くなっている。

年齢別にみると、「ある（「よくある」＋「たまにある」）」とする割合は年齢とともに緩やかに低くなるが、「90歳以上」になると「ある（「よくある」＋「たまにある」）」が増加している。

図表1(1)②日中、一人になることがあるか



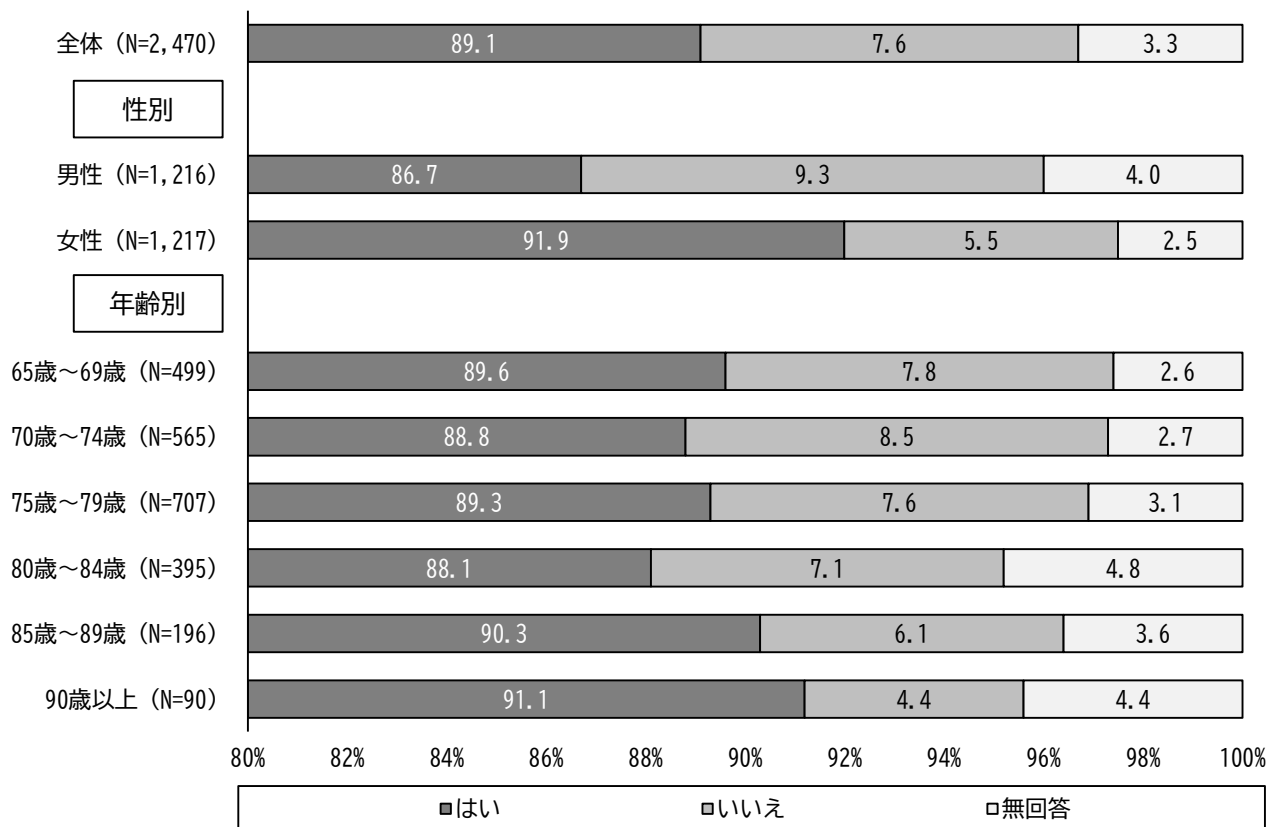
問1（2）あなたには、いざという時に頼りになる親族はいますか。

いざという時に頼りになる親族はいるかについてみると、「はい」が89.1%、「いいえ」が7.6%、となっている。

男女別にみると、女性は「はい」が91.9%と、男性に比べて高くなっている。

年齢別にみると、「85歳～89歳」以降「はい」と答える割合が高い傾向になっている。

図表1(2)いざという時に頼りになる親族について



問1（3）あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。

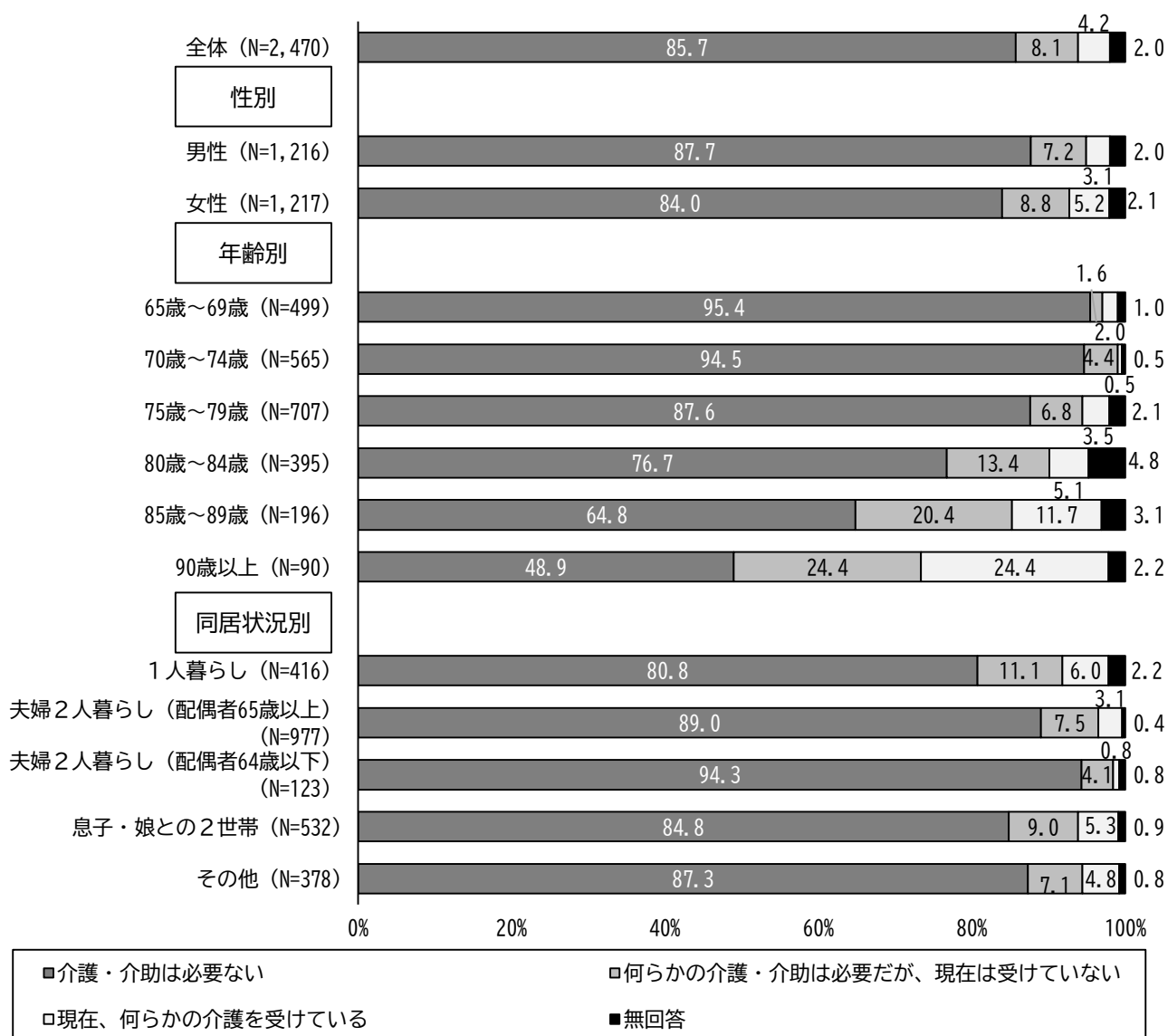
普段の生活で介護・介助が必要かについてみると、「介護・介助は必要ない」が85.7%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が8.1%、「現在、何らかの介護を受けている」が4.2%となっている。

男女別にみると、男性は「介護・介助は必要ない」が87.7%と、女性に比べてやや高い。

年齢別にみると、年齢とともに何らかの介護・介助が必要な割合は高くなる傾向にあり、「90歳以上」では「現在、何らかの介護を受けている」が24.4%と、特に高くなっている。

同居状況別にみると、「1人暮らし」の人は他の状況の人に比べて介護・介助を要する割合は高くなっている。

図表1(3) 普段の生活での介護・介助の必要性



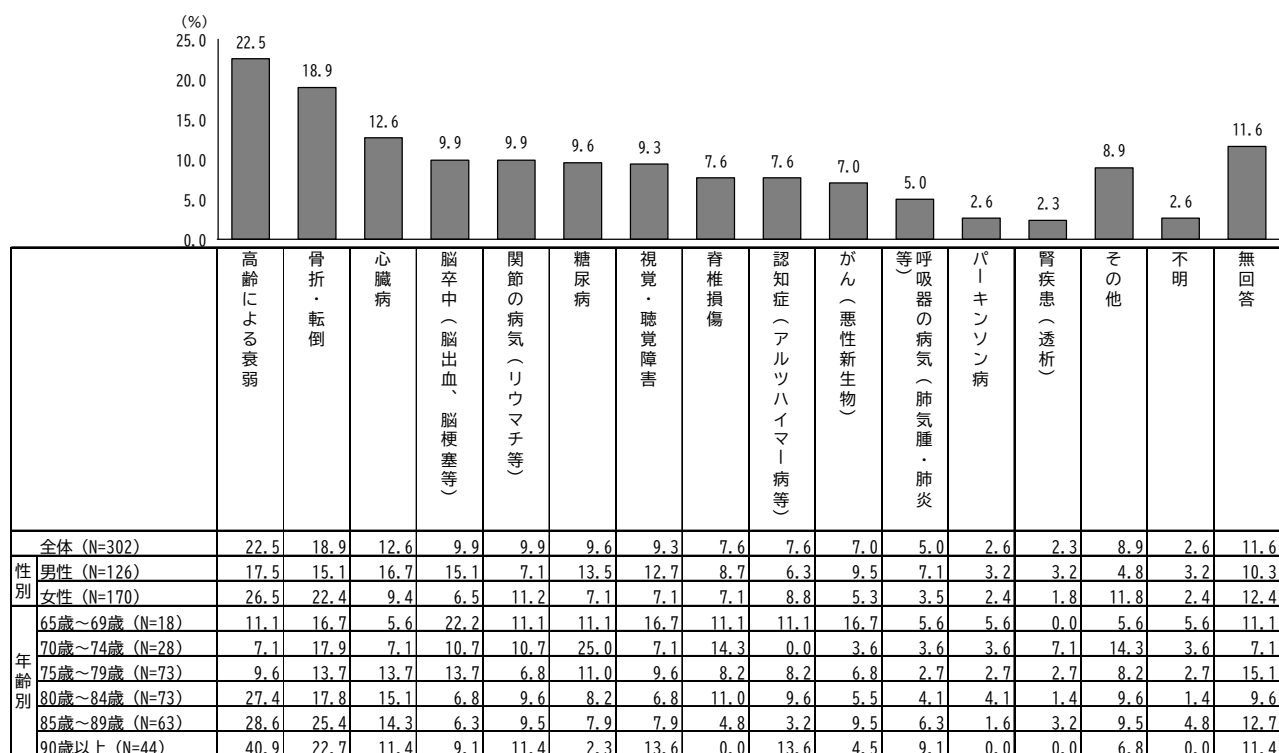
問1（3）で「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」または「現在、何らかの介護を受けている」と回答された方のみ回答

問1（3）①介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。（いくつでも）

介護・介助が必要になった主な原因についてみると、「高齢による衰弱」が22.5%と最も高く、次いで「骨折・転倒」（18.9%）、「心臓病」（12.6%）の順となっている。

男女別にみると、男性は「心臓病」「脳卒中（脳出血、脳梗塞等）」、「糖尿病」などが女性に比べて高く、他方で女性は「骨折・転倒」、「関節の病気（リウマチ等）」などが男性より高い。

図表1(3)①介護・介助が必要になった主な原因



問1（3）で「現在、何らかの介護を受けている」と回答された方のみ回答

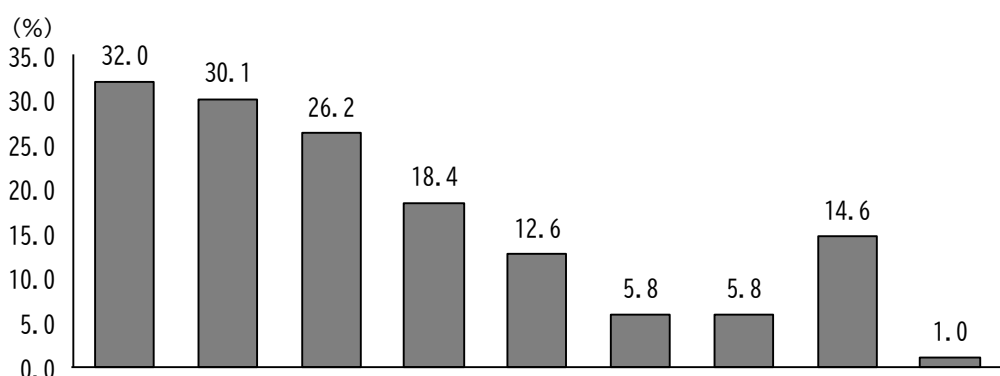
問1（3）②主にどなたの介護を受けていますか（いくつでも）

主な介護・介助者についてみると、「娘」が32.0%と最も高く、次いで「配偶者（夫・妻）」（30.1%）、「息子」（26.2%）の順となっている。

男女別にみると、男性は女性に比べて「配偶者（夫・妻）」の割合が52.6%と非常に高い。他方で女性は男性に比べて「娘」の割合が38.1%と高くなっている。

年齢別にみると、「配偶者（夫・妻）」の割合は「75歳～79歳」をピークに年齢とともに低くなるが、その一方で、「娘」や「息子」、「子の配偶者」などが高くなる傾向がみられる。

図表1(3)②主な介護・介助者



		娘	配偶者（夫・妻）	息子	ヘルパーサービスの	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	その他	無回答
性別	全体（N=103）	32.0	30.1	26.2	18.4	12.6	5.8	5.8	14.6	1.0
	男性（N=38）	21.1	52.6	13.2	23.7	7.9	0.0	5.3	21.1	0.0
	女性（N=63）	38.1	17.5	33.3	14.3	15.9	9.5	6.3	11.1	1.6
年齢別	65歳～69歳（N=10）	0.0	20.0	10.0	10.0	0.0	0.0	10.0	60.0	0.0
	70歳～74歳（N=3）	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3
	75歳～79歳（N=25）	28.0	52.0	16.0	8.0	4.0	4.0	4.0	12.0	0.0
	80歳～84歳（N=20）	15.0	45.0	35.0	25.0	0.0	10.0	5.0	10.0	0.0
	85歳～89歳（N=23）	52.2	17.4	39.1	26.1	26.1	4.3	0.0	0.0	0.0
	90歳以上（N=22）	50.0	9.1	27.3	22.7	27.3	9.1	9.1	13.6	0.0

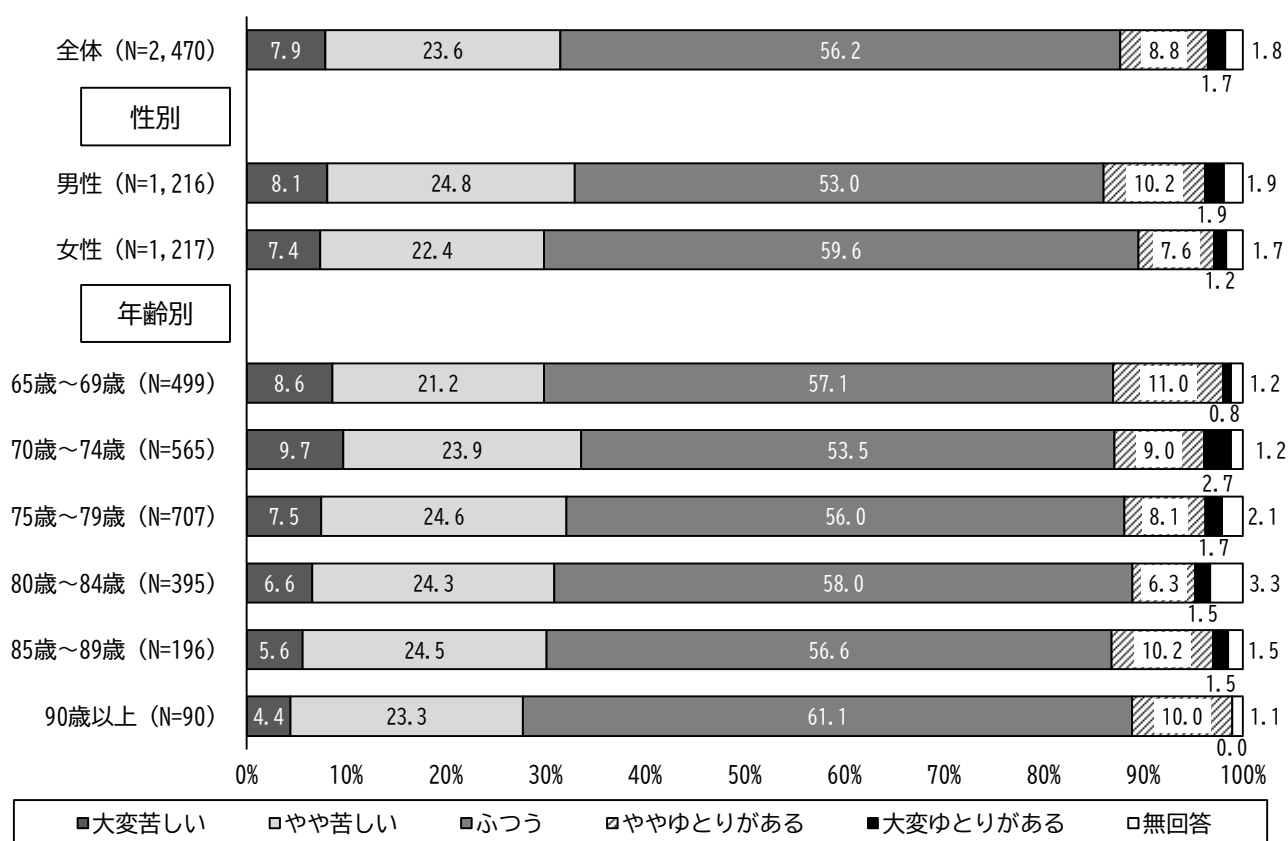
問1（4）現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。

現在の暮らしの状況を経済的にどう感じているかみると、「ふつう」が56.2%と最も高く、次いで「やや苦しい」（23.6%）、「ややゆとりがある」（8.8%）の順となっている。

男女別にみると、男性は「苦しい（「大変苦しい」＋「やや苦しい」）」が32.9%と、女性（29.8%）に比べてやや高くなっている。

年齢別にみると、年代による大きな差はみられないものの、年齢とともに「大変苦しい」の割合が低くなっている。

図表1(4)現在の経済状況



問1 (5) あなたが、生活の中で不安に思うことはありますか。(いくつでも)

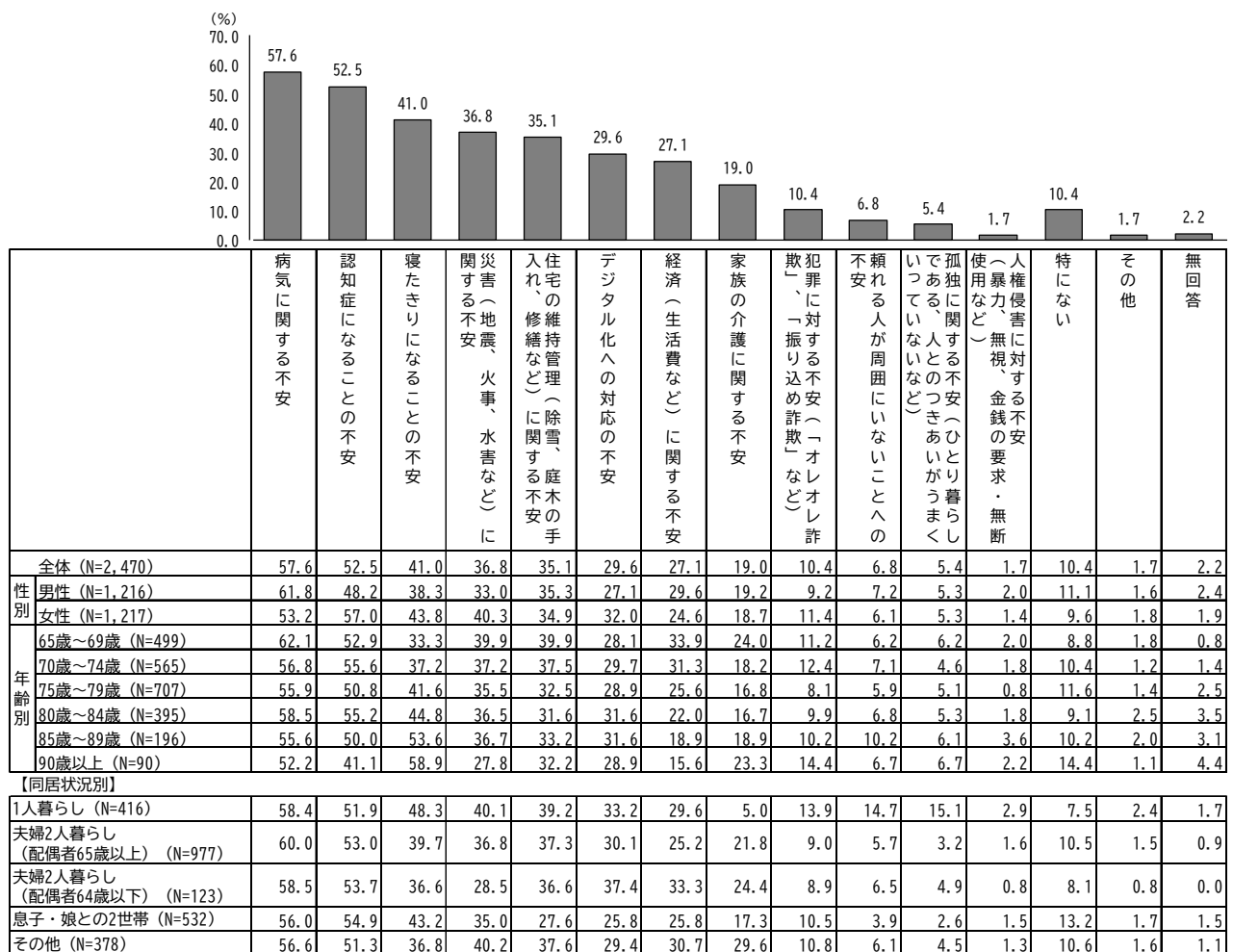
生活の中で不安に思うことについてみると、「病気に関する不安」が57.6%と最も高く、次いで「認知症になることの不安」(52.5%)、「寝たきりになることの不安」(41.0%)の順となっている。また、「特にない」は10.4%である。

男女別にみると、男性は「病気に関する不安」、「経済(生活費など)に関する不安」が女性に比べて高く、他方で女性は「認知症になることの不安」、「寝たきりになることの不安」、「災害に関する不安」などが男性より高い。

年齢別にみても、上位3項目は全体と同じだが、「90歳以上」になると「寝たきりになることの不安」が最も大きな不安となっている。

同居状況別にみても、上位3項目は全体と同じだが、「1人暮らし」の人は「寝たきりになることの不安」(48.3%)や「災害に関する不安」(40.1%)、「孤独に関する不安」(15.1%)、「頼れる人が周囲にいないことへの不安」(14.7%)などで、他の状況の人よりもひときわ高くなっている。

図表1(5)生活の中で不安に思うこと



問1（6）現在のお住まいで困っていることはありますか。（いくつでも）

現在の住まいで困っていることについてみると、「冬期の除雪」が32.3%と最も高く、次いで「住宅の修繕などの維持・管理」（28.7%）、「庭木の手入れや除草」（27.3%）の順となっている。また、「特に困っていることはない」は33.8%である。

男女別にみると、男性は「住宅の修繕などの維持・管理」が女性に比べて高く、他方で女性は「生活が不便（交通の便が悪い、近くにスーパーがない等）」が男性より高い。

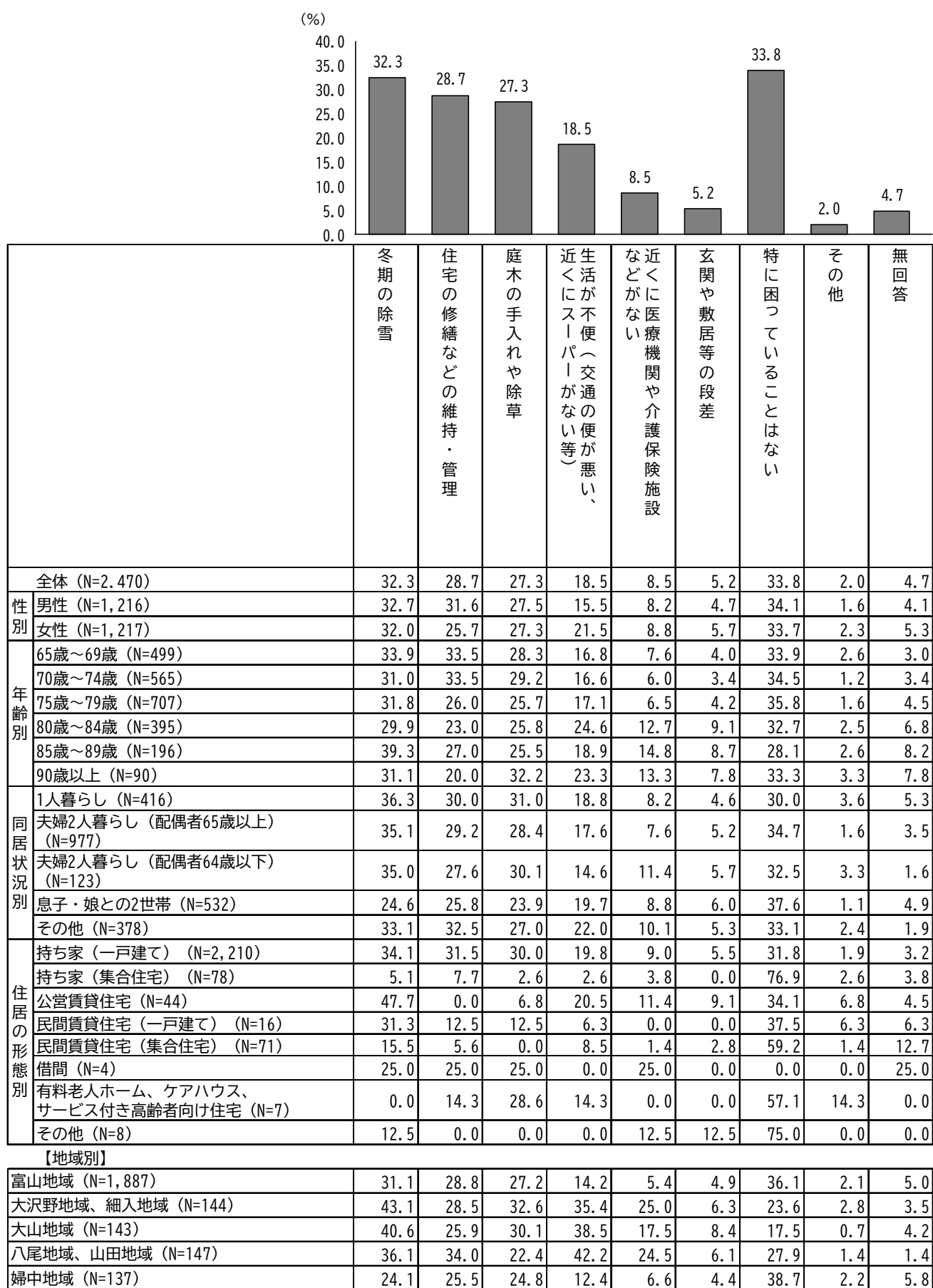
年齢別にみると、「近くに医療機関や介護保険施設などが無い」、「生活が不便」、「玄関や敷居等の段差」などは年齢とともに高くなっている。

同居状況別にみると、「1人暮らし」の人は「特に困っていることはない」が30.0%と他の世帯構成の人より低く、「冬期の除雪」、「庭木の手入れや除草」などで他の世帯構成に比べて高くなっている。他方で、「息子・娘との2世帯」では「特に困っていることはない」が37.6%と、他の世帯より高くなっている。

住居の形態別にみると、「持ち家一戸建て」は「特に困っていることはない」が31.8%と他の住居形態に比べて低く、「住宅の修繕などの維持・管理」（31.5%）や「庭木の手入れや除草」（30.0%）などで高くなっている。他方で、「持ち家（集合住宅）」や「民間賃貸住宅（集合住宅）」、「有料老人ホーム、ケアハウス、サービス付き高齢者向け住宅」などの居住者は「特に困っていることはない」が6割～7割と高い。

地域別にみると、「富山地域」、「婦中地域」以外では「生活が不便」や「近くに医療機関や介護保険施設などが無い」などが特に高くなっている。

図表1(6)現在の住まいで困っていること



問1（7）お住まいは、次のどれにあたりますか。

住居の形態についてみると、「持家（一戸建て）」が最も多く 89.5%となっている。

男女別にみても、大きな差はみられない。

年齢別にみても、大きな差はみられない。

図表1(7)住居の形態

		持家 （一戸建て）	持家 （集合住宅）	公営 賃貸住宅	民間 賃貸住宅 （一戸建て）	民間 賃貸住宅 （集合住宅）	借 間	有 料 老 人 ホ ー ム 、 サ ー ビ ス 付 き 高 齢 者 向 け 住 宅	そ の 他	無 回 答
	全体（N=2,470）	89.5	3.2	1.8	0.6	2.9	0.2	0.3	0.3	1.3
性 別	男性（N=1,216）	89.6	3.7	1.6	0.7	2.5	0.1	0.3	0.2	1.3
	女性（N=1,217）	89.6	2.6	1.8	0.7	3.2	0.2	0.2	0.4	1.2
年 齢 別	65歳～69歳（N=499）	91.0	3.4	1.0	0.6	3.0	0.0	0.0	0.2	0.8
	70歳～74歳（N=565）	88.1	3.7	1.4	1.2	3.7	0.7	0.0	0.2	0.9
	75歳～79歳（N=707）	90.2	2.5	2.1	0.6	2.4	0.0	0.4	0.6	1.1
	80歳～84歳（N=395）	87.1	3.5	3.3	0.5	2.0	0.0	0.3	0.3	3.0
	85歳～89歳（N=196）	90.8	2.0	1.0	0.0	4.1	0.0	1.0	0.0	1.0
	90歳以上（N=90）	92.2	3.3	0.0	0.0	1.1	0.0	1.1	1.1	1.1

2 からだを動かすことについて

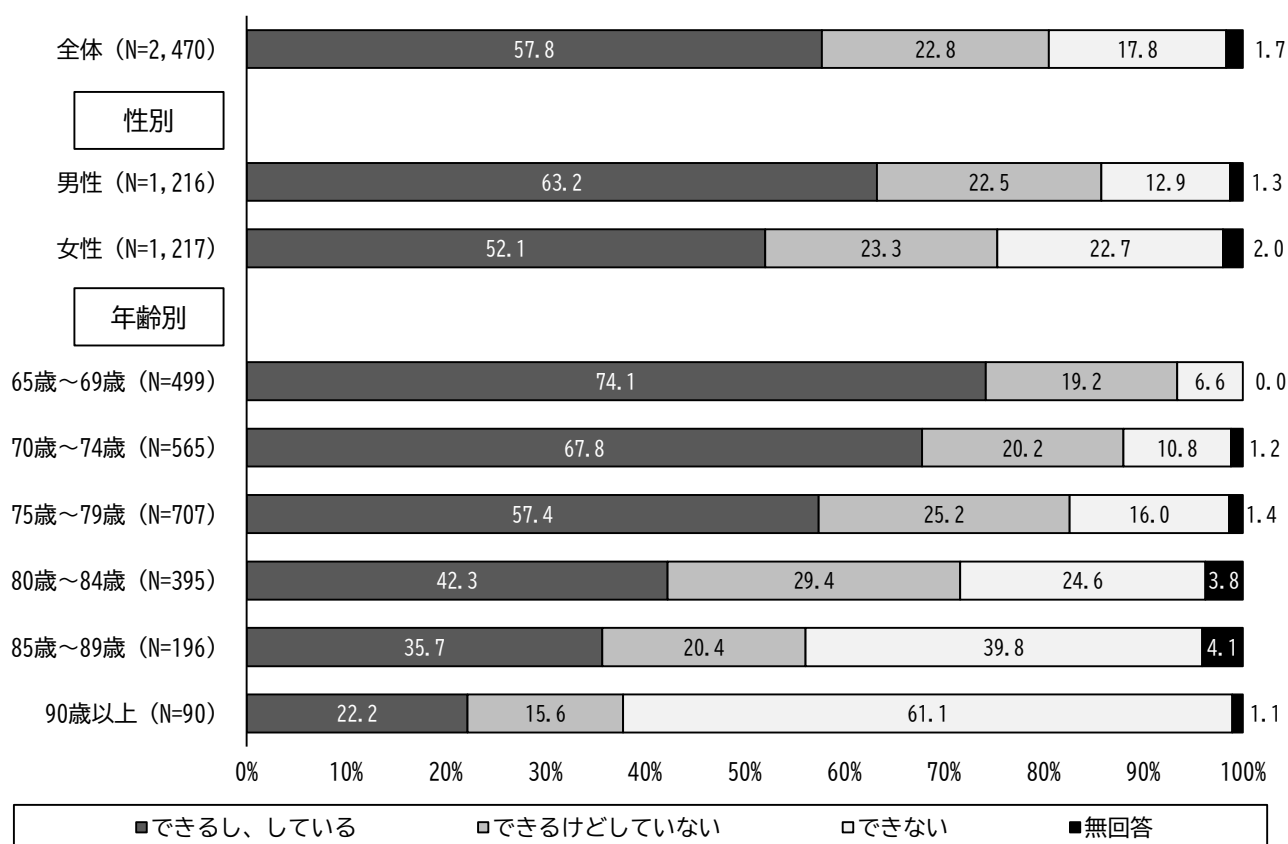
問2（1）階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。

階段を手すりや壁をつたわずに昇っているかについてみると、「できるし、している」が57.8%、「できるけどしていない」が22.8%、「できない」が17.8%となっている。

男女別にみると、男性は「できるし、している」が63.2%と女性に比べて高くなっている。

年齢別にみると、年齢とともに「できるし、している」割合は低くなる傾向がみられ、「90歳以上」では22.2%となっている。

図表2(1)階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか



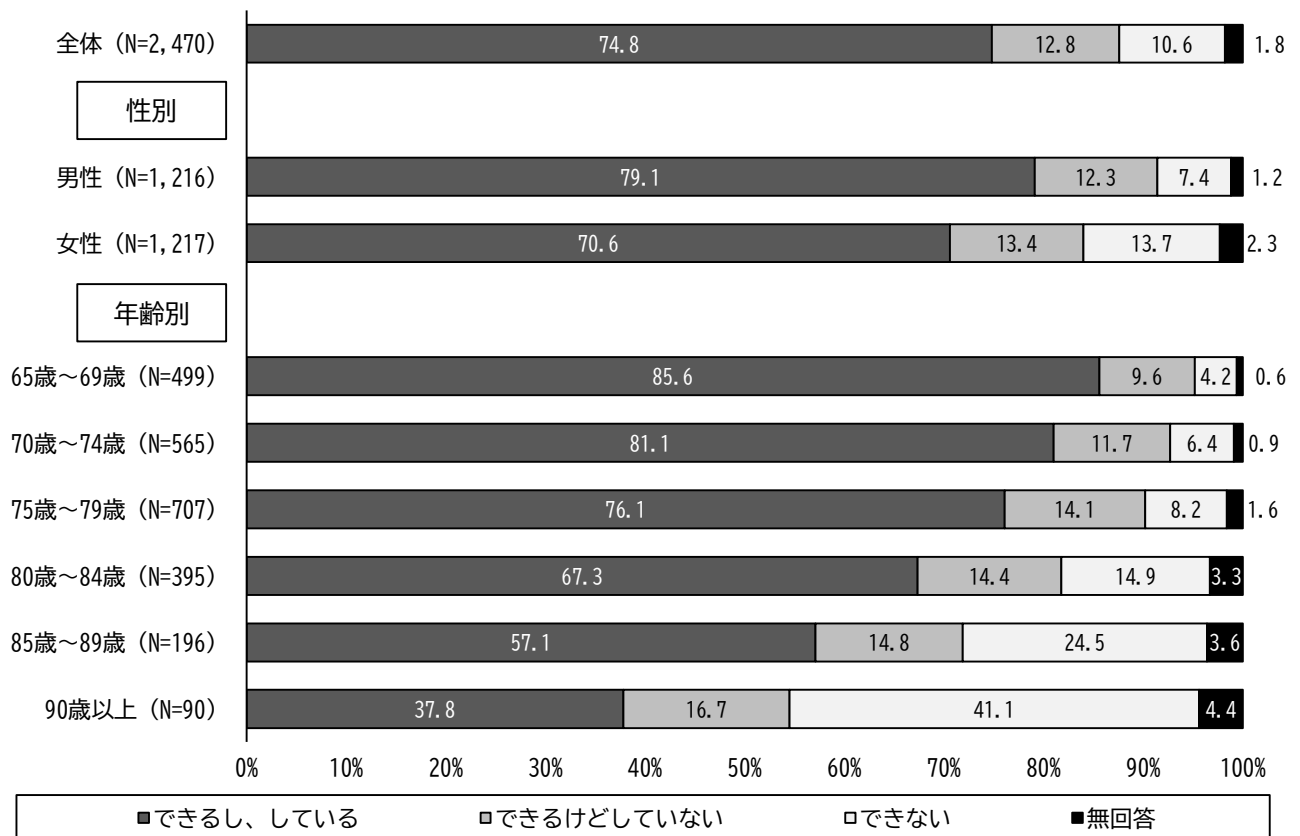
問2（2）椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。

何もつかまらずに椅子から立ち上がっているかについてみると、「できるし、している」が74.8%、「できるけどしていない」が12.8%、「できない」が10.6%となっている。

男女別にみると、男性は「できるし、している」が79.1%と女性に比べて高くなっている。

年齢別にみると、年齢とともに「できるし、している」割合は低くなる傾向がみられ、「90歳以上」では37.8%となっている。

図表2(2)何もつかまらずに椅子から立ち上がっているか



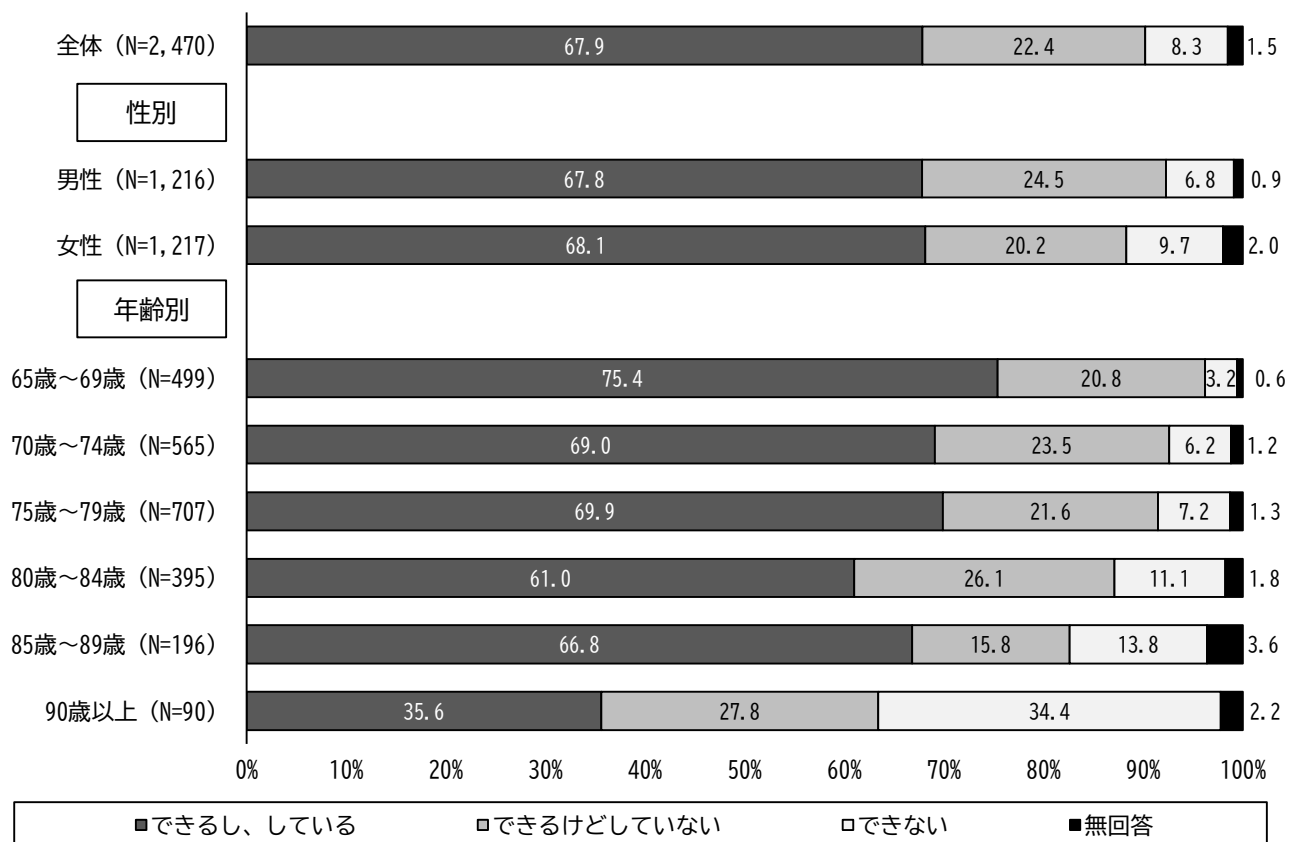
問2（3）15分位続けて歩いていますか。

15分位続けて歩いているかについてみると、「できるし、している」が67.9%、「できるけどしていない」が22.4%、「できない」が8.3%となっている。

男女別にみても、大きな差はみられない。

年齢別にみると、年齢とともに「できるし、している」割合は低くなる傾向がみられ、「90歳以上」では35.6%となっている。

図表2(3)15分位続けて歩いているか



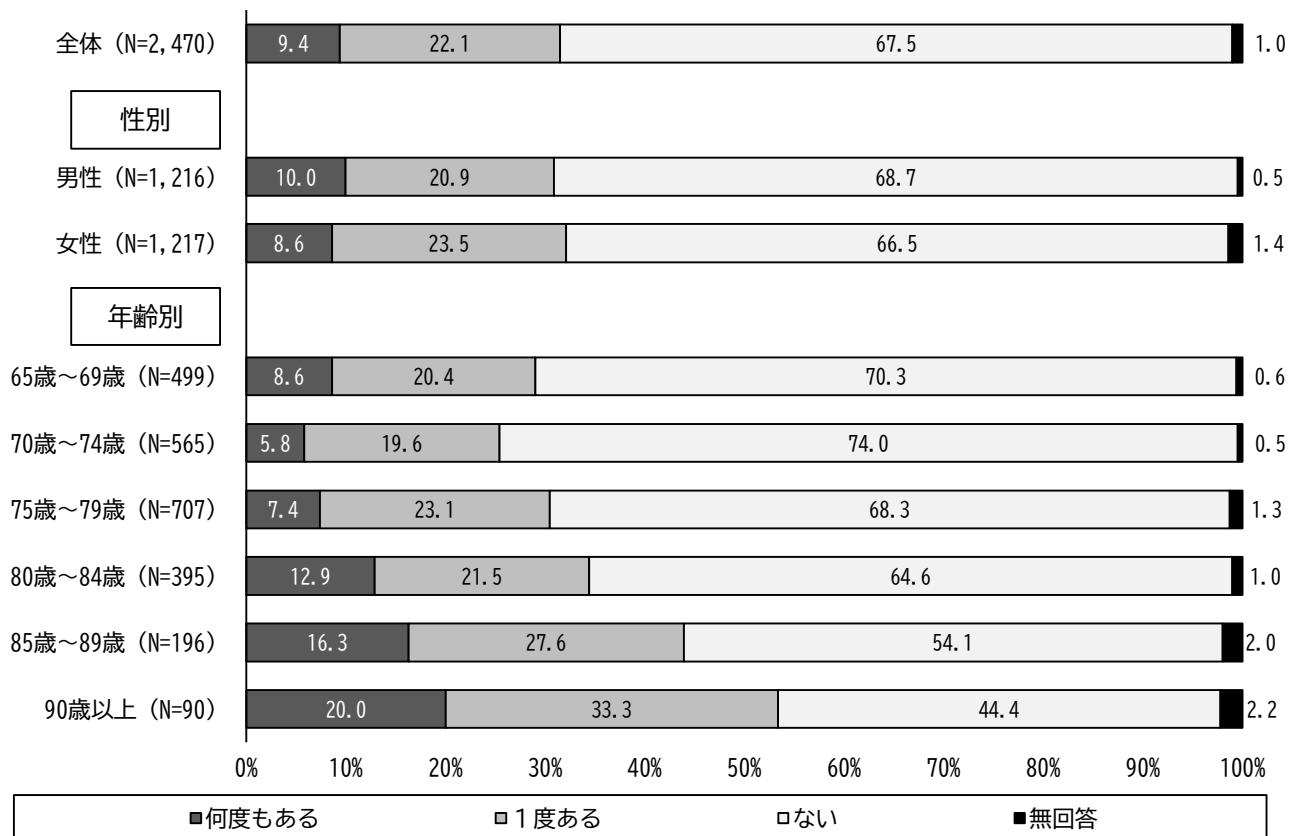
問2（4）過去1年間に転んだ経験がありますか。

過去1年間の転んだ経験についてみると、「何度もある」が9.4%、「1度ある」が22.1%、「ない」が67.5%となっている。

男女別にみても、大きな差はみられない。

年齢別にみると、年齢とともに「ある」割合は高くなり、「90歳以上」では「何度もある」が20.0%、「1度ある」が33.3%と、合わせると5割を超える。

図表2(4)過去1年間の転んだ経験



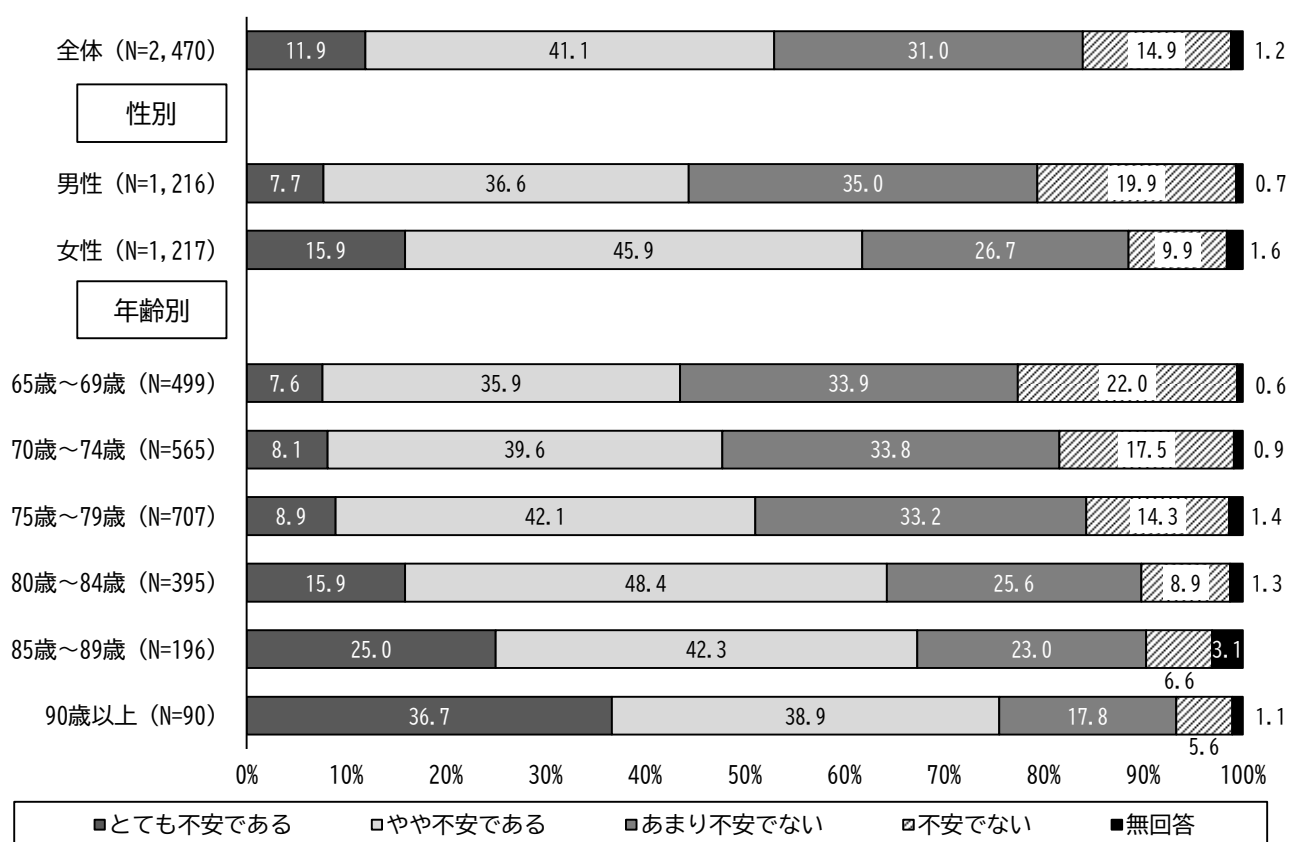
問2（5）転倒に対する不安は大きいですか。

転倒に対する不安についてみると、「とても不安である」が11.9%、「やや不安である」が41.1%、「あまり不安でない」が31.0%、「不安でない」が14.9%となっている。

男女別にみると、女性は「とても不安である」が15.9%、「やや不安である」が45.9%と、男性に比べてどちらも高くなっている。

年齢別にみると、年齢とともに「不安である」割合は高くなる傾向が見られ、「80歳」を超えると64.3%と3人中2人が「不安（「とても不安」＋「やや不安」）」と感じている。

図表2(5)転倒に対する不安



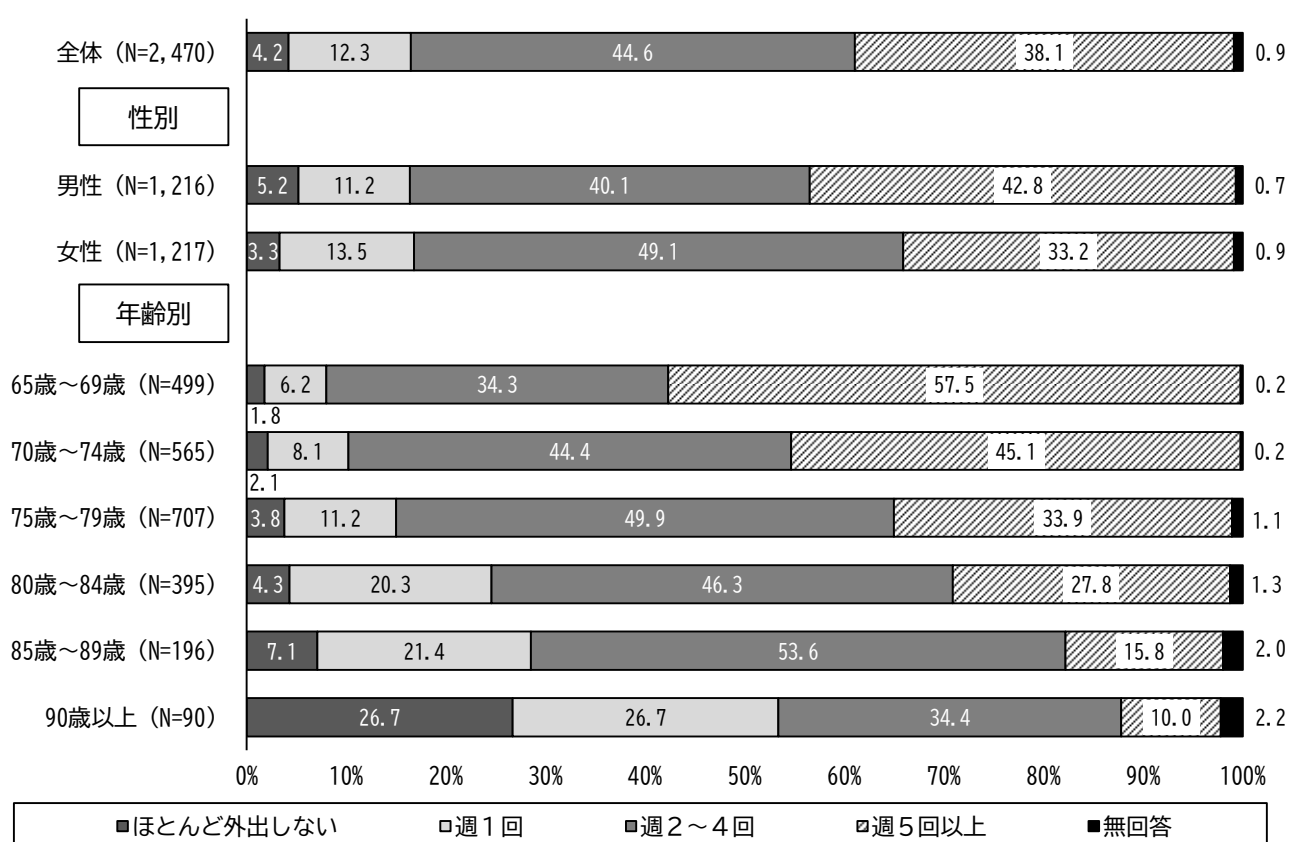
問2（6）週に1回以上は外出していますか。

外出頻度についてみると、「ほとんど外出しない」が4.2%、「週1回」が12.3%、「週2～4回」が44.6%、「週5回以上」が38.1%となっている。

男女別にみると、男女ともに「週2～4回」が最も高くなっているが、男性では「週5回以上」が42.8%など、女性に比べて外出頻度は高い。

年齢別にみると、年齢とともに外出頻度は低くなる傾向がみられ、「90歳以上」では「ほとんど外出しない」が26.7%と特に高くなっている。

図表2(6)外出頻度



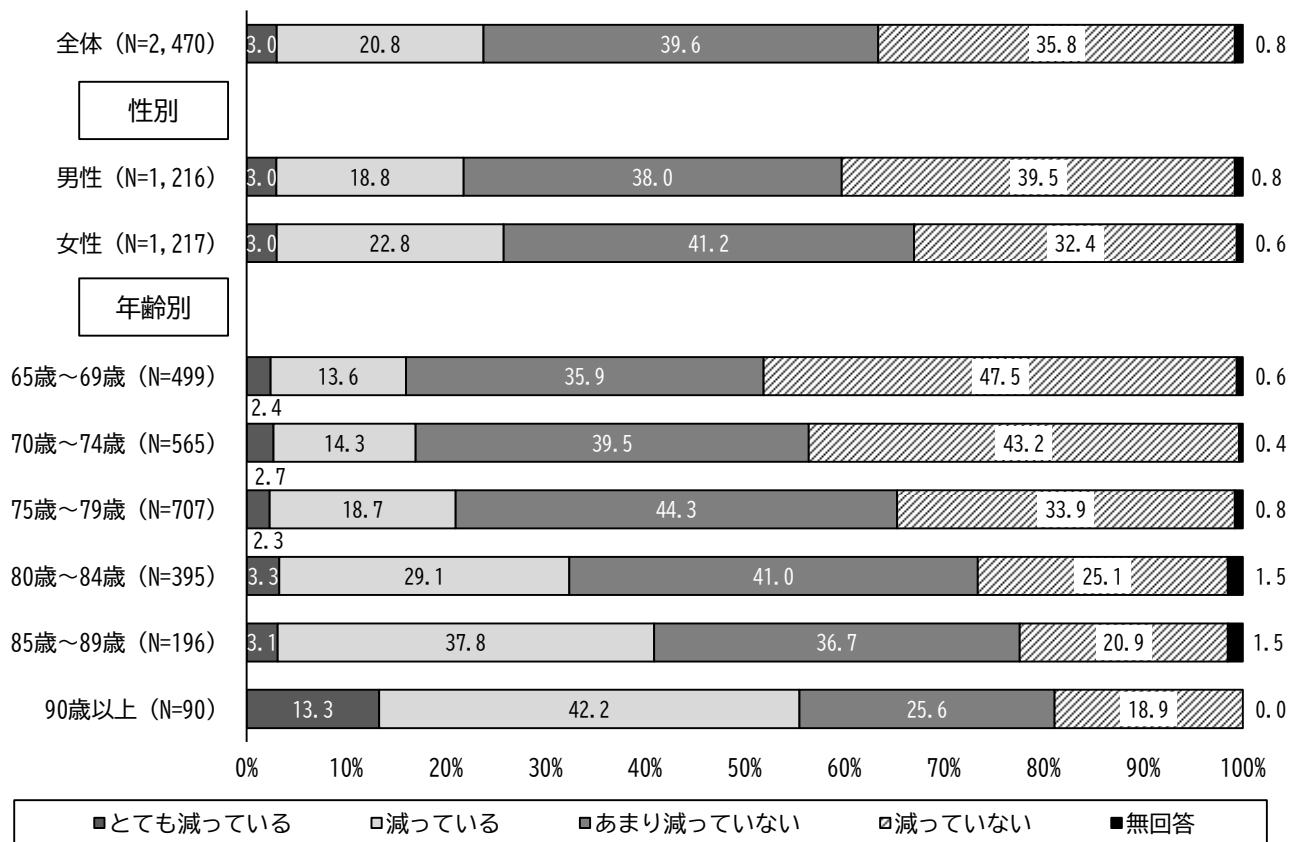
問2（7）昨年と比べて外出の回数が減っていますか。

昨年と比較した外出頻度についてみると、「とても減っている」が3.0%、「減っている」が20.8%、「あまり減っていない」が39.6%、「減っていない」が35.8%となっている。

男女別にみると、男性は「減っていない」が39.5%と、女性に比べて高くなっている。

年齢別にみると、年齢とともに「減っている」割合が高くなる傾向がみられ、「90歳以上」では5割以上の人が「減っている（「とても減っている」＋「減っている」）」としている。

図表2(7)昨年と比較した外出頻度



問2（7）で「とても減っている」、「減っている」と回答された方のみ回答

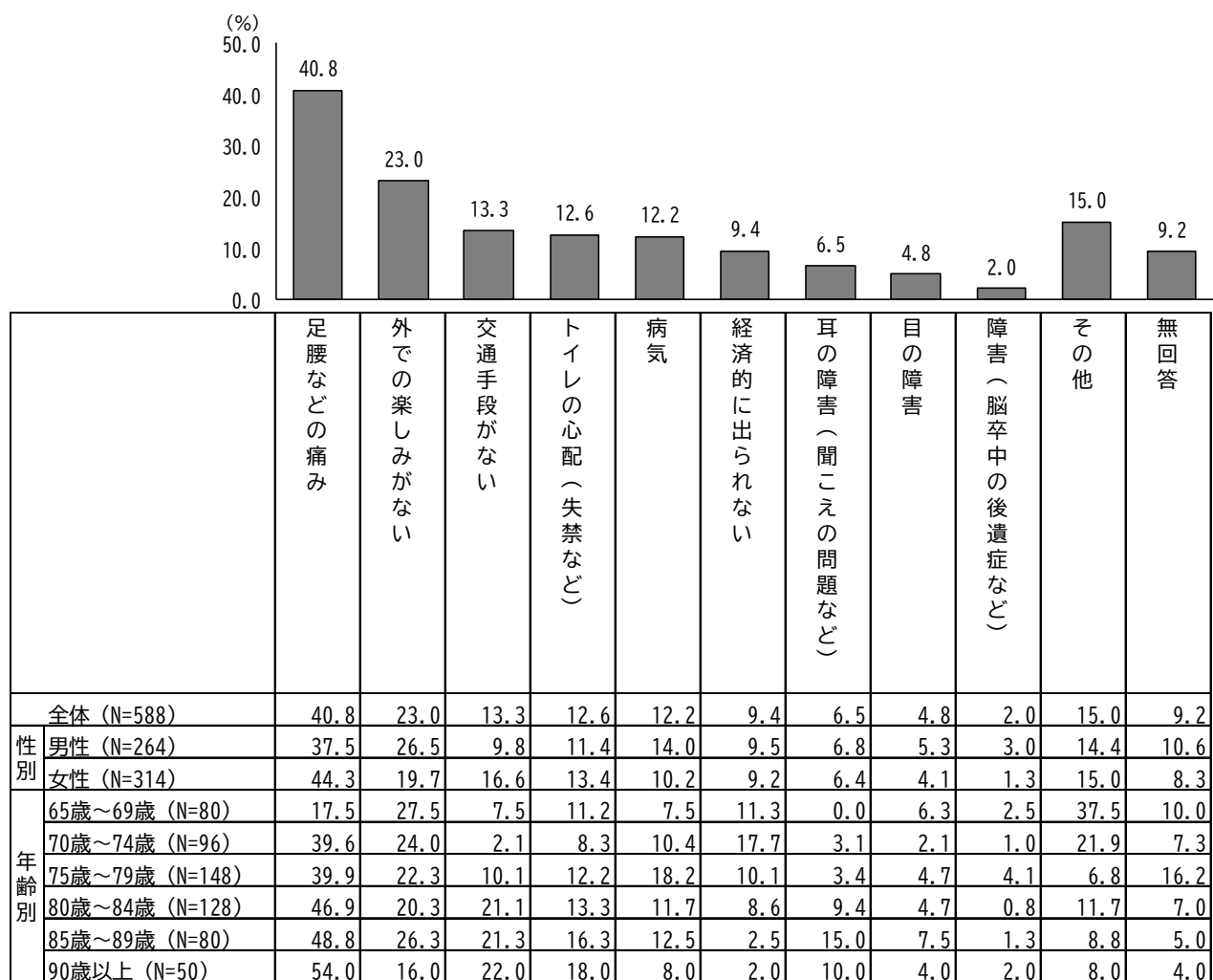
問2（7）①外出の回数が減っている理由は、次のどれですか。（いくつでも）

外出回数が減っている理由についてみると、「足腰などの痛み」が40.8%と最も高く、次いで「外での楽しみがない」（23.0%）、「交通手段がない」（13.3%）の順となっている。

男女別にみると、男性は「外での楽しみがない」、「病気」などが女性に比べて高く、他方で女性は「足腰などの痛み」、「交通手段がない」が男性より高い。

年齢別にみると、「交通手段がない」、「足腰などの痛み」、「耳の障害（聞こえの問題など）」など、多くの項目で年齢とともに高くなる傾向がみられた。

図表2(7)① 外出回数が減っている理由



問2（8）外出する際の移動手段は何ですか。（いくつでも）

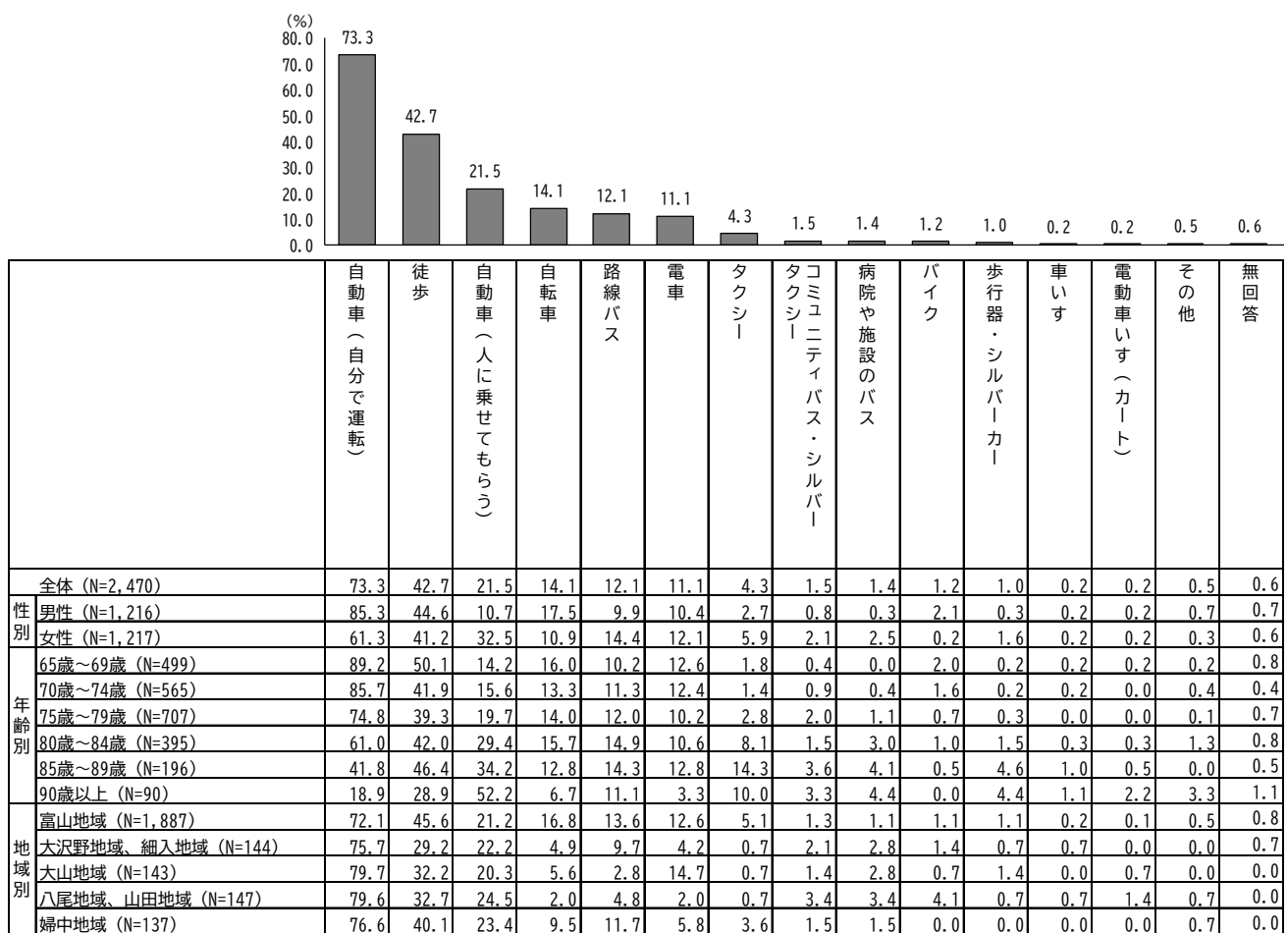
外出する際の移動手段についてみると、「自動車（自分で運転）」が73.3%と最も高く、次いで「徒歩」（42.7%）、「自動車（人に乗せてもらう）」（21.5%）の順となっている。

男女別にみると、男性は85.3%、女性は61.3%と、いずれも「自動車（自分で運転）」が最も高くなっている。他方で、女性は「自動車（人に乗せてもらう）」が32.5%と男性に比べて高い。

年齢別にみると、年齢とともに「自動車（自分で運転）」は低くなり、逆に「自動車（人に乗せてもらう）」が高くなる。また、80歳以上になると、「路線バス」や「タクシー」、「コミュニティバス・シルバータクシー」など公共交通機関の利用が高くなる。

地域別にみると、「富山地域」と「婦中地域」で「徒歩」の割合が他の地域に比べて高くなっている。

図表2(8)-1外出する際の移動手段



図表2(8)-2外出する際の移動手段【圏域別】

	徒歩	自転車	バイク	自動車 (自分で運転)	自動車 (人に乗せてもらう)	電車	路線バス	病院や施設のバス	車いす	電動車いす (カート)	歩行器・シルバーカー	タクシー	コミュニティバス・シルバーバス	その他	無回答
総曲輪、愛宕、安野屋、八人町、五番町、柳町、清水町、星井町 (N=144)	70.1	24.3	0.7	60.4	19.4	27.1	17.4	0.7	0.0	0.0	0.0	7.6	4.9	2.1	2.1
東部、山室 (N=147)	49.7	19.0	2.0	68.0	20.4	8.2	21.8	0.0	0.0	0.0	0.0	8.2	0.0	1.4	2.0
西田地方、堀川、光陽 (N=138)	59.4	24.6	1.4	72.5	18.8	10.9	20.3	2.2	0.0	0.0	1.4	3.6	2.2	0.0	0.7
堀川南、蜷川 (N=119)	47.1	19.3	0.8	75.6	26.1	18.5	16.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	0.8	0.0	0.8
奥田、奥田北 (N=131)	61.1	26.0	1.5	65.6	19.1	29.8	11.5	0.8	0.0	0.0	2.3	9.2	0.8	0.8	0.8
桜谷、五福、神明 (N=142)	47.9	16.2	1.4	81.0	16.2	7.0	12.7	0.7	0.7	0.0	0.0	6.3	0.7	0.0	0.7
岩瀬、萩浦、大広田、浜黒崎 (N=138)	44.9	13.0	0.0	68.1	26.8	24.6	8.0	1.4	0.7	0.7	1.4	7.2	0.0	0.7	0.0
針原、豊田 (N=131)	42.0	16.0	3.1	70.2	26.7	11.5	11.5	2.3	0.0	0.0	2.3	3.8	0.0	0.0	0.0
広田、新庄、新庄北 (N=134)	42.5	16.4	1.5	70.1	25.4	17.2	7.5	0.7	0.7	0.0	0.0	5.2	0.7	0.0	0.0
藤ノ木、山室中部 (N=115)	42.6	17.4	0.9	73.0	21.7	7.0	22.6	1.7	0.9	0.0	1.7	3.5	0.0	0.0	0.9
太田、新保、熊野、月岡 (N=136)	30.1	8.8	0.0	75.7	22.8	0.7	15.4	1.5	0.0	0.7	1.5	2.2	0.0	0.7	0.7
四方、八幡、草島、倉垣 (N=133)	32.3	12.0	0.8	79.7	19.5	5.3	10.5	1.5	0.0	0.0	0.8	4.5	0.8	0.0	0.8
呉羽、長岡、寒江、古沢、老田、池多 (N=138)	29.7	8.0	0.0	76.1	18.1	0.7	9.4	0.7	0.0	0.0	1.4	2.2	2.2	0.7	0.7
水橋中部、水橋西部、水橋東部、三郷、上条 (N=141)	36.9	14.2	0.7	73.0	17.0	7.8	6.4	0.7	0.0	0.0	2.1	3.5	5.0	0.7	0.7
大沢野地域、細入地域 (N=144)	29.2	4.9	1.4	75.7	22.2	4.2	9.7	2.8	0.7	0.0	0.7	0.7	2.1	0.0	0.7
大山地域 (N=143)	32.2	5.6	0.7	79.7	20.3	14.7	2.8	2.8	0.0	0.7	1.4	0.7	1.4	0.0	0.0
八尾地域、山田地域 (N=147)	32.7	2.0	4.1	79.6	24.5	2.0	4.8	3.4	0.7	1.4	0.7	0.7	3.4	0.7	0.0
婦中地域 (N=137)	40.1	9.5	0.0	76.6	23.4	5.8	11.7	1.5	0.0	0.0	0.0	3.6	1.5	0.7	0.0

3 食べることについて

問3（1）身長・体重

平均身長は 160.0cm、平均体重は 59.0kg となっている。

性別でみると、平均身長は男性 166.8cm、女性 153.0cm、平均体重は男性 65.3kg、女性 52.5kg となっている。

年齢別にみると、年齢とともに身長、体重ともに低くなっている。

図表3(1)身長・体重

身長		平均 (cm)	体重		平均 (kg)
全体 (N=2,416)		160.0	全体 (N=2,403)		59.0
性別	男性 (N=1,206)	166.8	性別	男性 (N=1,200)	65.3
	女性 (N=1,174)	153.0		女性 (N=1,167)	52.5
年齢別	65歳～69歳 (N=491)	163.3	年齢別	65歳～69歳 (N=486)	61.9
	70歳～74歳 (N=560)	161.6		70歳～74歳 (N=555)	60.9
	75歳～79歳 (N=692)	159.4		75歳～79歳 (N=691)	58.4
	80歳～84歳 (N=385)	158.1		80歳～84歳 (N=384)	56.8
	85歳～89歳 (N=187)	155.7		85歳～89歳 (N=188)	54.3
	90歳以上 (N=83)	153.5		90歳以上 (N=81)	52.7

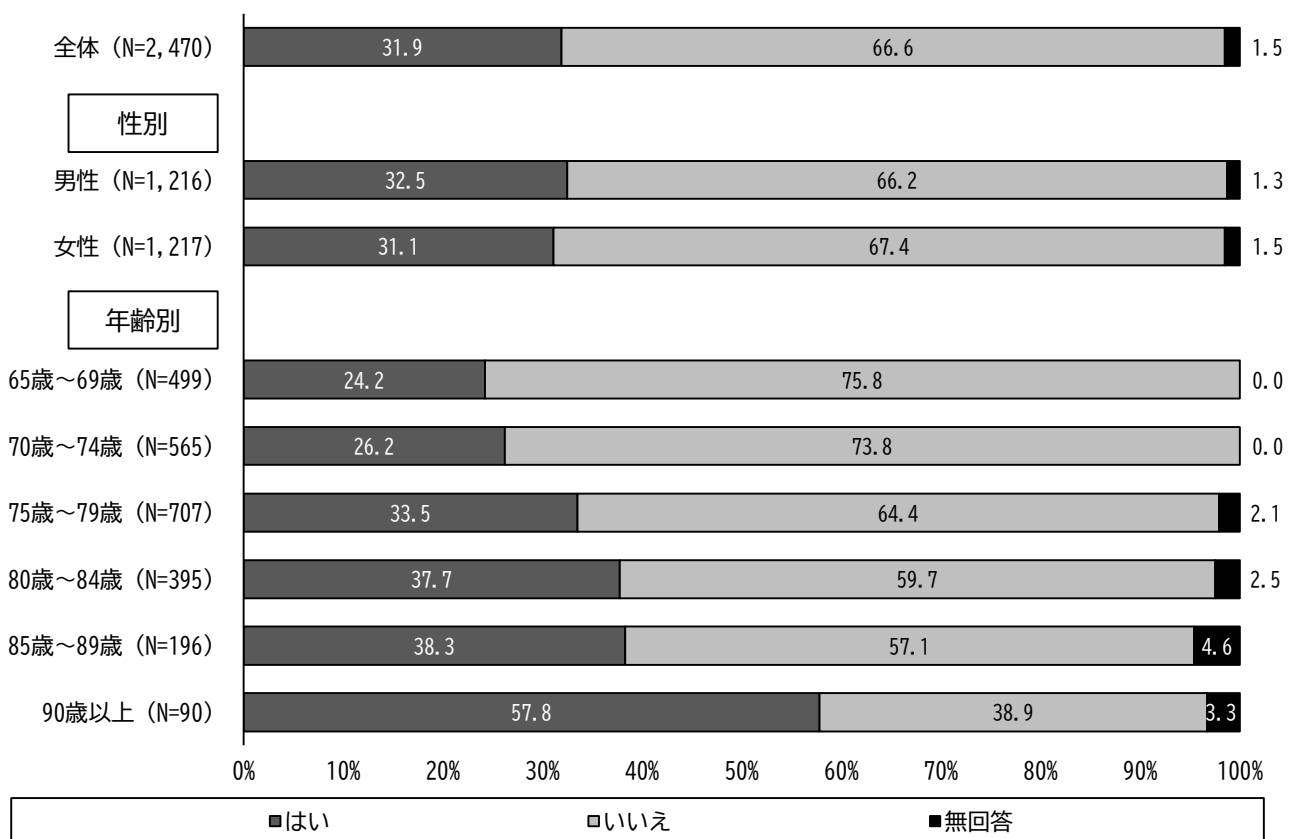
問3（2）半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。

半年前と比べて固いものが食べにくくなったかについてみると、「はい」が31.9%、「いいえ」が66.6%となっている。

男女別にみても大きな差はみられないが、男性の「はい」が32.5%と、女性に比べてやや高くなっている。

年齢別にみると、年齢とともに「はい」の割合は高くなり、「90歳以上」では57.8%と半数以上となっている。

図表3(2)固いものが食べにくい



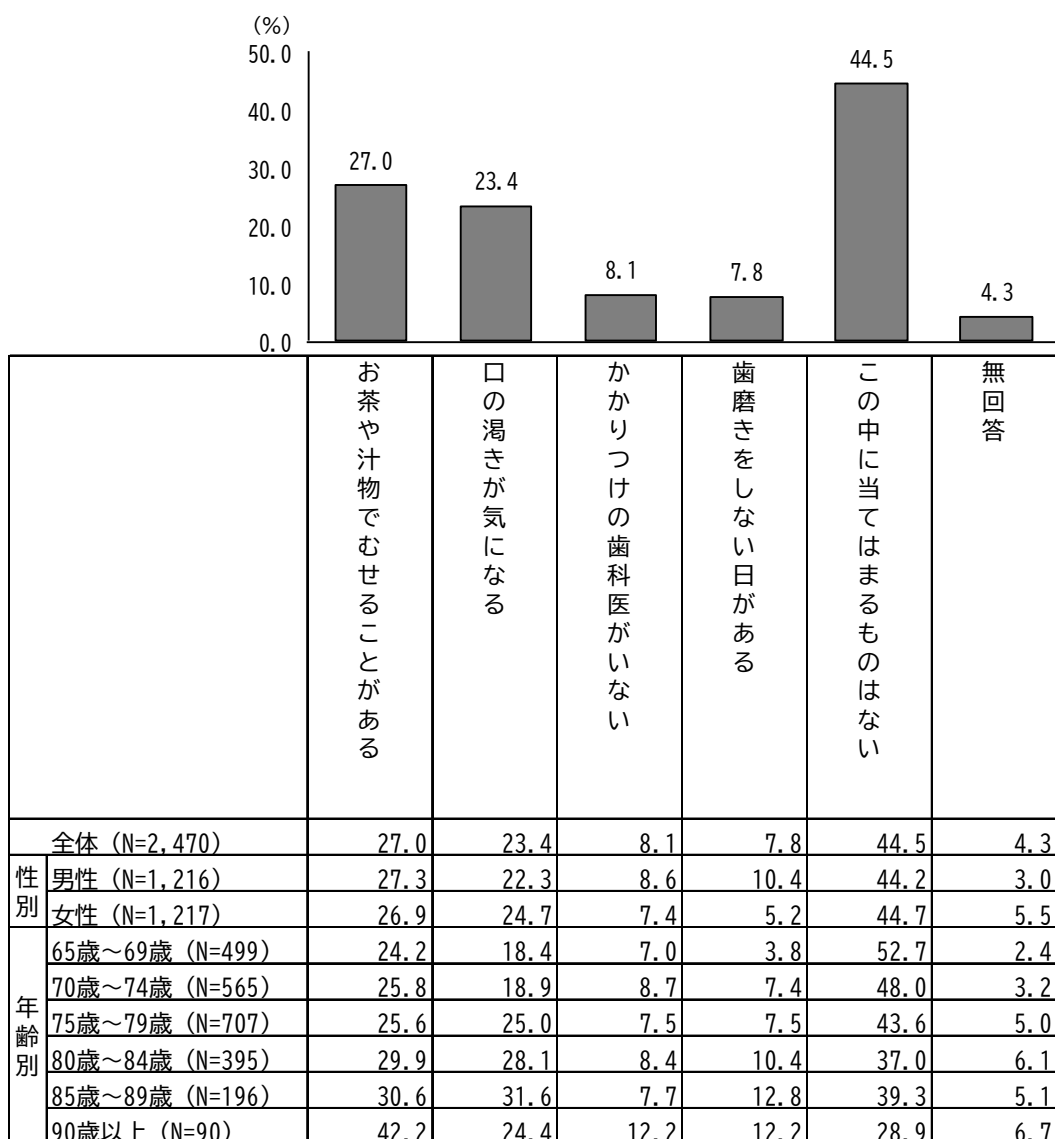
問3（3）あなたの口腔の状態について、次にあてはまるものはありますか。（いくつでも）

口腔の状態についてみると、「お茶や汁物などでむせることがある」が27.0%で最も高く、次いで「口の渇きが気になる」が23.4%、「かかりつけの歯科医がない」が8.1%の順となっている。なお、「この中に当てはまるものはない」は44.5%であった。

男女別にみると、男性は「歯磨きをしない日がある」が10.4%と、女性（5.2%）に比べて高くなっている。他方で女性は「口の渇きが気になる」が男性より高い。

年齢別にみると、年齢とともに「お茶や汁物などでむせることがある」、「口の渇きが気になる」などは高くなる傾向がみられる。

図表3(3)口腔の状態



問3（4）歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。

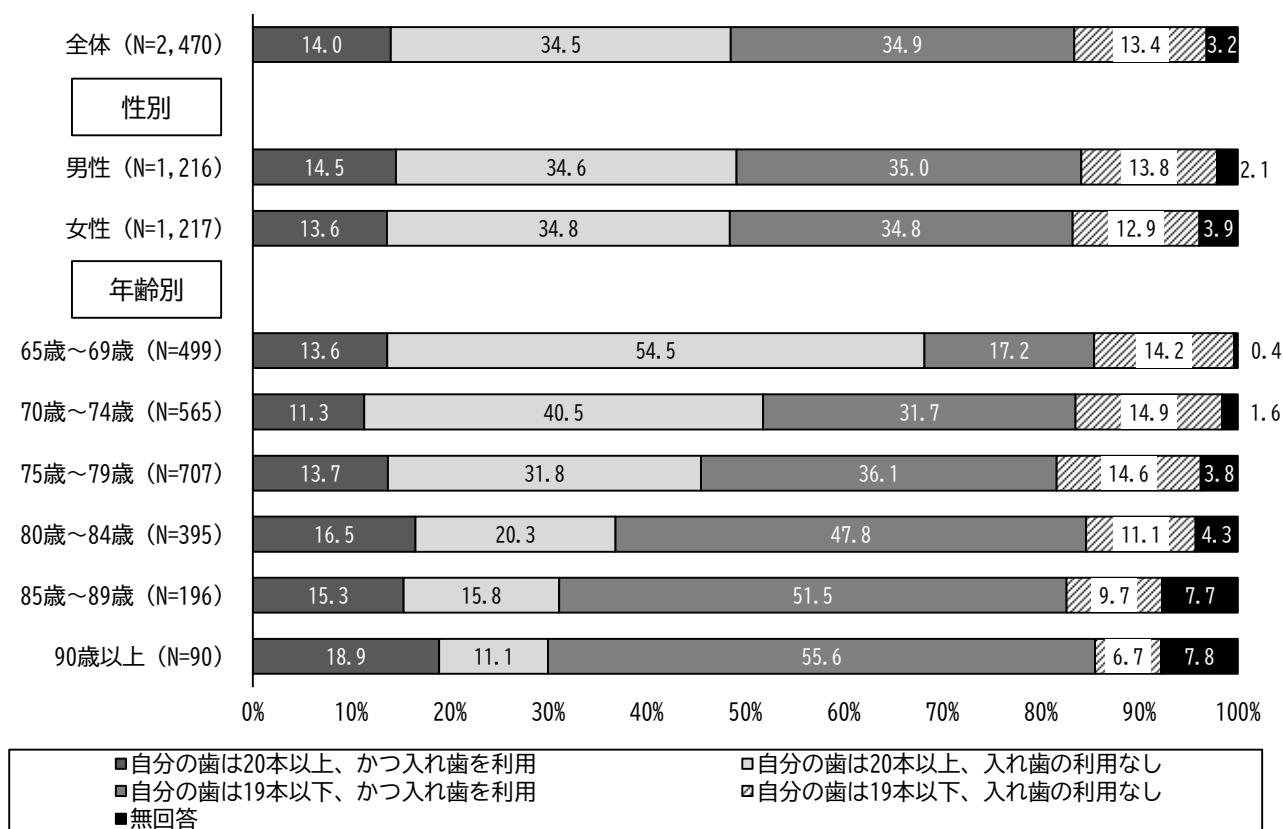
（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です）

歯の数と入れ歯の利用状況についてみると、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」が 14.0%、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯の利用なし」が 34.5%、「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 34.9%、「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯の利用なし」が 13.4%となっている。

男女別にみても、大きな差はみられない。

年齢別にみると、年齢とともに「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が高くなる。

図表3(4)歯の数と入れ歯の利用状況



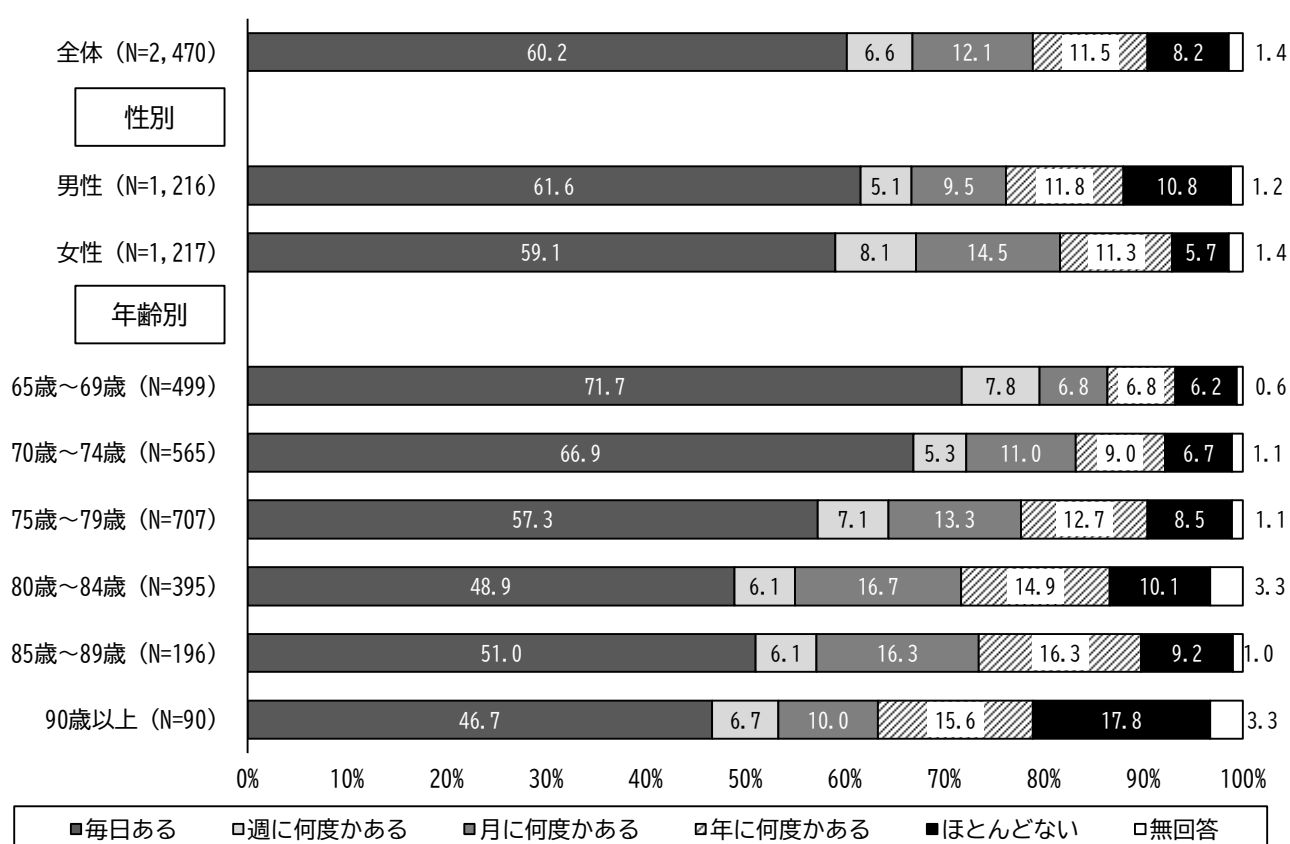
問3（5）どなたかと食事をとる機会がありますか。

誰かと食事をとる機会についてみると、「毎日ある」が60.2%と最も高く、次いで「月に何度かある」が12.1%、「年に何度かある」が11.5%、「ほとんどない」が8.2%、「週に何度かある」が6.6%となっている。

男女別にみると、男性は「ほとんどない」が10.8%と女性（5.7%）に比べて高く、他方で女性は「週に何度かある」、「月に何度かある」が、男性に比べて高くなっている。

年齢別にみると、総じて年齢とともに誰かと食事をする機会は減る傾向にある。

図表3(5)誰かと食事をとる機会



4 毎日の生活について

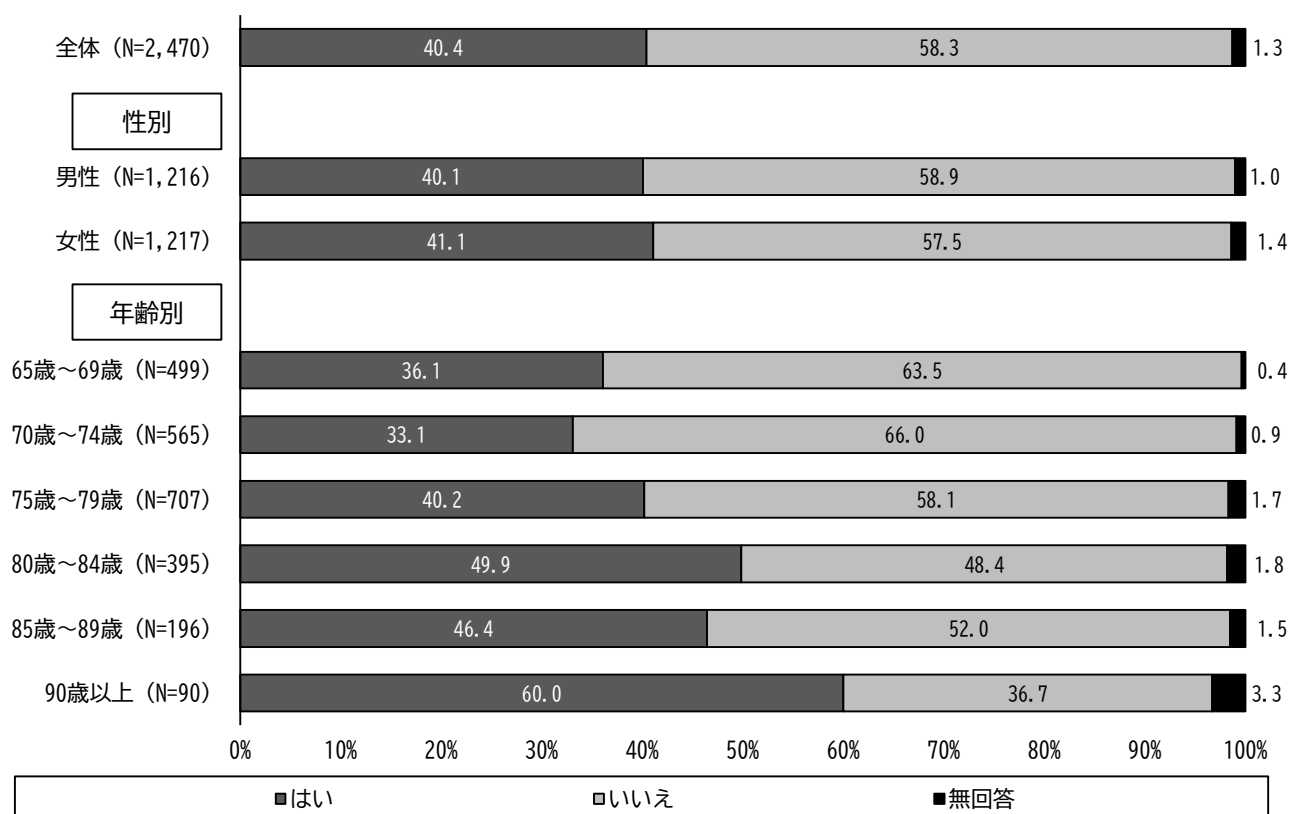
問4（1）物忘れが多いと感じますか。

物忘れが多いと感じるかについてみると、「はい」が40.4%、「いいえ」が58.3%となっている。

男女別にみても、大きな差はみられない。

年齢別にみると、年齢とともに「はい」が高くなる傾向にある。

図表4(1)物忘れについて



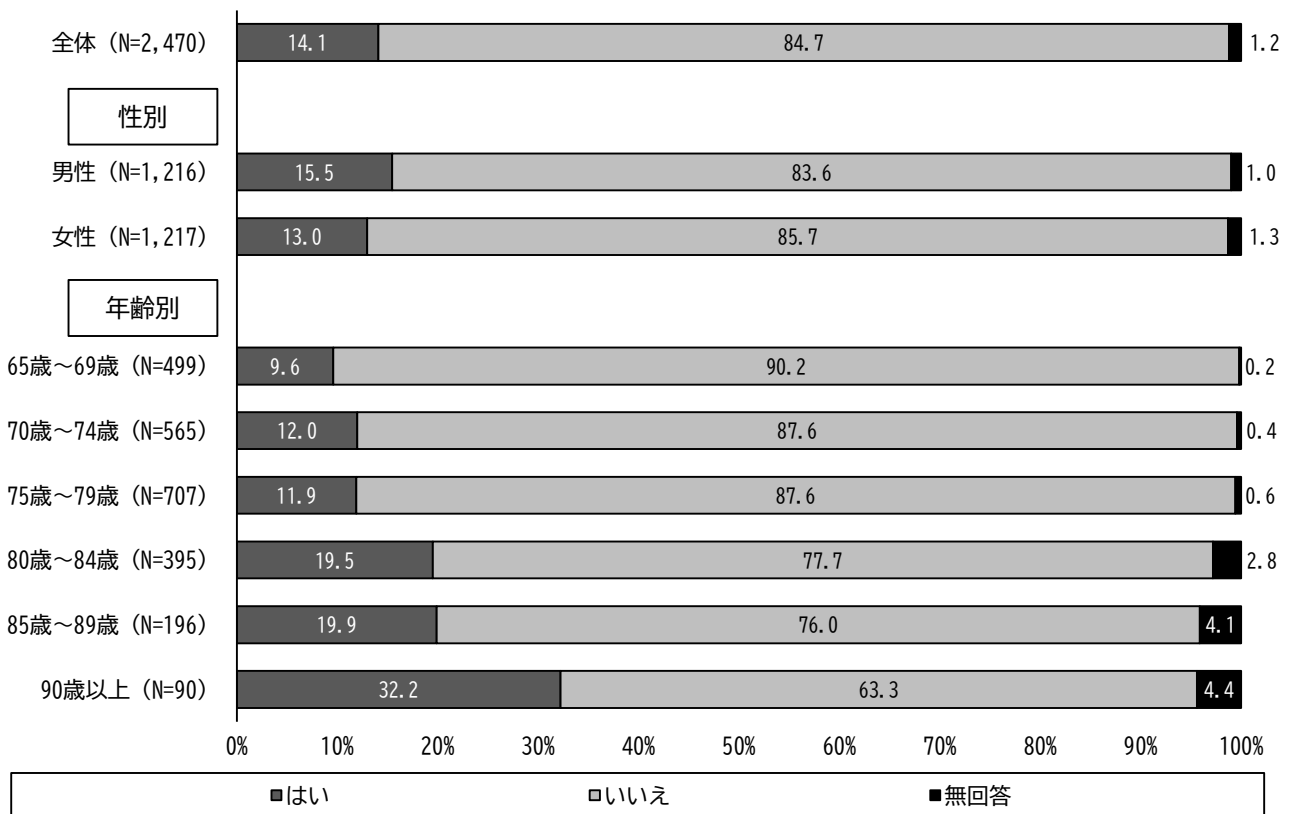
問4（2）周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあると言われるか。

周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあると言われるかについてみると、「はい」が14.1%、「いいえ」が84.7%となっている。

男女別にみると、男性は「はい」が15.5%で、女性（13.0%）に比べやや高くなっている。

年齢別にみると、年齢とともに「はい」が高くなっている。

図表4(2)周囲からいつも同じことを聞くと言われるかについて



問4（3）自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。

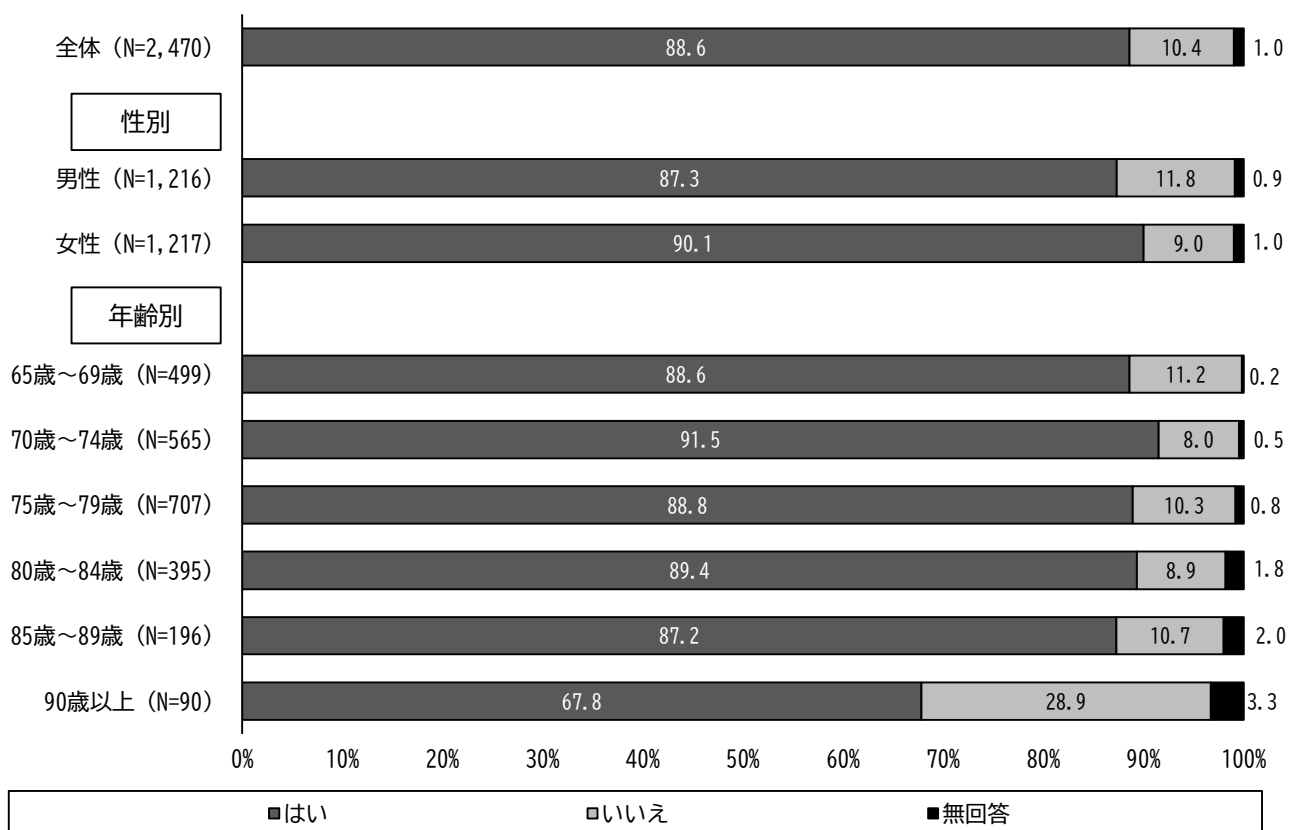
※他者に電話番号を聞いたり、電話をかけてもらって会話するだけの場合は「いいえ」となります。

自分で電話番号を調べて電話をかけているかについてみると、「はい」が88.6%、「いいえ」が10.4%となっている。

男女別にみると、女性は「はい」が90.1%で、男性（87.3%）に比べ高くなっている。

年齢別にみると、年齢とともに「いいえ」が高くなっている。

図表4(3)自分で調べて電話をかけることについて

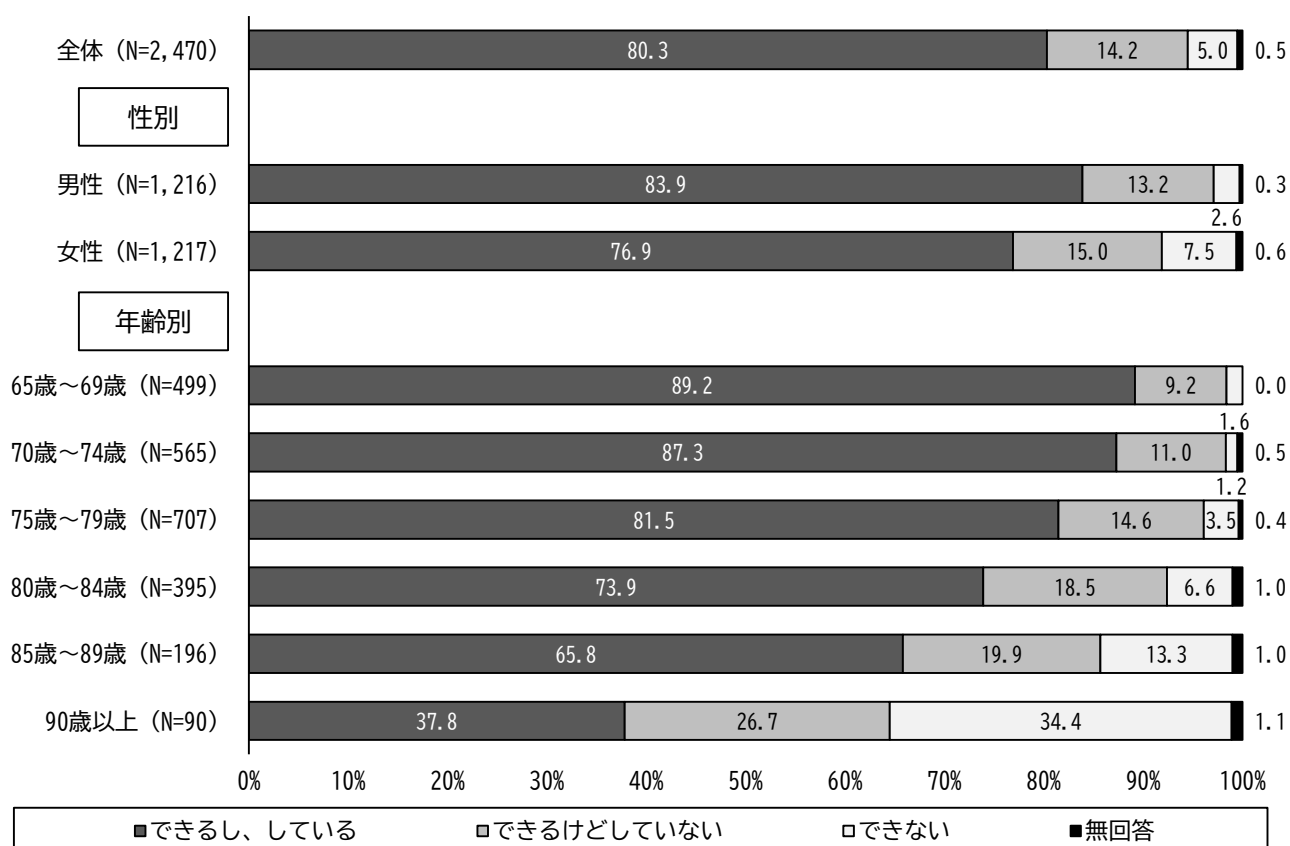


問4（4）バスや電車を使って1人で外出していますか。（自家用車でも可）

乗り物を使って1人で外出しているかについてみると、「できるし、している」が80.3%、「できるだけしていない」が14.2%、「できない」が5.0%となっている。

男女別にみると、男性は「できるし、している」が83.9%で、女性（76.9%）に比べ高くなっている。
年齢別にみると、年齢とともに「できるし、している」が低くなっている。

図表4(4)乗り物を使って1人で外出しているか

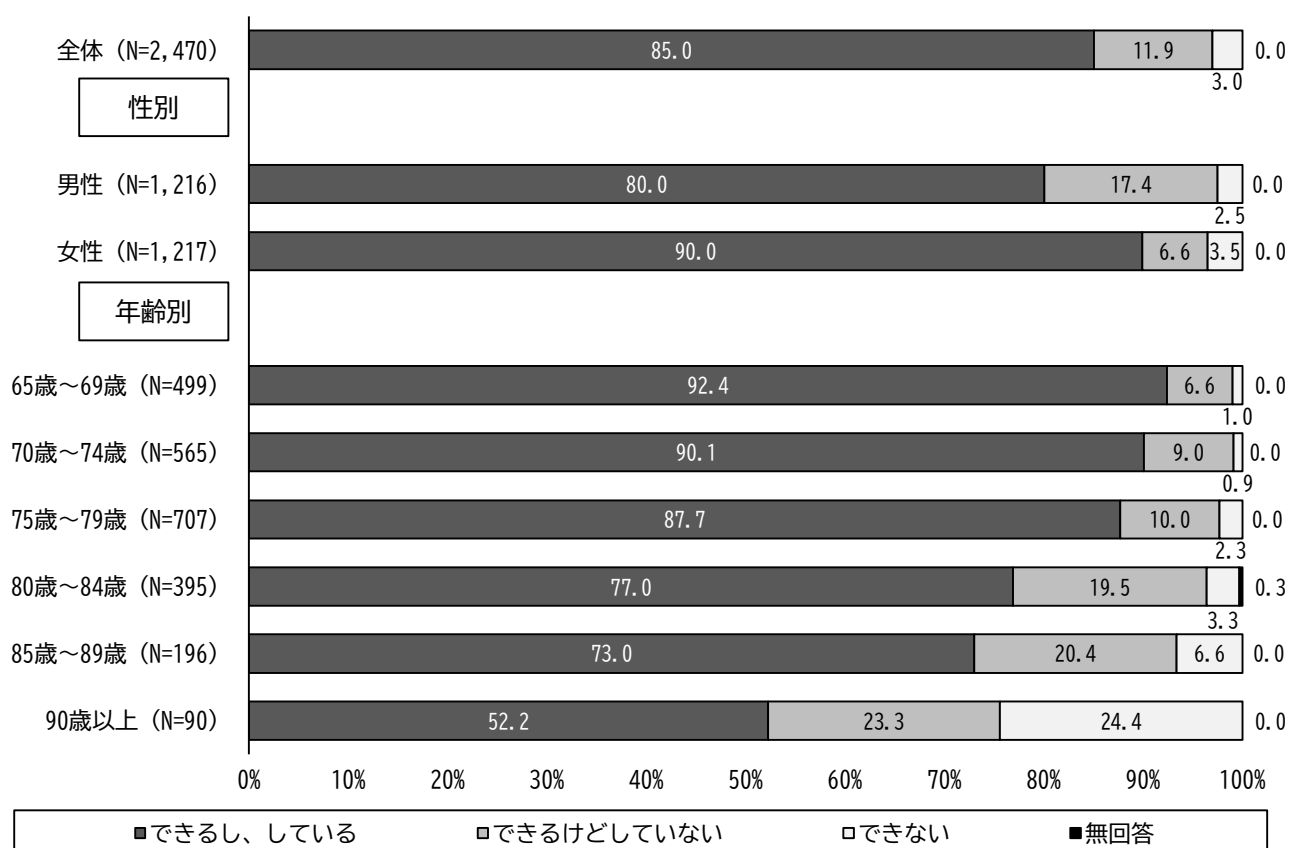


問4（5）自分で食品・日用品の買い物をしていますか。

自分で食品・日用品の買い物をしているかについてみると、「できるし、している」が85.0%、「できるけどしていない」が11.9%、「できない」が3.0%となっている。

男女別にみると、女性は「できるし、している」が90.0%で、男性（80.0%）に比べ高くなっている。
年齢別にみると、年齢とともに「できるし、している」が低くなっている。

図表4(5)自分で食品・日用品の買い物をしているか



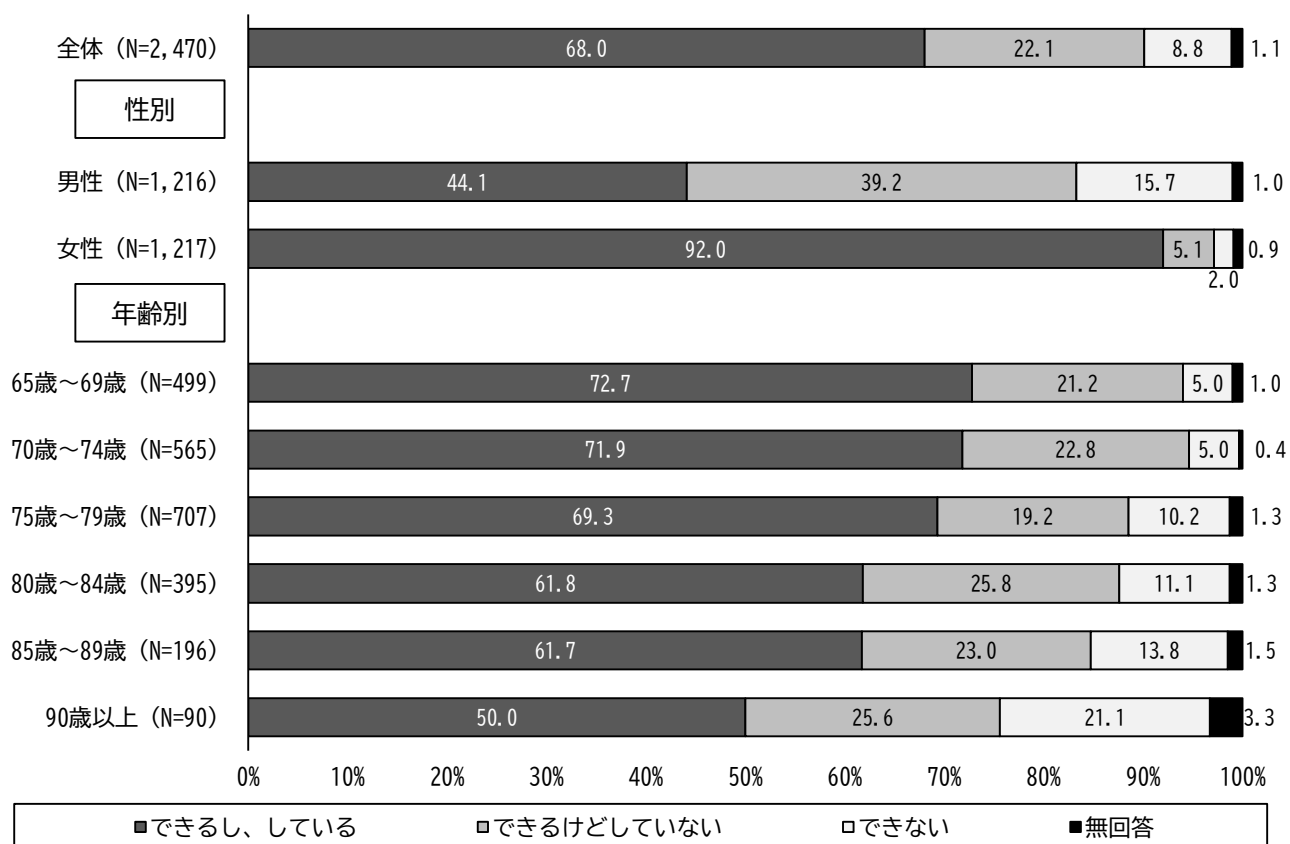
問4（6）自分で食事の用意をしていますか。

自分で食事の用意をしているかについてみると、「できるし、している」が68.0%、「できるけどしていない」が22.1%、「できない」が8.8%となっている。

男女別にみると、女性は「できるし、している」が92.0%と、男性（44.1%）に比べ非常に高くなっている。

年齢別にみると、年齢とともに「できるし、している」が低くなっている。

図表4(6)自分で食事の用意をしているか

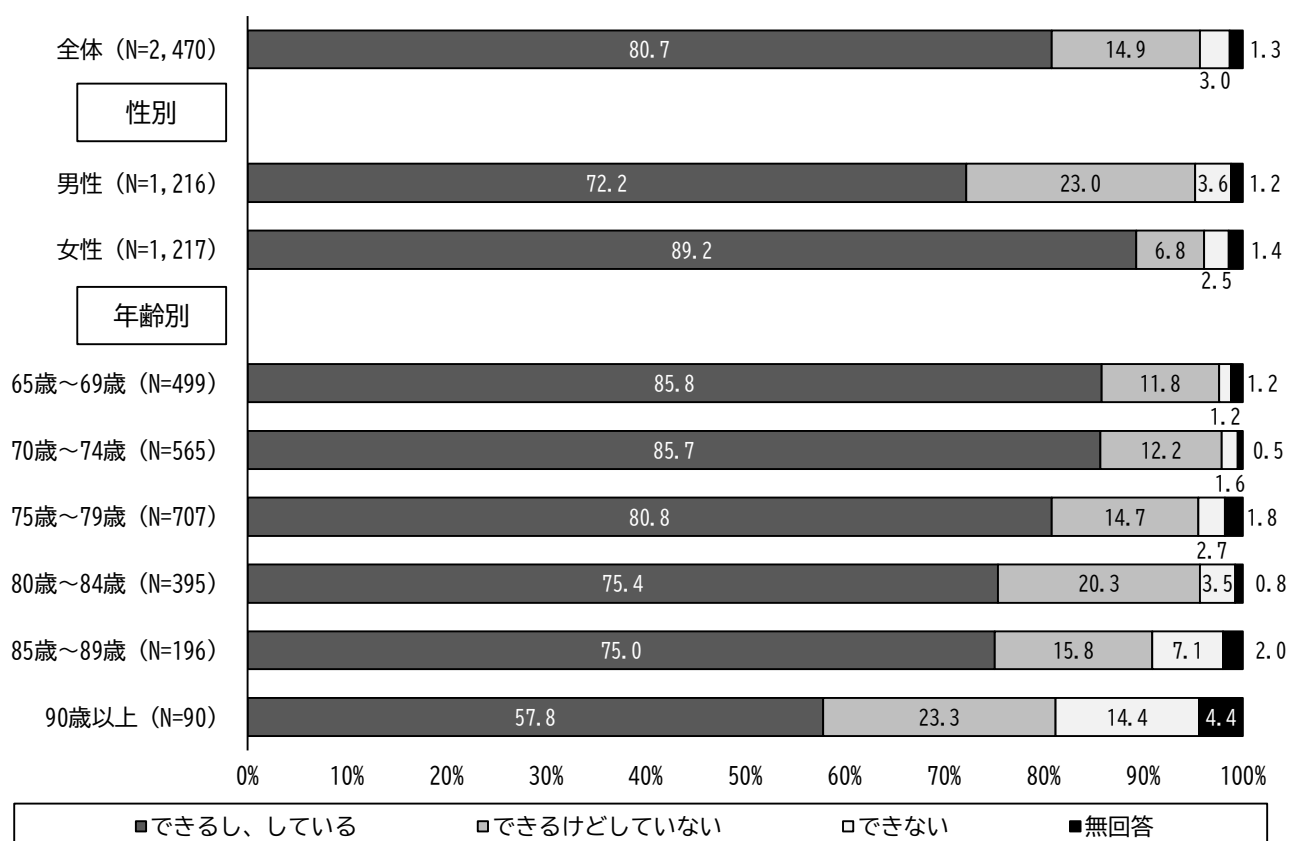


問4（7）自分で請求書の支払いをしていますか。

自分で請求書の支払いをしているかについてみると、「できるし、している」が80.7%、「できるけどしていない」が14.9%、「できない」が3.0%となっている。

男女別にみると、女性は「できるし、している」が89.2%で、男性（72.2%）に比べ高くなっている。
年齢別にみると、年齢とともに「できるし、している」が低くなっている。

図表4(7)自分で請求書の支払いをしているか

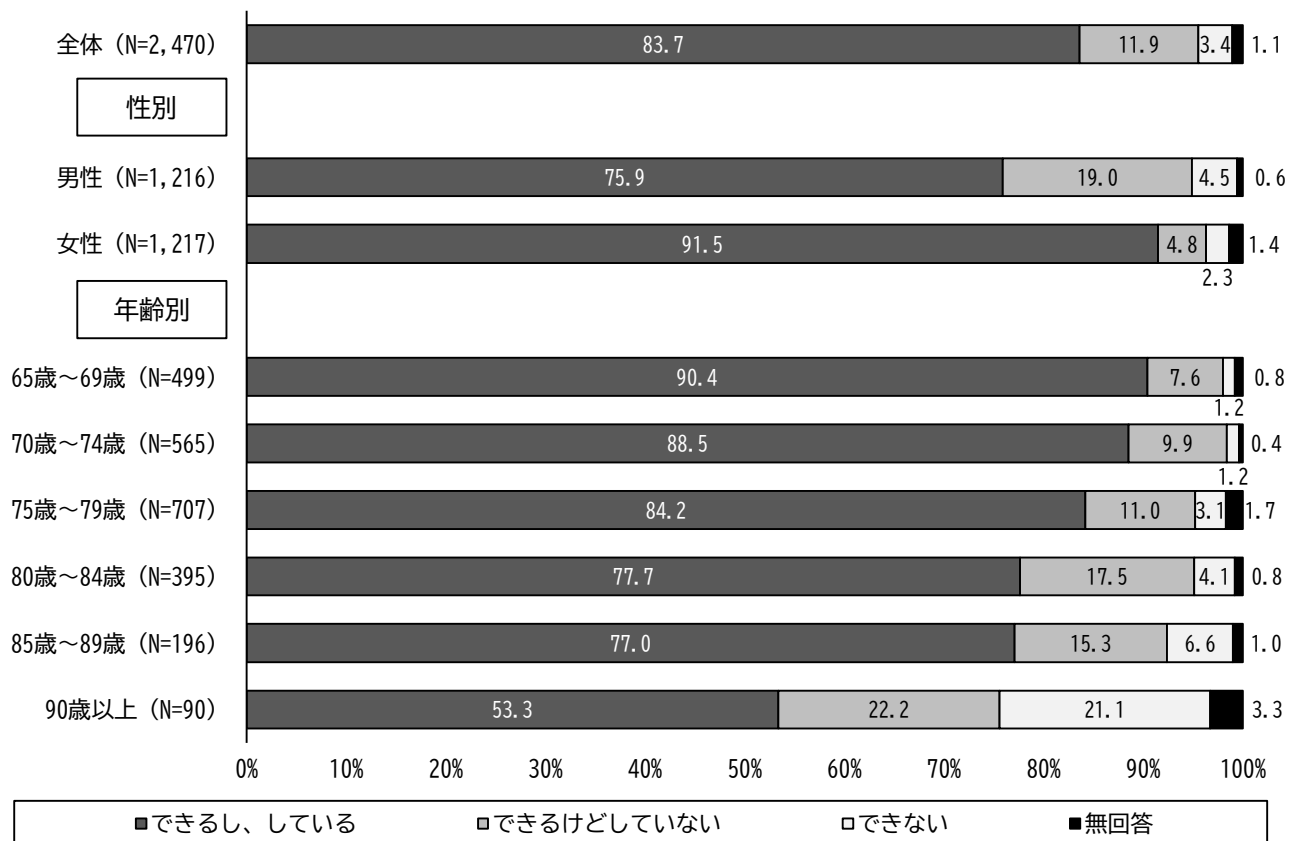


問4（8）自分で預貯金の出し入れをしていますか。

自分で預貯金の出し入れをしているかについてみると、「できるし、している」が83.7%、「できるけどしていない」が11.9%、「できない」が3.4%となっている。

男女別にみると、女性は「できるし、している」が91.5%で、男性（75.9%）に比べ高くなっている。
年齢別にみると、年齢とともに「できるし、している」が低くなっている。

図表4(8)自分で預貯金の出し入れをしているか



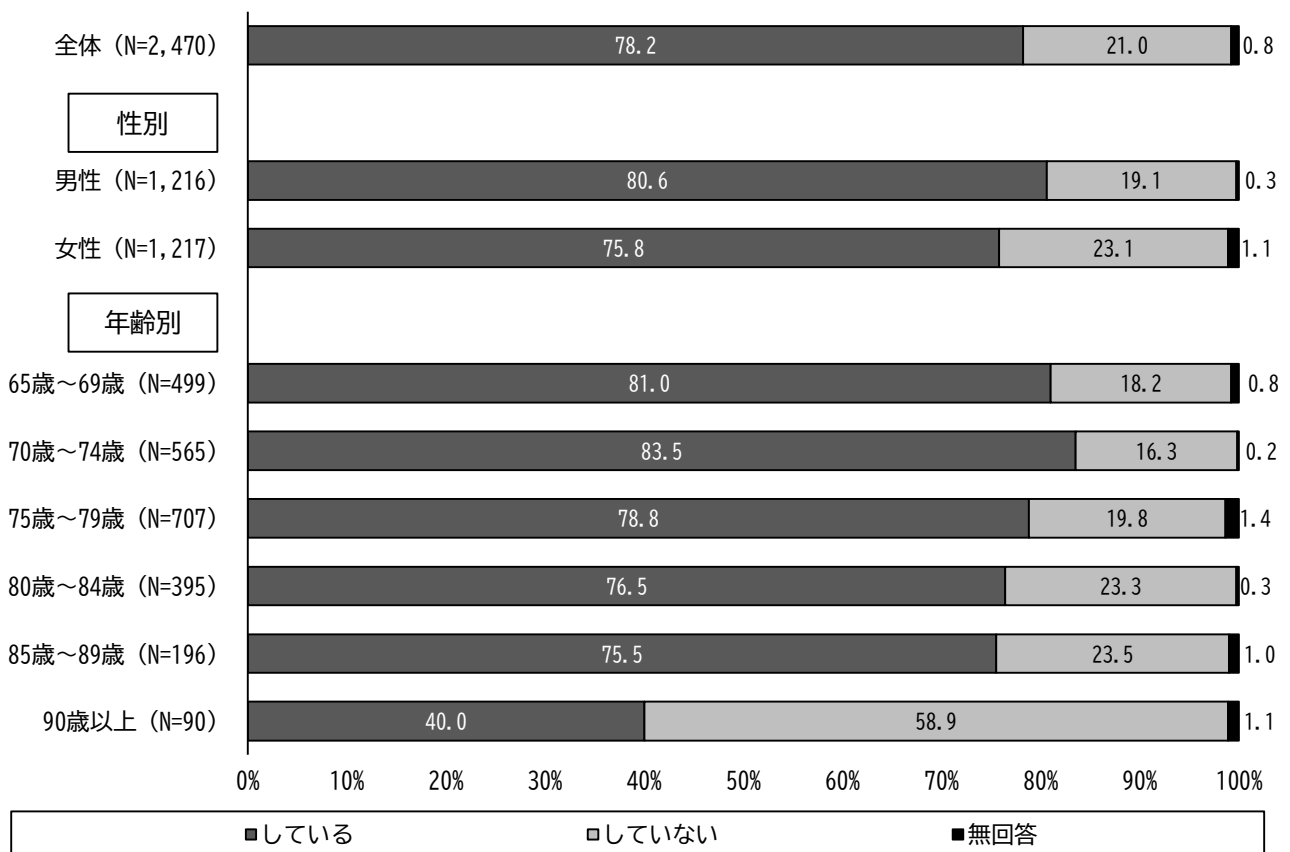
問4（9）自分でゴミ出しをしていますか。

自分でゴミ出しをしているかについてみると、「している」が78.2%、「していない」が21.0%となっている。

男女別にみると、男性は「している」が80.6%で、女性（75.8%）に比べ高くなっている。

年齢別にみると、年齢とともに「している」が低くなっている。

図表4(9)自分でゴミ出しをしているか



問4（9）で「していない」と回答された方のみ回答

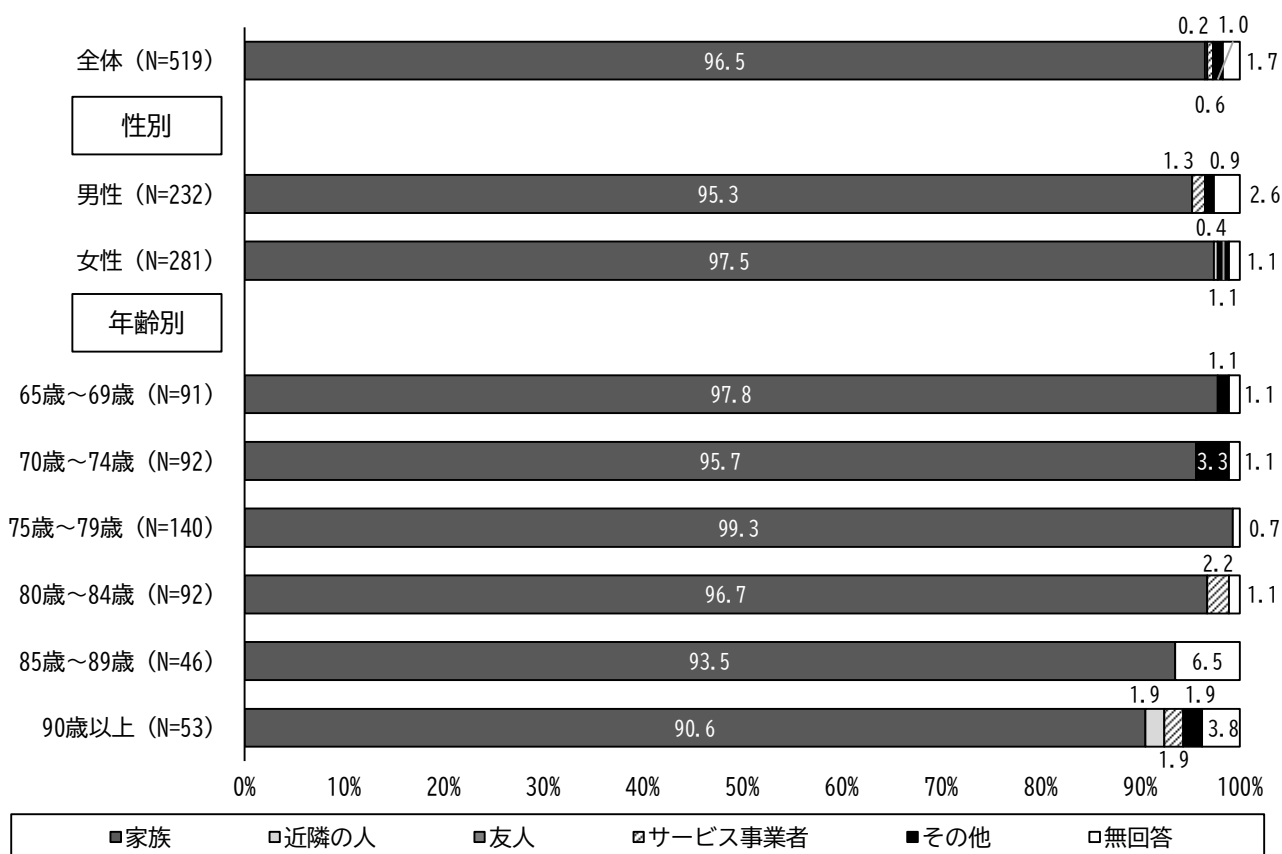
問4（9）①どなたがゴミ出しをしていますか。

どなたがゴミ出しを行っているかについてみると、「家族」が96.5%と大半を占めていた。

男女別にみても、大きな差はみられない。

年齢別にみると、年齢とともに「家族」以外の割合が高くなっている。

図表4(9)① ゴミ出しをしている人



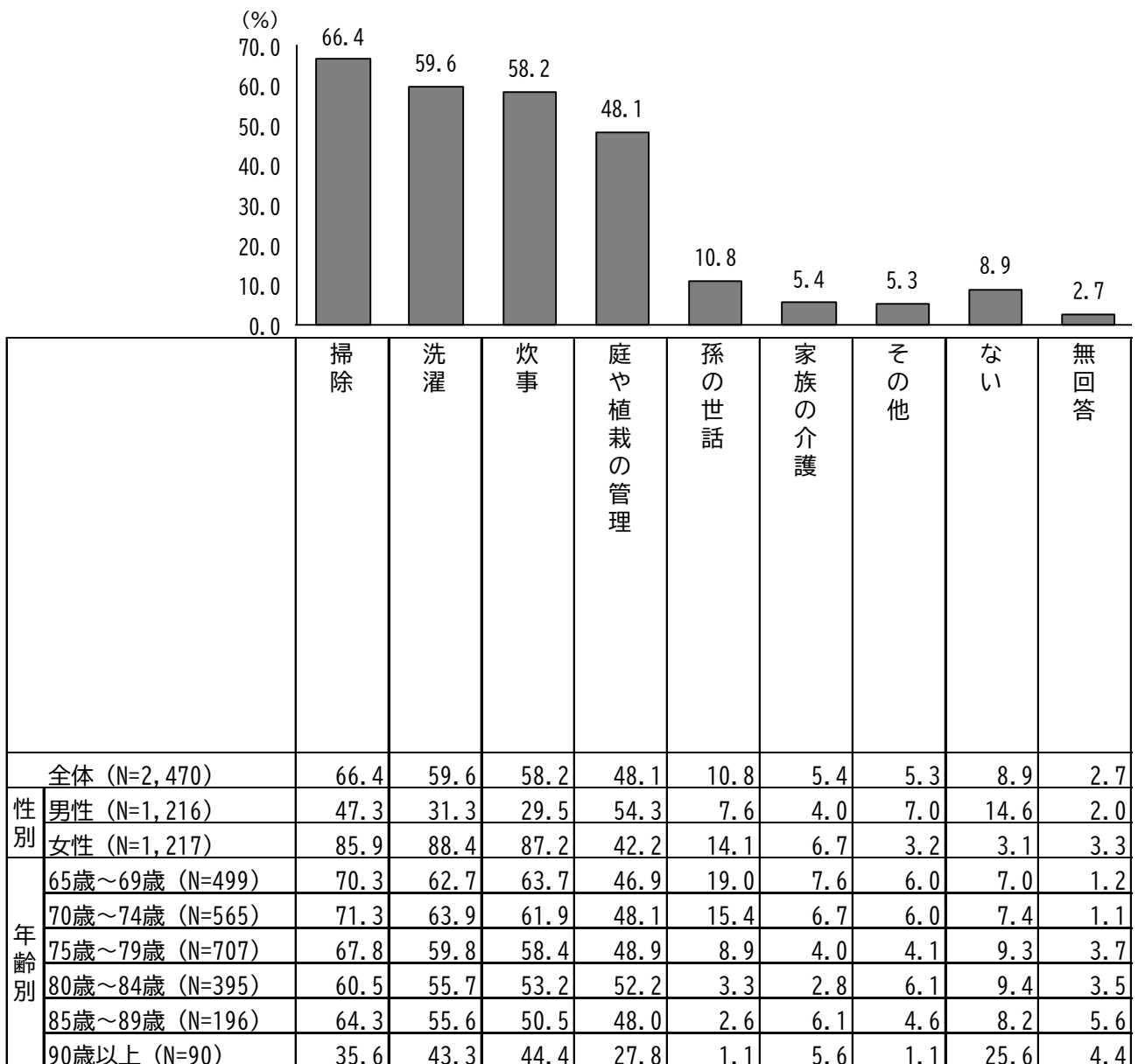
問4（10）家庭内で何か役割はありますか。（いくつでも）

家庭内での役割についてみると、「掃除」が66.4%と最も高く、次いで「洗濯」（59.6%）、「炊事」（58.2%）、「庭や植栽の管理」（48.1%）の順となっている。また、「ない」は8.9%であった。

男女別にみると、男性は「ない」が14.6%で女性（3.1%）に比べ高くなっている。また、役割については「庭や植栽の管理」のみ54.3%と女性（42.2%）に比べ高いが、それ以外の項目は「その他」以外ではすべて女性の方が高く、特に「掃除」、「炊事」、「洗濯」では差が大きい。

年齢別にみると、年齢とともに「ない」割合が高くなり、役割も減る傾向がみられる。

図表4(10)家庭内での役割



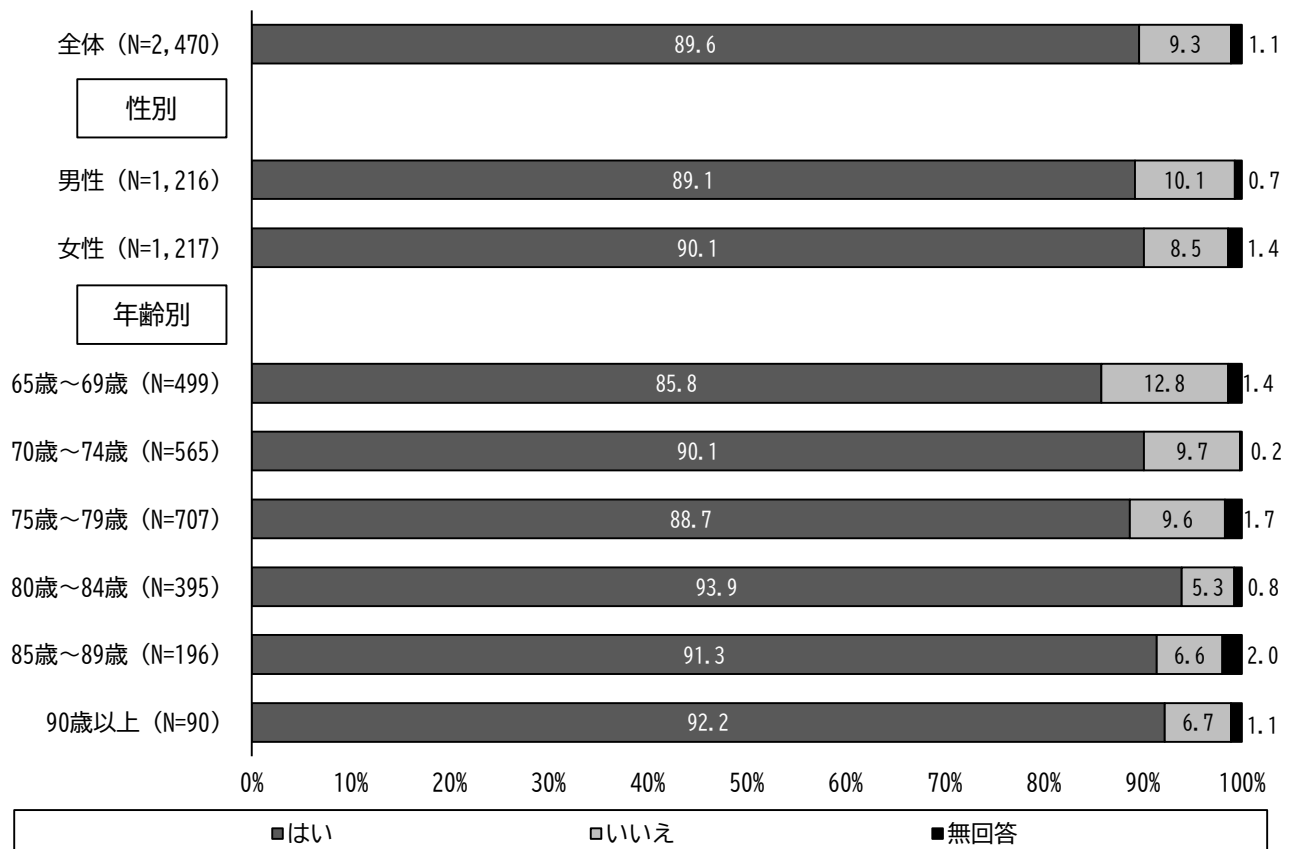
問4（11）新聞や本、雑誌を読んでいますか。

新聞や本、雑誌を読んでいるかについてみると、「はい」が89.6%、「いいえ」が9.3%となっている。

男女別にみても、大きな差はみられない。

年齢別にみても、大きな差はみられない。

図表4(11)新聞や本、雑誌を読んでいるか



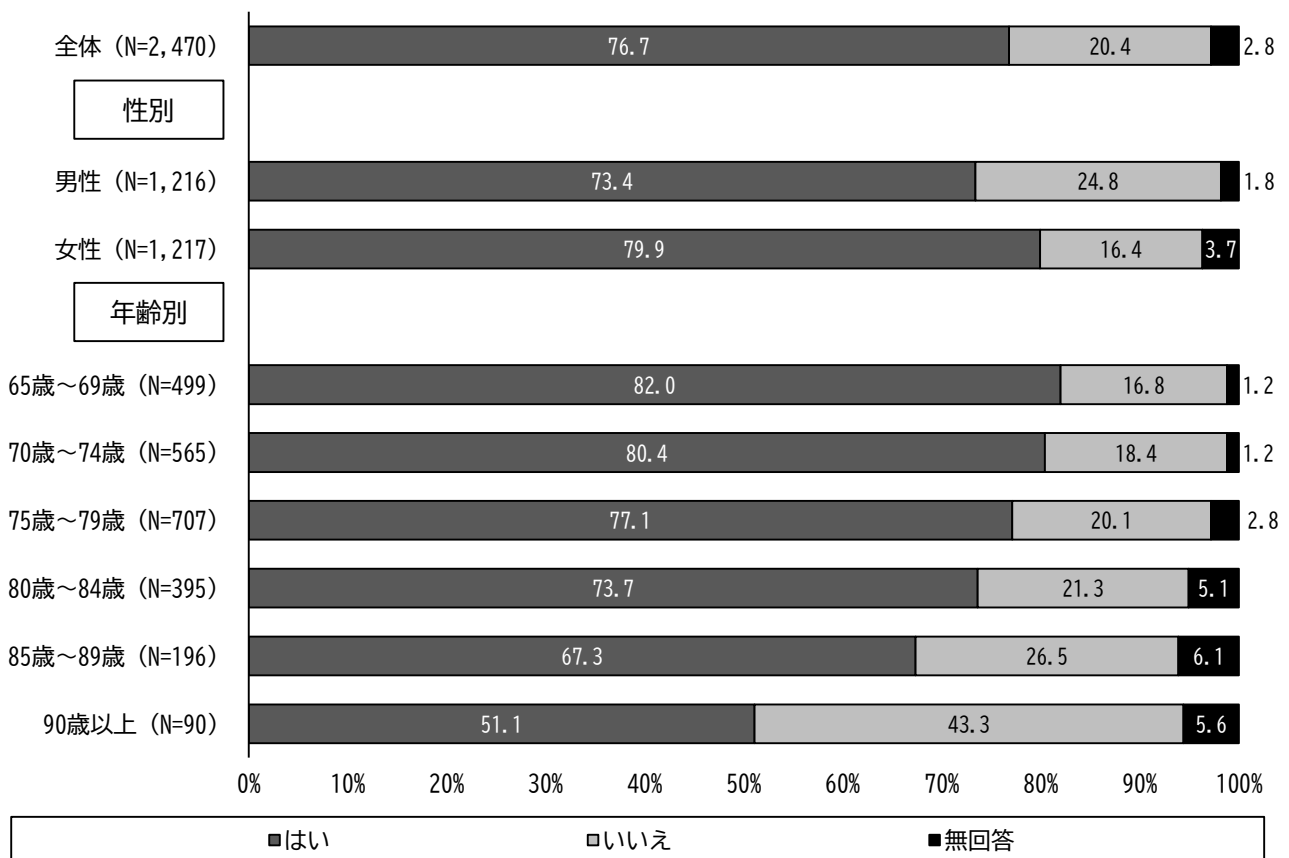
問4（12）家族や友人の相談にのっていますか。

家族や友人の相談にのっているかについてみると、「はい」が76.7%、「いいえ」が20.4%となっている。

男女別にみると、女性は「はい」が79.9%で、男性（73.4%）に比べ高くなっている。

年齢別にみると、年齢とともに「はい」が低くなっている。

図表4(12)家族や友人の相談にのっているか



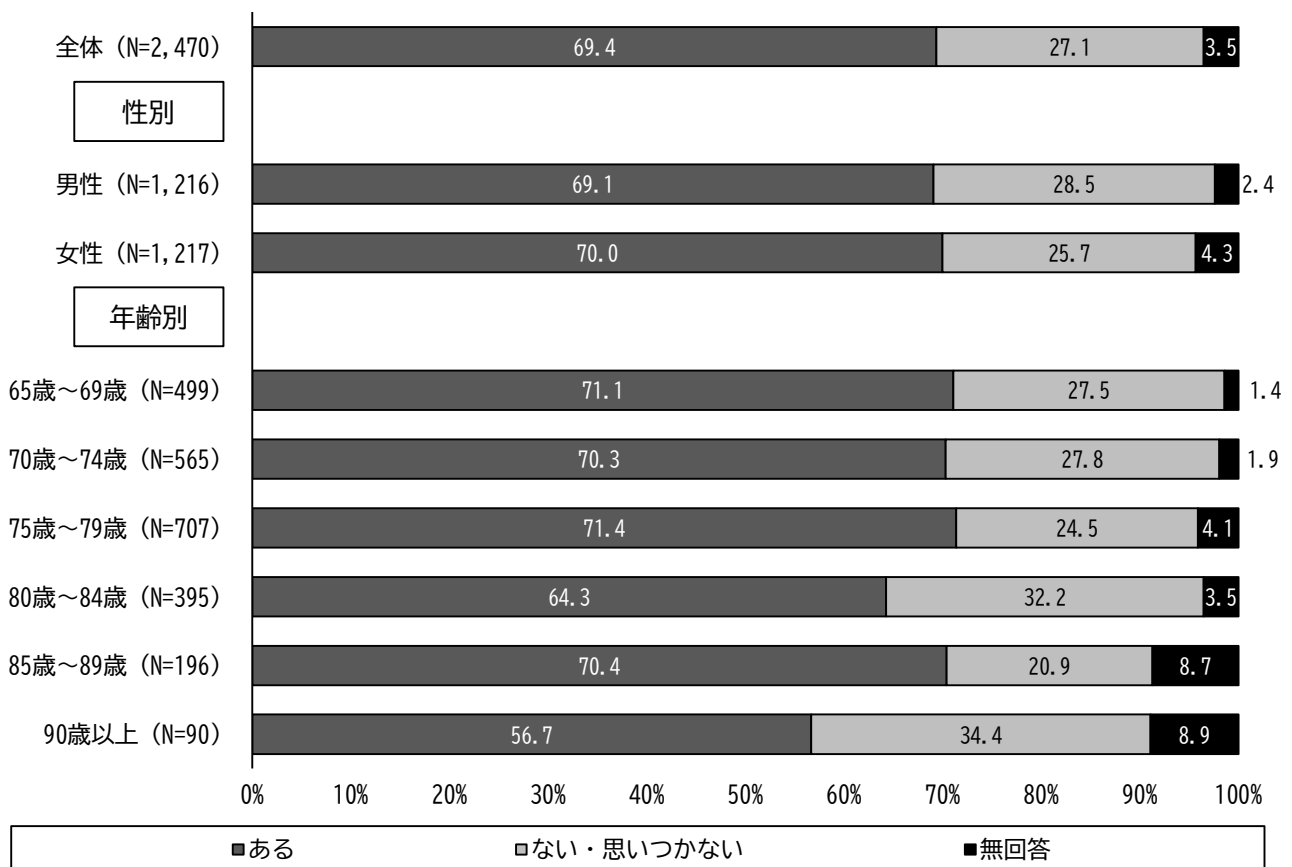
問4（13）趣味や生きがいがありますか。

趣味や生きがいがあるかについてみると、「ある」が69.4%、「ない・思いつかない」が27.1%となっている。

男女別にみても、大きな差はみられない。

年齢別にみると、「90歳以上」になると「ある」が56.7%と急に低くなった。

図表4(13)趣味や生きがい



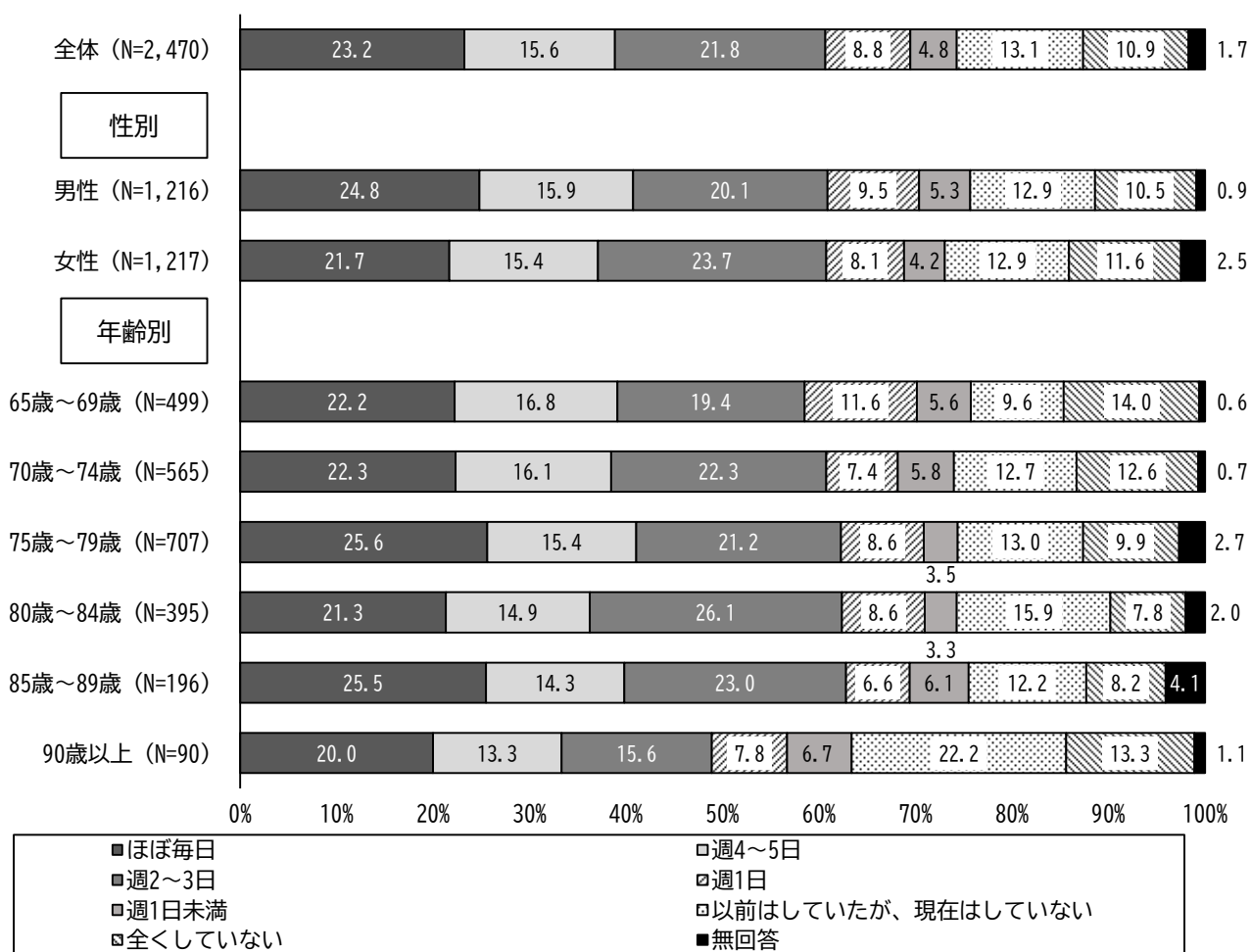
問4（14）運動（散歩など軽い運動を含む）はどのくらいの頻度で行っていますか。

運動を行う頻度についてみると、「ほぼ毎日」が23.2%と最も高く、次いで「週2～3日」（21.8%）、「週4～5日」（15.6%）の順となっている。

男女別にみると、男性は「ほぼ毎日」が24.8%と女性（21.7%）に比べて高くなっている。

年齢別にみると、年齢とともに頻度は低くなり、「以前はしていたが、現在はしていない」や「全くしていない」割合が高くなる。

図表4(14)運動を行う頻度



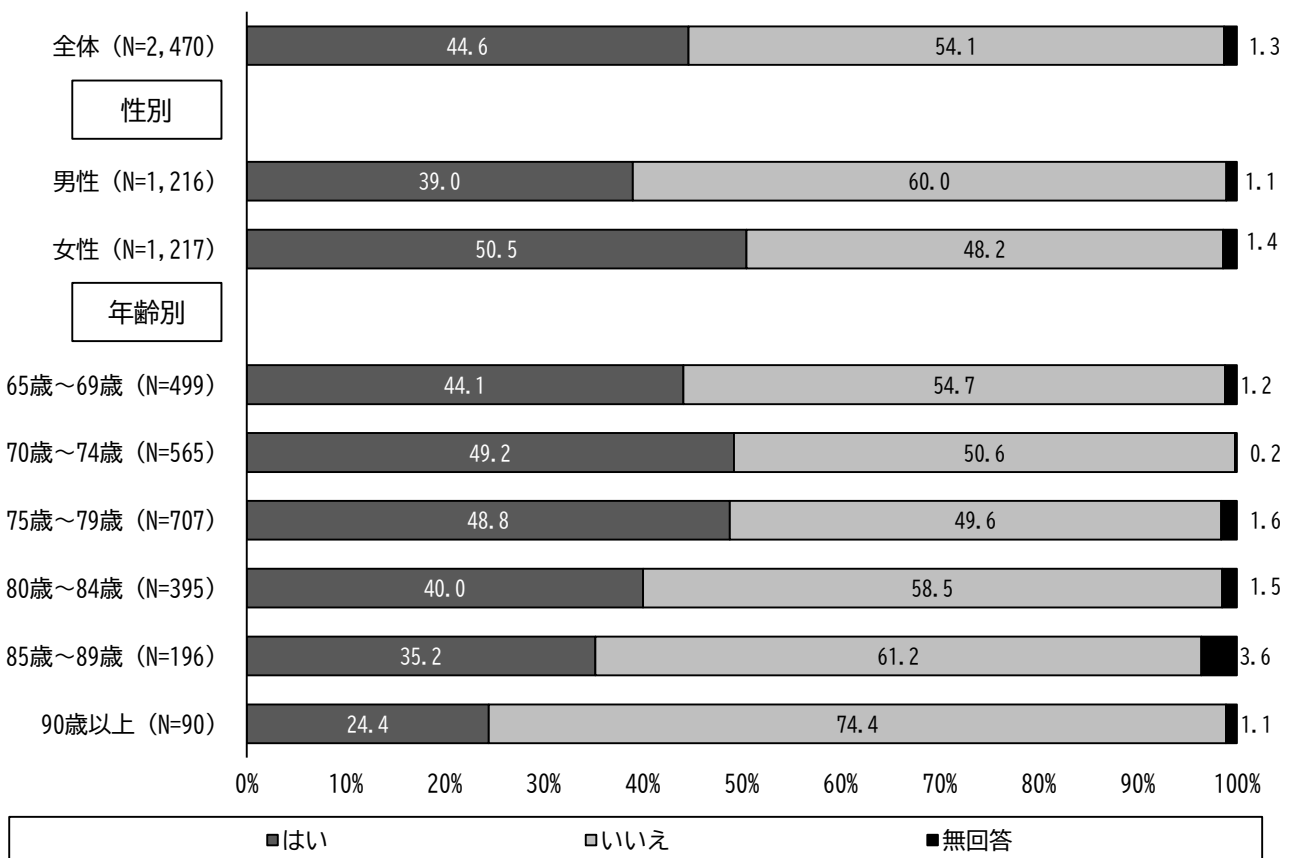
問4（15）10～20歳代の世代との交流がありますか。

10～20歳代の世代との交流があるかについてみると、「はい」が44.6%、「いいえ」が54.1%、となっている。

男女別にみると、女性は「はい」が50.5%と、男性（39.0%）に比べて高くなっている。

年齢別にみると、年齢とともに「はい」が低くなっている。

図表4(15)10～20歳代の世代との交流があるか



問4（15）で「はい」と回答された方のみ回答

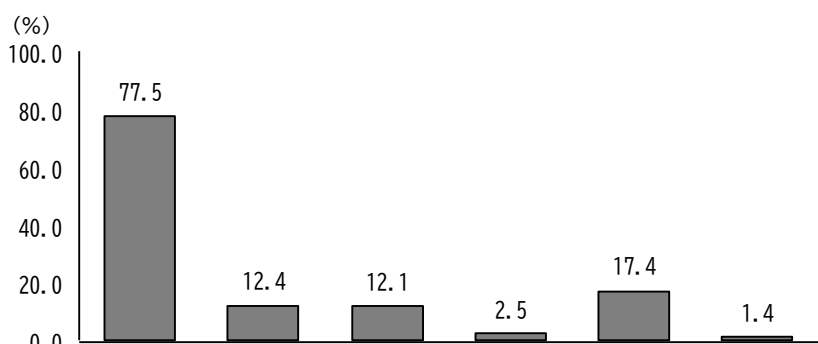
問4（15）①それはどのような方ですか。

どのような方と交流しているかについてみると、「孫」が77.5%と最も高く、次いで「親戚」（12.4%）、「近所の人」（12.1%）の順となっている。

男女別にみると、女性が「孫」82.9%で男性（70.9%）に比べて高くなっている

年齢別にみると、すべての年代で「孫」との回答が多くなっている。「90歳以上」になると「利用するサービス事務所の職員」の割合が高くなっている。また「65歳～69歳」で、「その他（41.8%）」の回答で「職場」や「会社の同僚」を挙げる回答が目立った。

図表4(15)① どのような方と交流しているか



		孫	親戚	近所の人	利用するサービスの職員の事務所	その他	無回答
全体 (N=1,101)		77.5	12.4	12.1	2.5	17.4	1.4
性別	男性 (N=474)	70.9	15.4	12.4	1.7	22.4	1.9
	女性 (N=614)	82.9	10.3	11.9	3.3	13.4	1.0
年齢別	65歳～69歳 (N=220)	56.8	9.5	12.7	0.5	41.8	1.4
	70歳～74歳 (N=278)	75.9	10.4	9.7	2.2	18.3	2.2
	75歳～79歳 (N=345)	86.1	12.2	11.0	1.2	8.1	0.9
	80歳～84歳 (N=158)	86.1	14.6	15.2	5.1	7.0	1.9
	85歳～89歳 (N=69)	85.5	24.6	15.9	7.2	10.1	0.0
	90歳以上 (N=22)	81.8	18.2	13.6	18.2	4.5	0.0

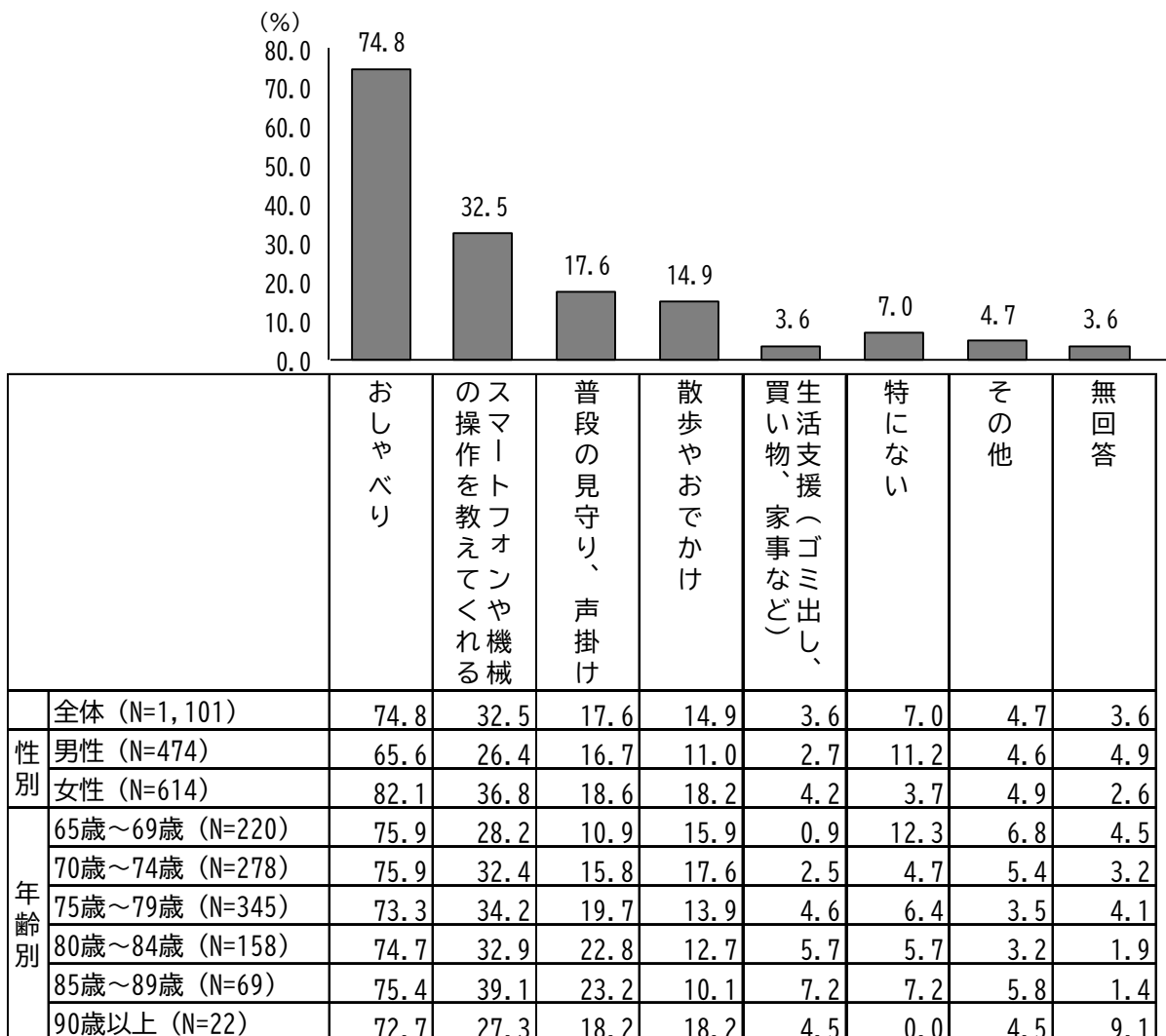
問4（15）②10～20歳代の世代と交流することでうれしいと思うこと、支えになっていることは
 なんですか。（いくつでも）

10～20歳代の世代と交流することでうれしいと思うこと、支えになっていることについてみると、「おしゃべり」が74.8%と最も高く、次いで「スマートフォンや機械の操作を教えてくれる」（32.5%）、「普段の見守り、声掛け」（17.6%）の順となっている。

男女別にみると、女性が多く項目で男性に比べて高くなった。他方で男性は「特にない」が女性より高くなった。

年齢別にみても、すべての世代で「おしゃべり」が7割以上と最も高く、「スマートフォンや機械の操作を教えてくれる」も3割程度と高くなっている。

図表4(15)② うれしいと思うこと、支えになっていること



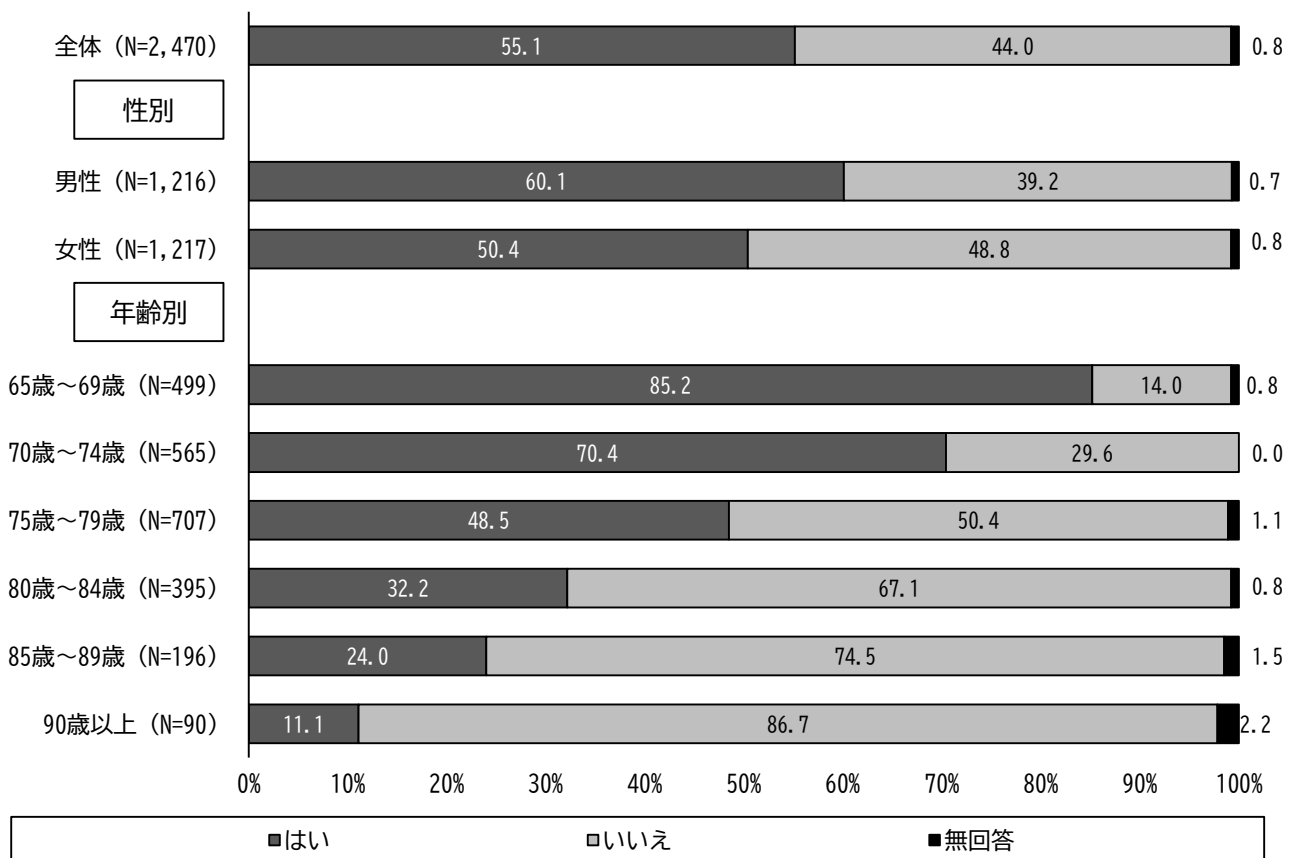
問4（16）インターネットを活用していますか。

インターネットを活用しているかについてみると、「はい」が55.1%、「いいえ」が44.0%となっている。

男女別にみると、男性は「はい」が60.1%と、女性（50.4%）に比べて高くなっている。

年齢別にみると、年齢とともに「はい」の割合が低くなっている。

図表4(16)インターネットを活用しているか



問4（16）で「はい」と回答された方のみ回答

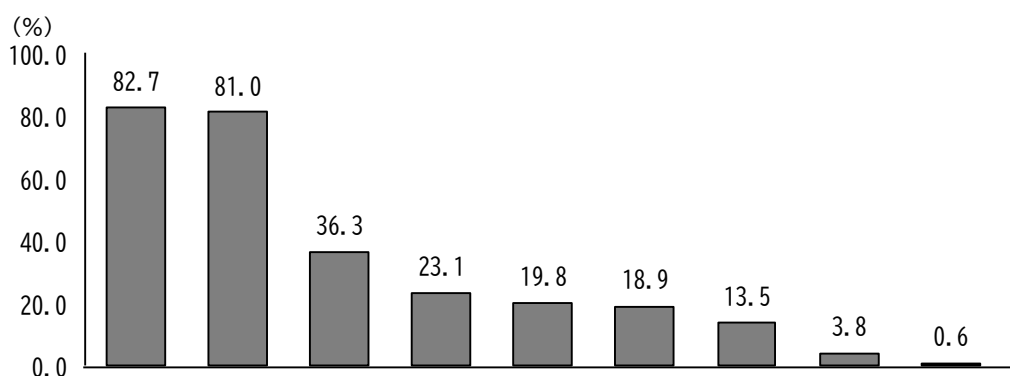
問4（16）①どのようなことに活用していますか。（いくつでも）

どのようなことに活用しているかについてみると、「メール」が82.7%と最も高く、次いで「情報収集」（81.0%）、「ネットショッピング」（36.3%）の順となっている。

男女別にみると、男性は「情報収集」、「ネットショッピング」、「ネットバンキング」などが女性に比べて高く、他方で女性は「メール」が男性より高い。

年齢別にみても、すべての年代で上位3項目は全体と変わらない。

図表4(16)① どのようなことに活用しているか



		メール	情報収集	ネットショッピング	オンライン予約	富山市公式LINE	SNS(X、Instagram、TikTok など)	ネットバンキング	その他	無回答
	全体 (N=1,362)	82.7	81.0	36.3	23.1	19.8	18.9	13.5	3.8	0.6
性別	男性 (N=731)	78.0	82.8	40.4	25.9	18.5	19.4	17.6	3.1	0.8
	女性 (N=613)	88.6	78.8	31.5	20.1	21.7	18.6	9.0	4.4	0.2
年齢別	65歳～69歳 (N=425)	87.8	88.5	47.8	33.9	22.4	24.9	20.9	4.9	0.7
	70歳～74歳 (N=398)	83.4	84.4	37.2	23.1	23.1	17.6	15.1	2.8	0.8
	75歳～79歳 (N=343)	80.8	75.5	31.5	18.4	16.3	18.1	7.3	2.9	0.3
	80歳～84歳 (N=127)	74.0	71.7	17.3	6.3	15.7	8.7	4.7	4.7	0.0
	85歳～89歳 (N=47)	72.3	59.6	17.0	8.5	10.6	10.6	6.4	4.3	0.0
	90歳以上 (N=10)	70.0	20.0	20.0	10.0	0.0	10.0	10.0	10.0	10.0

問4（16）で「いいえ」と回答された方のみ回答

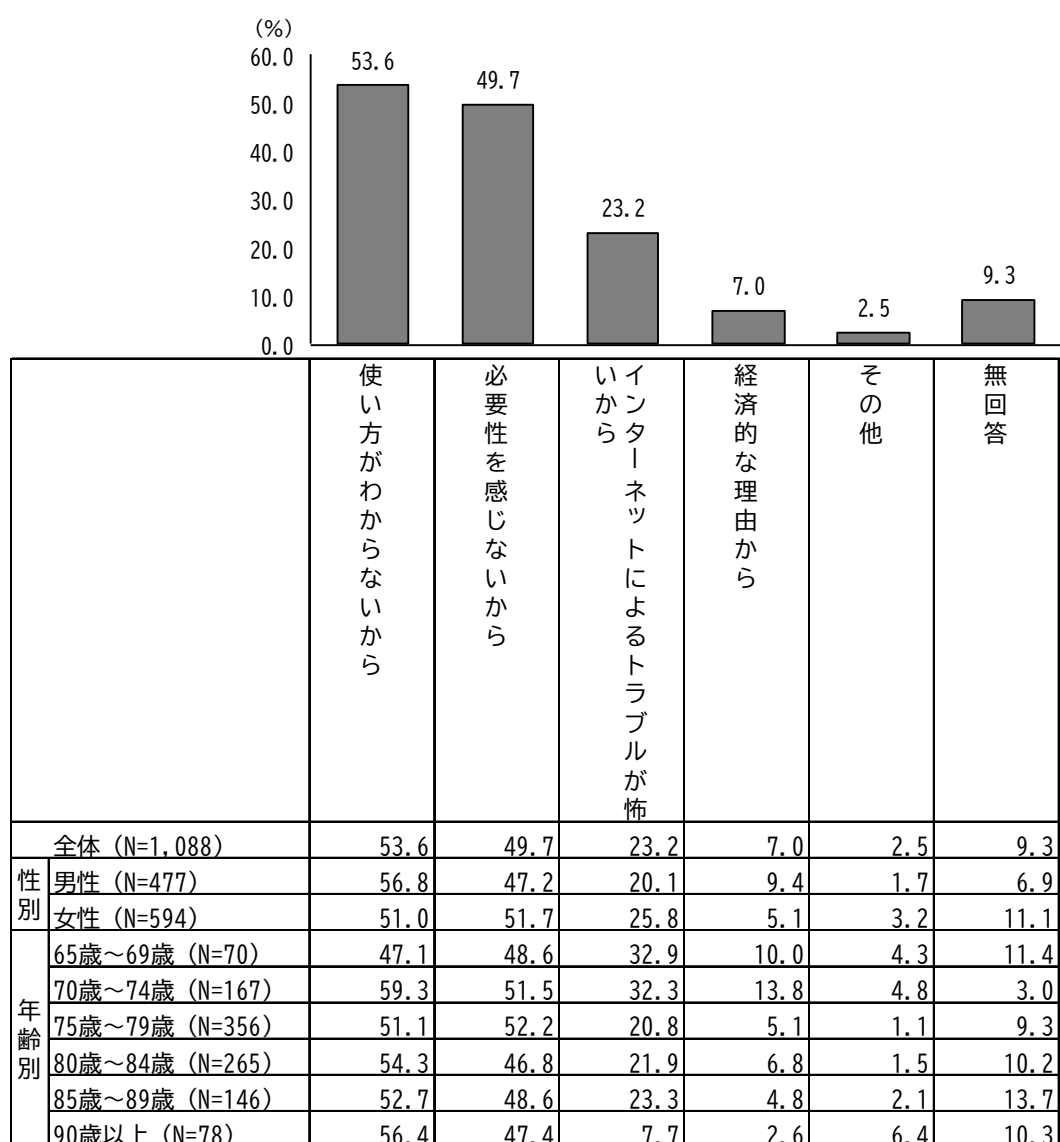
問4（16）②インターネットを利用しない理由は何ですか。（いくつでも）

インターネットを利用しない理由についてみると、「使い方がわからないから」が53.6%と最も高く、次いで「必要性を感じないから」（49.7%）、「インターネットによるトラブルが怖いから」（23.2%）の順となっている。

男女別にみると、男性、女性ともに「使い方がわからないから」が5割以上となった。

年齢別にみると、すべての年代で上位の2項目は全体と同じだが、「インターネットによるトラブルが怖いから」は年齢とともに低くなっている。

図表4(16)② インターネットを利用しない理由



5 地域での活動について

問5 (1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

※①～⑧それぞれに回答してください

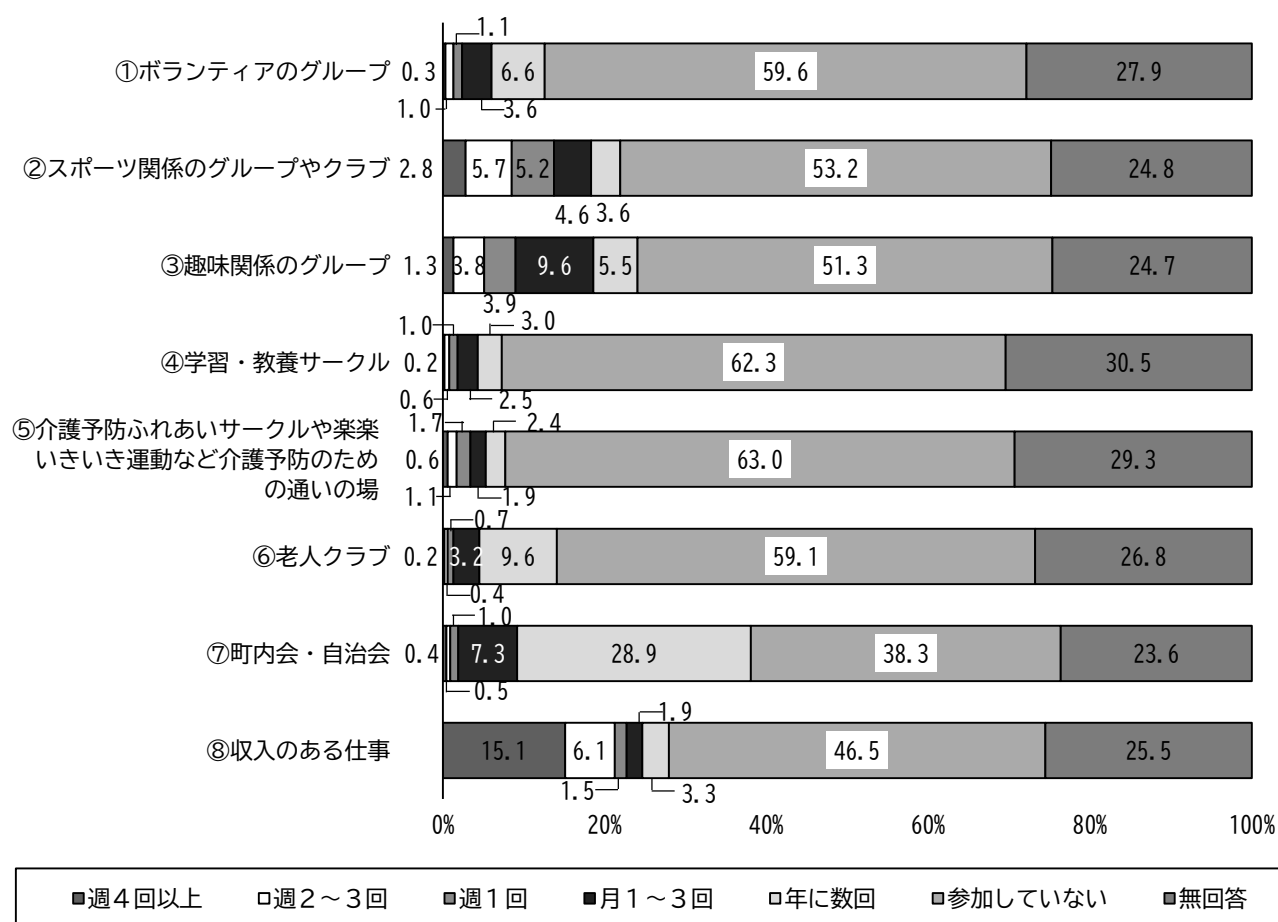
すべての会・グループで「参加していない」が4割弱～6割超で、それぞれ最も高くなっている。

少しでも参加している割合（週4回以上～年に数回までの合算値）でみると、「町内会・自治会」が38.1%と最も高く、「収入のある仕事」（27.9%）、「趣味関係のグループ」（24.1%）の順となっている。

（以下、グループごとに上位の頻度区分を示す）

- ① ボランティアのグループ …………… 「年に数回」（6.6%）、「月1～3回」（3.6%）
- ② スポーツ関係のグループやクラブ … 「週2～3回」（5.7%）、「週1回」（5.2%）
- ③ 趣味関係のグループ …………… 「月1～3回」（9.6%）、「年に数回」（5.5%）
- ④ 学習・教養サークル …………… 「年に数回」（3.0%）、「月1～3回」（2.5%）
- ⑤ 介護予防ふれあいサークルや楽楽いきいき運動など介護予防のための通いの場
…………… 「年に数回」（2.4%）、「月1～3回」（1.9%）
- ⑥ 老人クラブ …………… 「年に数回」（9.6%）、「月1～3回」（3.2%）
- ⑦ 町内会・自治会 …………… 「年に数回」（28.9%）、「月1～3回」（7.3%）
- ⑧ 収入のある仕事 …………… 「週4回以上」（15.1%）、「週2～3回」（6.1%）

図表5(1)会・グループ等の参加頻度(全体 N=2,470)



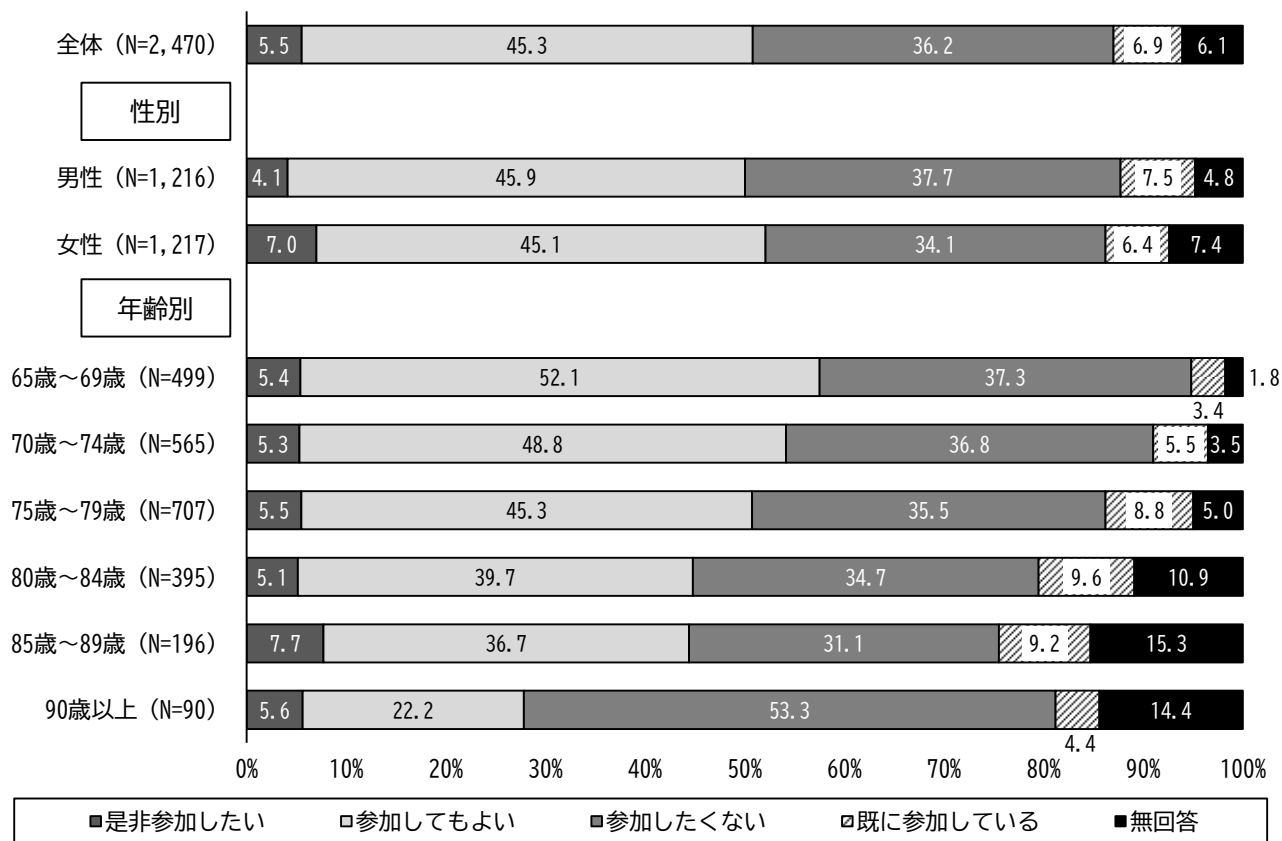
問5（2）地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。

地域住民の有志による、いきいきとした地域づくりへの「参加者として」の参加意欲についてみると、「是非参加したい」が5.5%、「参加してもよい」が45.3%、「参加したくない」が36.2%、「既に参加している」が6.9%となっている。

男女別にみると、女性は「是非参加したい」が7.0%で、男性（4.1%）に比べて高くなっている。

年齢別にみると、「参加意欲（「是非参加したい」＋「参加してもよい」＋「既に参加している」）」は年齢とともに低くなる傾向がみられ、特に「90歳以上」は32.2%と特に低くなっている。

図表5(2)地域づくり活動への参加意欲(参加者として)



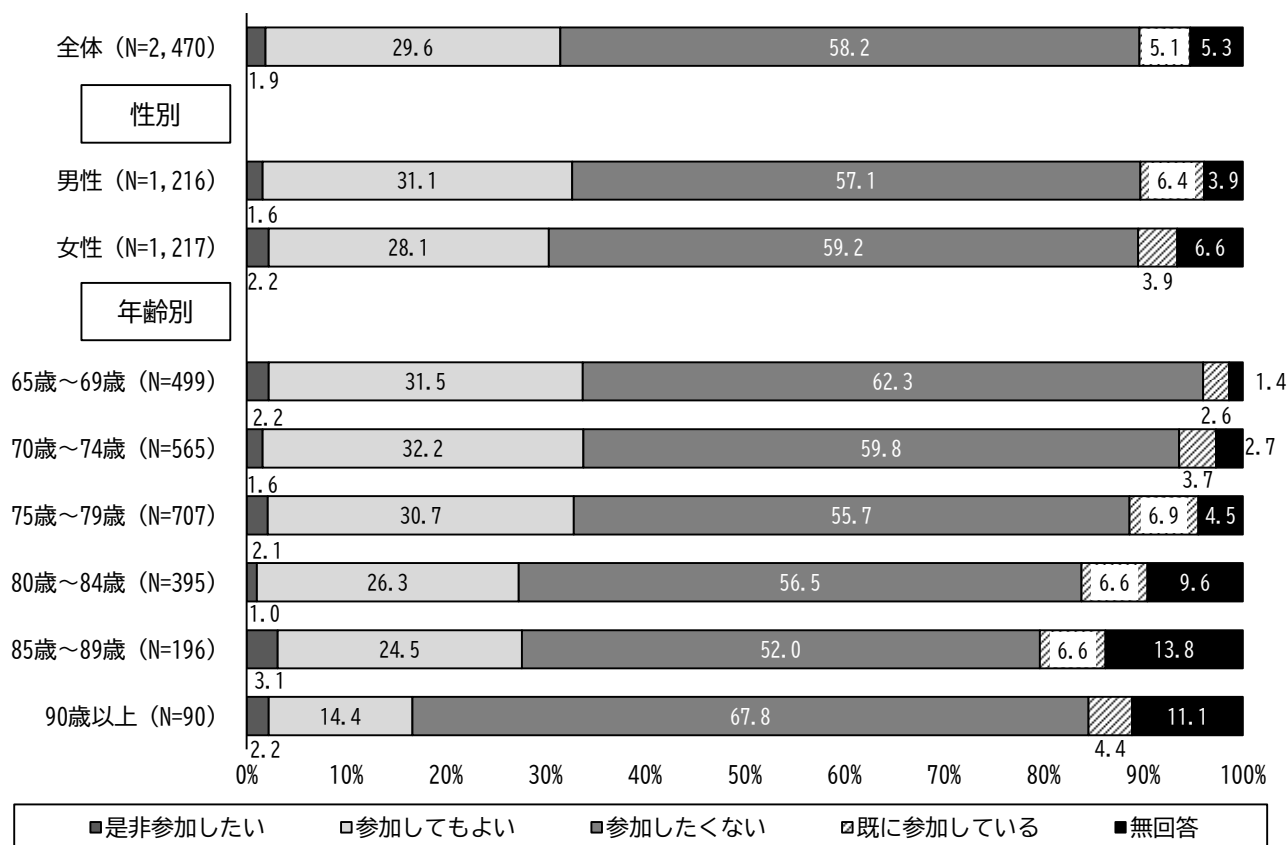
問5（3）地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。

地域住民の有志による、いきいきとした地域づくりへの「企画・運営（お世話役）として」の参加意欲についてみると、「是非参加したい」が1.9%、「参加してもよい」が29.6%、「参加したくない」が58.2%、「既に参加している」が5.1%となっている。

男女別にみると、男性は「参加してもよい」が31.1%で、女性（28.1%）に比べてわずかに高くなっている。

年齢別にみると、「参加意欲（「是非参加したい」＋「参加してもよい」＋「既に参加している」）」は60歳代～80歳代にかけて3割～4割近くあるが、「90歳以上」で21.0%と低い割合になる。

図表5(3)地域づくり活動への参加意欲(企画・運営(お世話役)として)



6 たすけあいについて

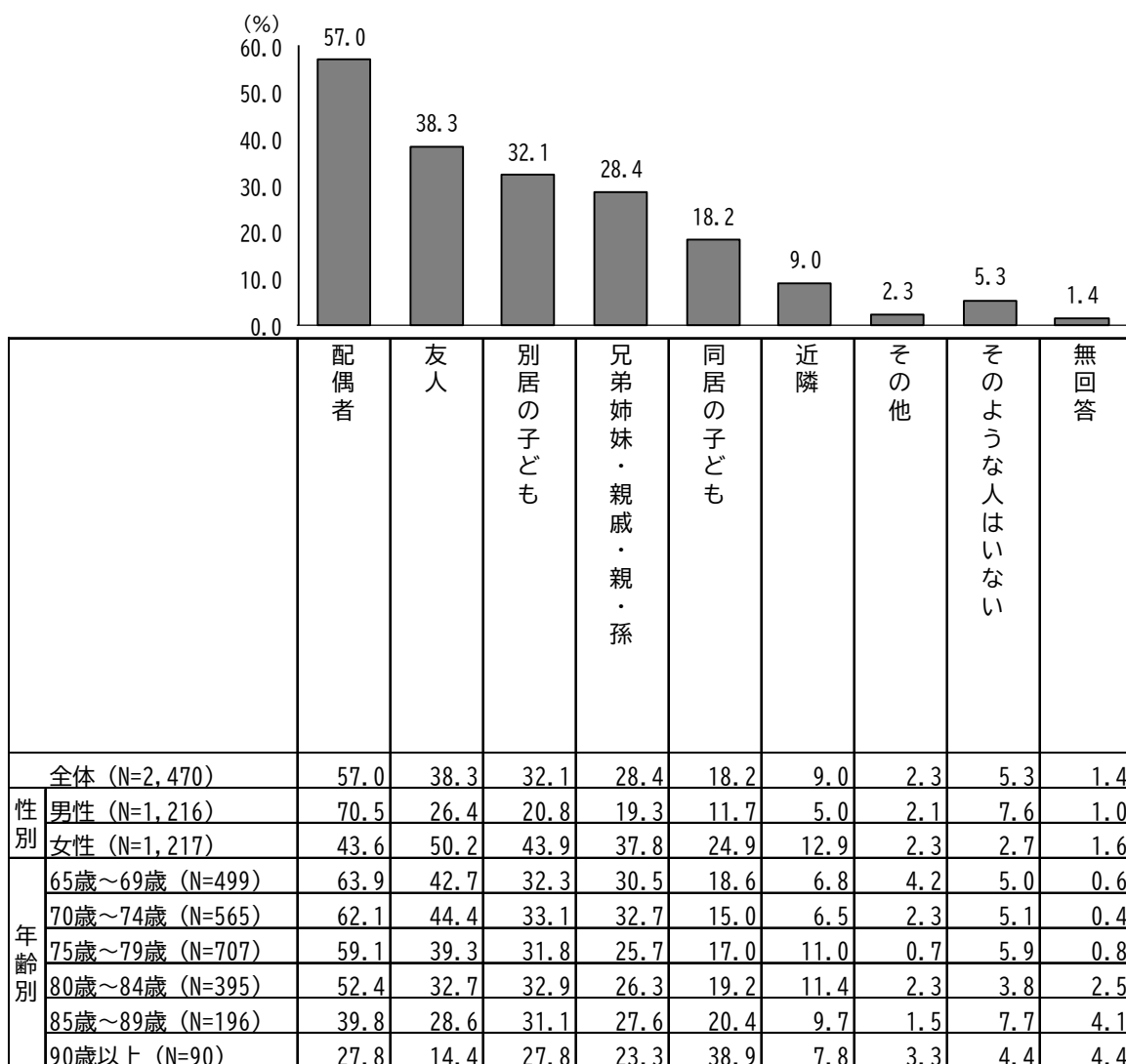
問6（1）あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人はどなたですか。（いくつでも）

心配事や愚痴を聞いてくれる人についてみると、「配偶者」が57.0%と最も高く、次いで「友人」（38.3%）、「別居の子供」（32.1%）の順となっている。また、「そのような人はいない」は5.3%であった。

男女別にみると、男性は「配偶者」が70.5%と際立って高く、「配偶者」に大きく依存している。他方で女性は「友人」が50.2%と最も高くなっているほか、「別居の子ども」（43.9%）、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」（37.8%）など多くの項目で男性よりかなり高くなっており、「配偶者」以外にも話せる相手が多いことがわかる。

年齢別にみると、年齢とともに「配偶者」や「友人」の割合が低くなっていく傾向がみられる。また、「同居の子ども」は年齢とともに割合が高くなる傾向がみられ、90歳以上は38.9%と特に高い。

図表6(1)心配事や愚痴を聞いてくれる人



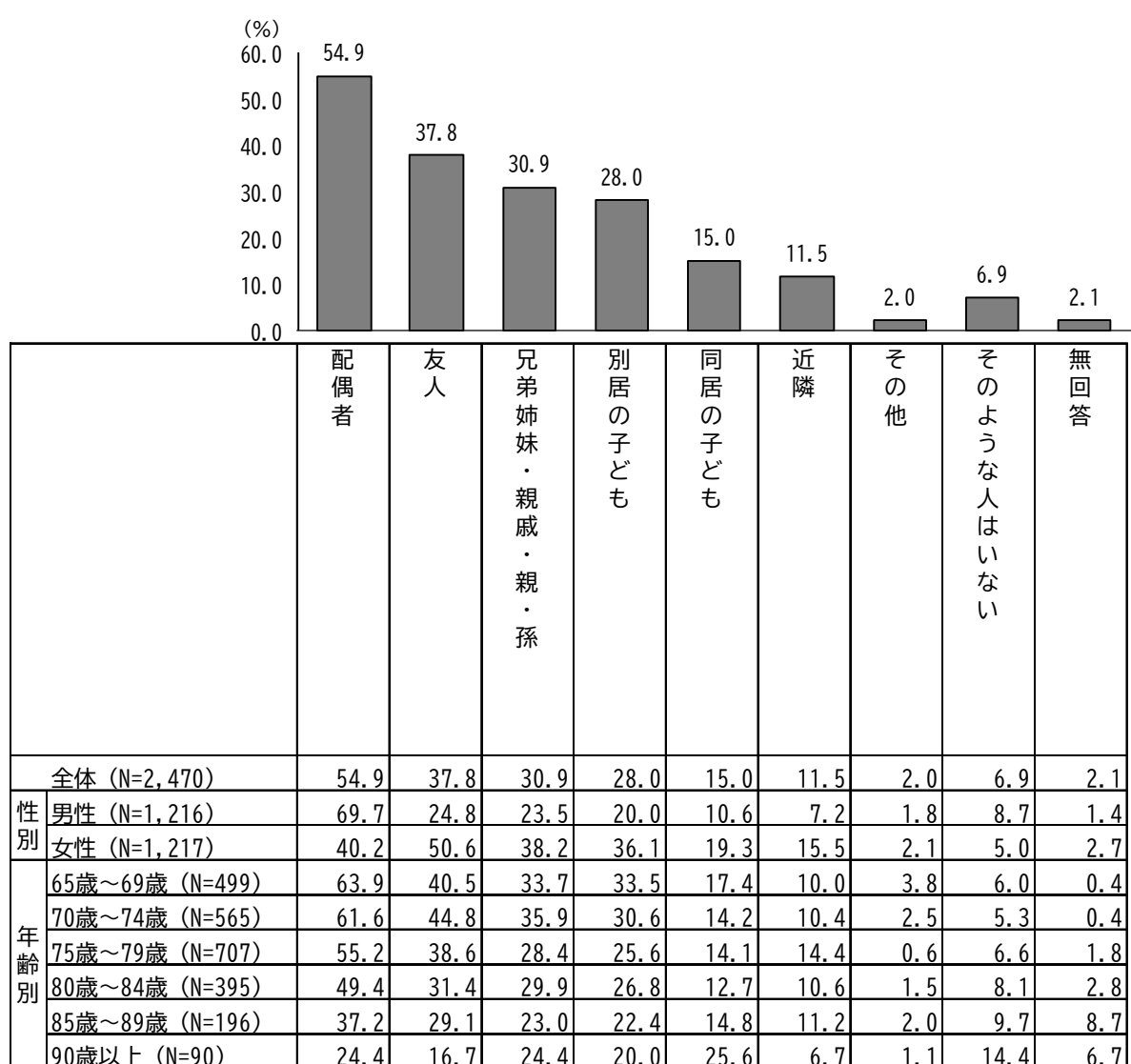
問6（2）反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人はどなたですか。（いくつでも）

心配事や愚痴を聞いてあげる人をみると、「配偶者」が54.9%と最も高く、次いで「友人」（37.8%）、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」（30.9%）の順となっている。

男女別にみると、前項の「愚痴を聞いてくれる人」と同様に、男性は「配偶者」に69.7%と集中。女性は「友人」が50.6%と最も高くなっているほか、多くの項目で男性よりかなり高くなっており、「配偶者」以外に交流相手が多い。

年齢別にみると、年齢とともに「配偶者」や「友人」の割合が低くなっていくとともに、「そのような人はいない」も80歳を過ぎると特に高くなる。

図表6(2)心配事や愚痴を聞いてあげる人



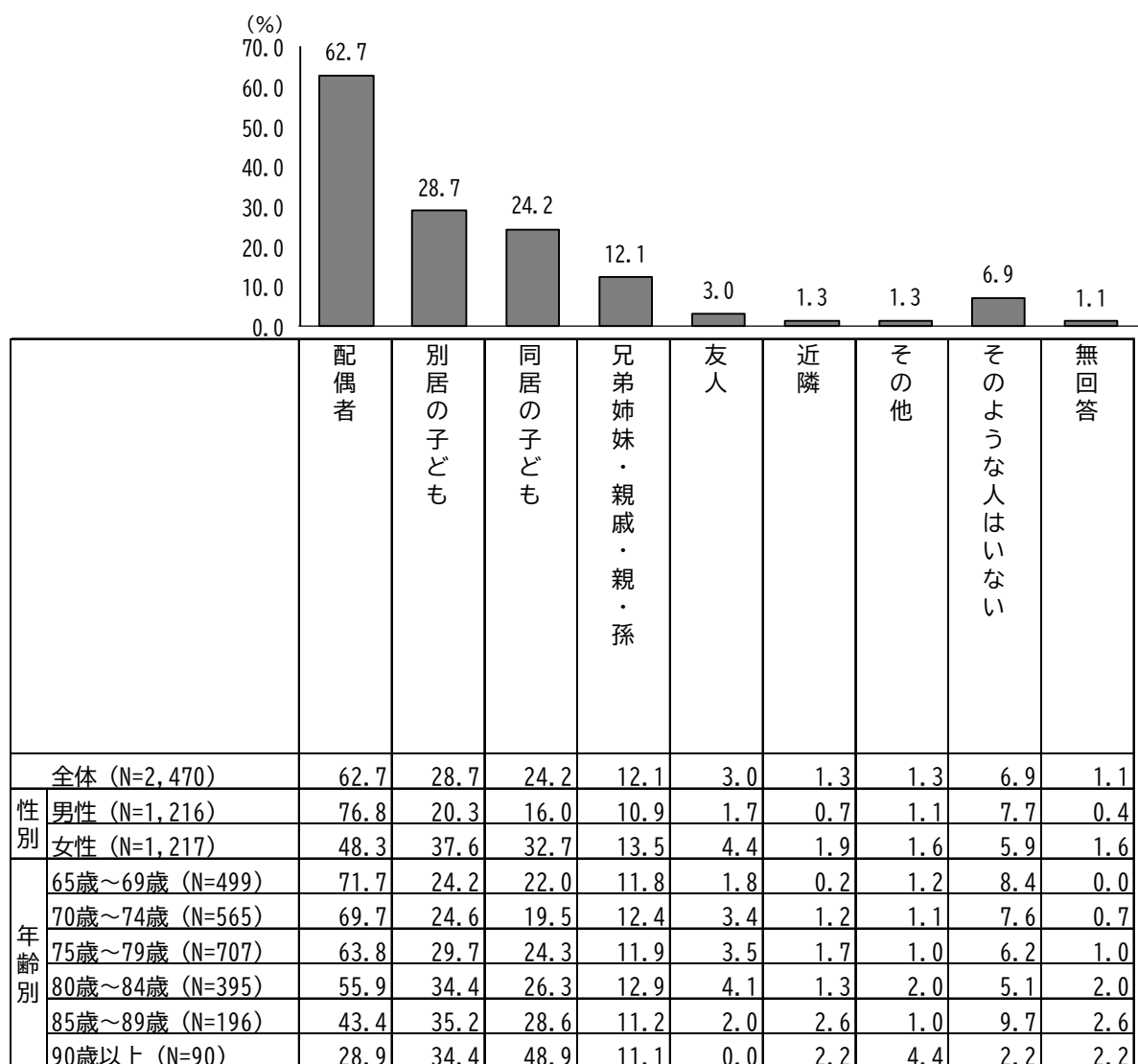
問6（3）あなたが病気で数日寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はどなたですか。
（いくつでも）

病気のときに看病や世話をしてくれる人についてみると、「配偶者」が62.7%と最も高く、次いで「別居の子ども」（28.7%）、「同居の子ども」（24.2%）の順となっている。また、前項の愚痴などの話し相手とは異なり、「友人」は3.0%とかなり低い。

男女別にみると、男性は「配偶者」に76.8%と集中。他方で女性も「配偶者」が最も高くなっているが、男性に比べるとかなり低く48.3%にすぎない。その一方で「別居の子ども」（37.6%）や「同居の子ども」（32.7%）を頼る割合が男性よりかなり高くなっている。

年齢別にみると、年齢とともに「配偶者」の割合は低くなり、逆に「子ども」に頼る割合が高くなっていく。

図表6(3)病気のときに看病や世話をしてくれる人



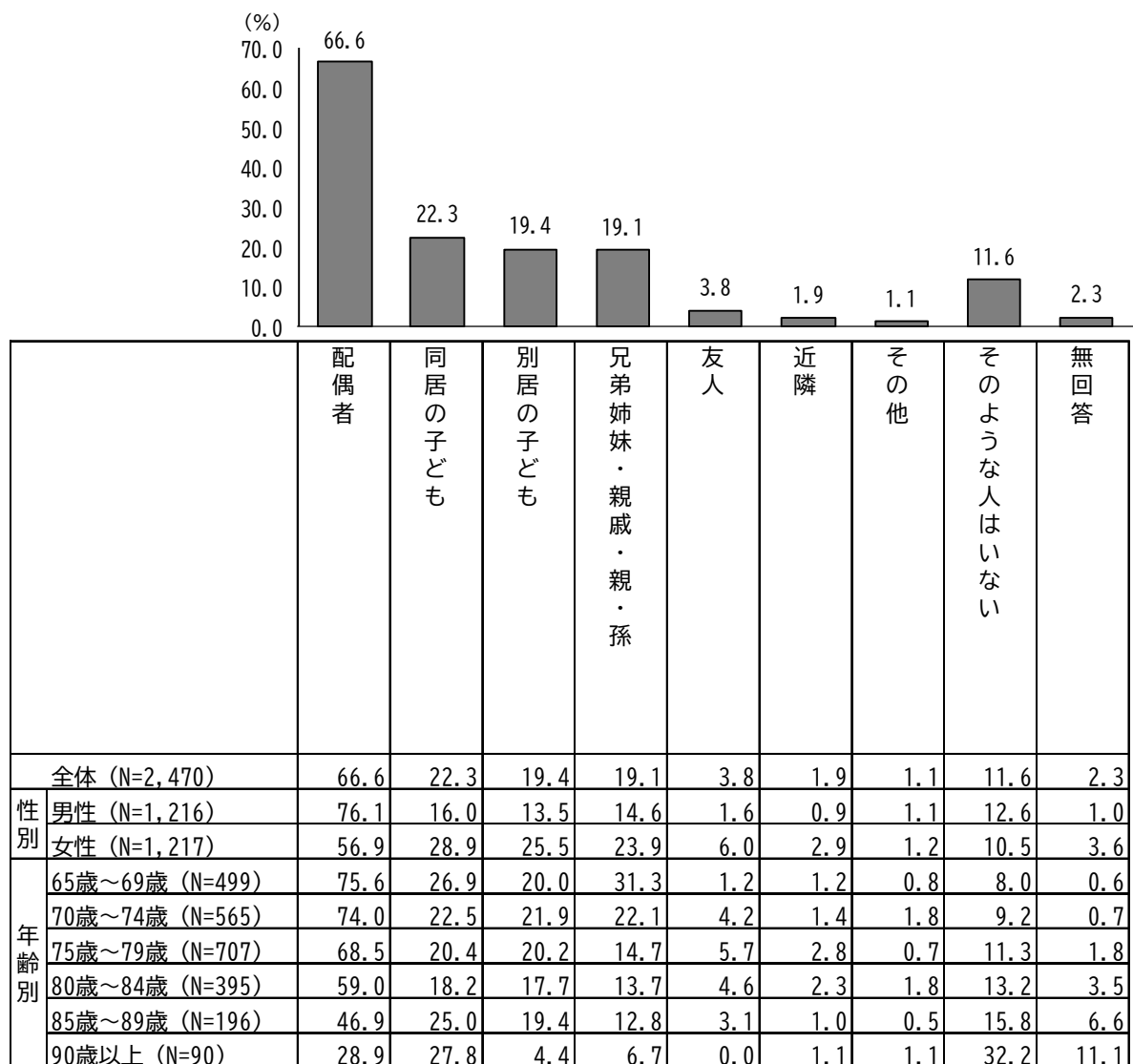
問6（4）反対に、あなたが看病や世話をしあける人はどなたですか。（いくつでも）

看病や世話をしあける人についてみると、「配偶者」が66.6%と最も高く、次いで「同居の子ども」（22.3%）、「別居の子ども」（19.4%）の順となっている。

男女別にみると、男性は「配偶者」が76.1%と集中。他方で女性は「配偶者」は56.9%とかなり低く、「同居の子ども」（28.9%）、「別居の子ども」（25.5%）、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」（23.9%）など世話をする相手が男性よりかなり幅広い。

年齢別にみると、年齢とともに「そのような人はいない」割合は高くなっている。

図表6(4)看病や世話をしあける人



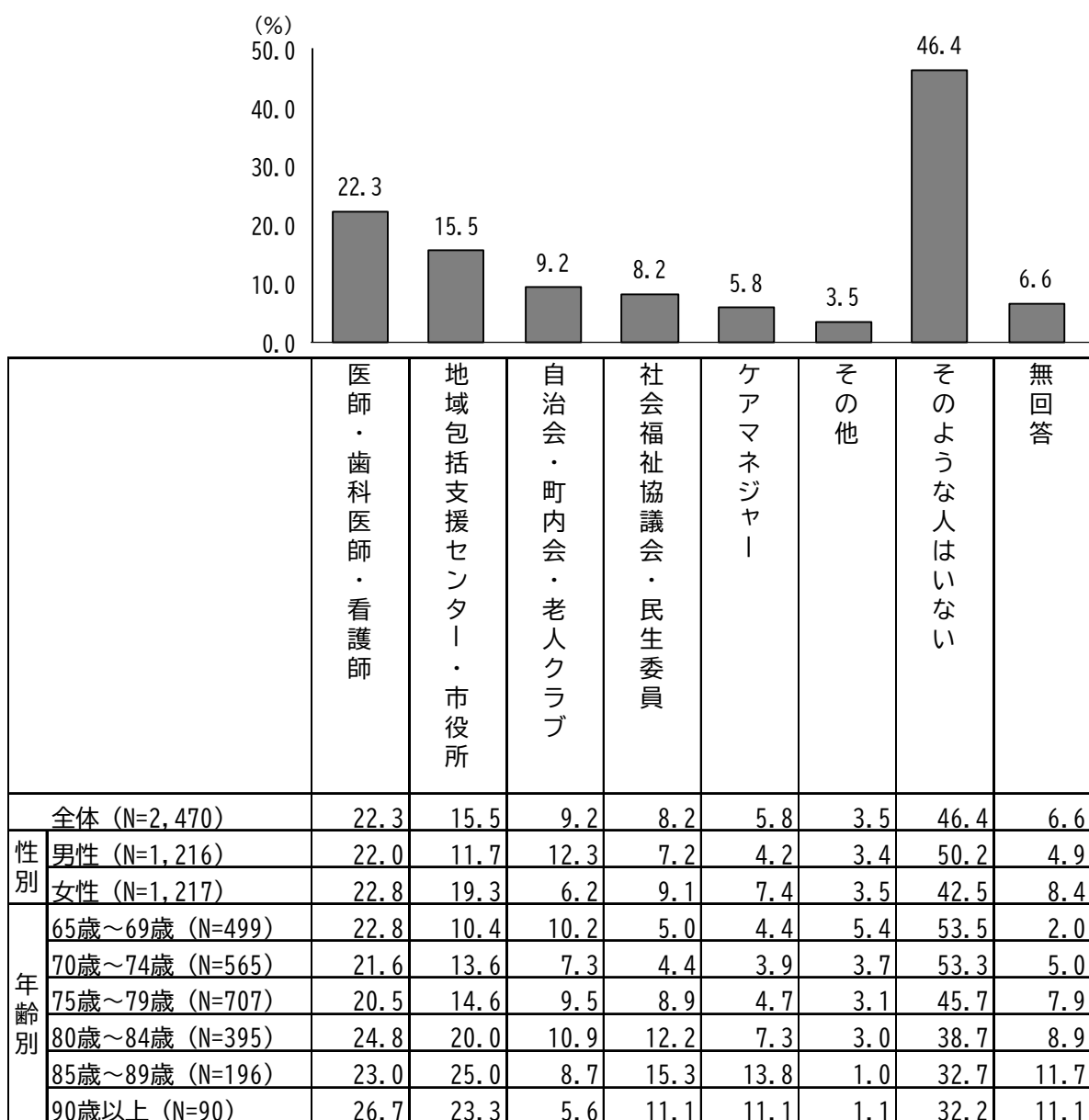
問6（5）家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。（いくつでも）

家族や友人・知人以外で相談する相手についてみると、「そのような人はいない」が46.4%と最も高く、半数近くが「いない」という結果となった。次いで多いのは「医師・歯科医師・看護師」（22.3%）で、「地域包括支援センター・市役所」（15.5%）、「自治会・町内会・老人クラブ」（9.2%）の順となっている。

男女別にみると、男性は「自治会・町内会・老人クラブ」で女性より倍近く高くなっている。他方で女性は「地域包括支援センター・市役所」、「ケアマネジャー」などで特に男性より高く、「そのような人はいない」割合は男性より低い。

年齢別にみると、「地域包括支援センター・市役所」、「社会福祉協議会・民生委員」、「ケアマネジャー」などで、年齢とともに高くなる傾向が顕著にみられる。

図表6(5)相談相手(家族・友人・知人以外)



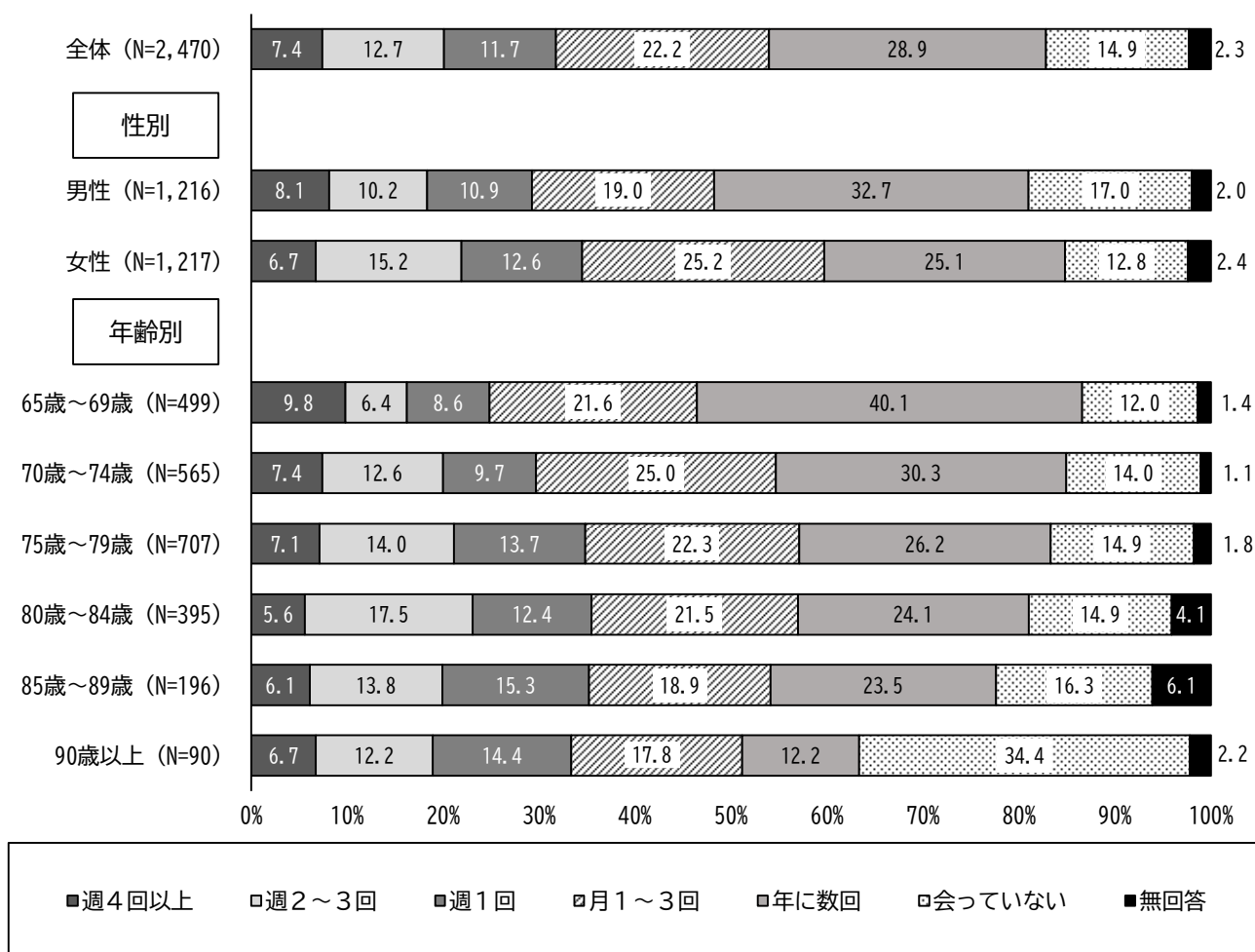
問6（6）友人・知人と会う頻度はどのくらいですか。

友人・知人に会う頻度についてみると、「年に数回」が28.9%と最も高く、次いで「月1～3回」(22.2%)、「週2～3回」(12.7%)の順となっている。また、「会っていない」は14.9%である。

男女別にみると、男性は「会っていない」が17.0%と女性(12.8%)に比べ高く、「年に数回」が32.7%と頻度は女性よりも低い。ただ、「週4回以上」会っている人も8.1%と多く、行動様式は二分している。他方で、女性は「週4回以上」(6.7%)こそ男性よりも低いものの、「週2～3回」が15.2%、「週1回以上」が12.6%など、男性よりも頻度は高い。

年齢別にみると、「会っていない」割合は年齢とともに高くなる傾向がみられ、「90歳以上」になると3割強に達する。

図表6(6)友人・知人に会う頻度



7 健康について

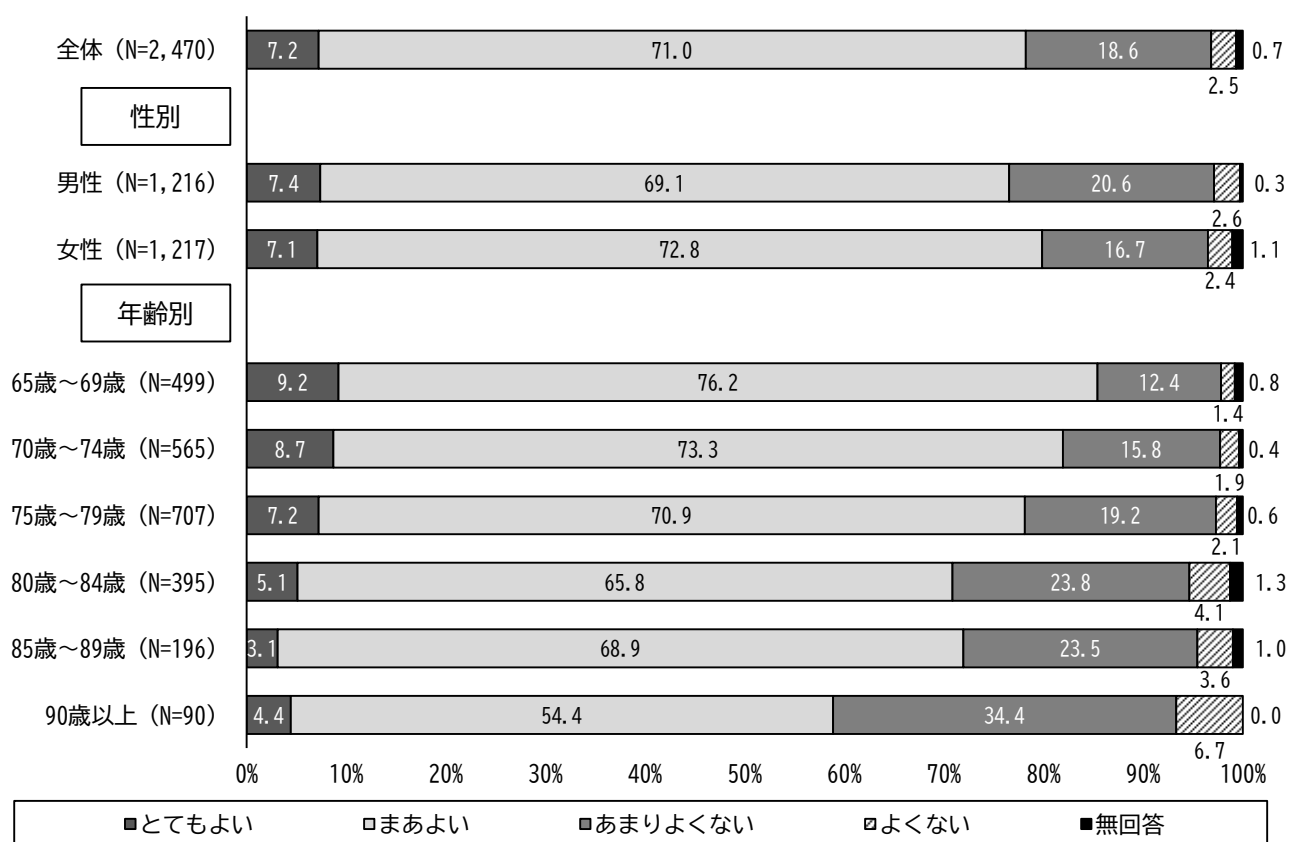
問7（1）現在のあなたの健康状態はいかがですか。

現在の健康状態についてみると、「とてもよい」が7.2%、「まあよい」が71.0%、「あまりよくない」が18.6%、「よくない」が2.5%となっている。

男女別にみると、女性の方が「よい」割合（「とてもよい」＋「まあよい」）が79.9%と、男性（76.5%）に比べ高い。

年齢別にみると、年齢とともに「よい」割合（「とてもよい」＋「まあよい」）は低くなる傾向がみられるものの、総じて健康状態はよく、80歳を超えても6～7割程度の人は「よい」状態を維持している。

図表7(1)現在の健康状態



問7（2）あなたは現在どの程度幸せですか。

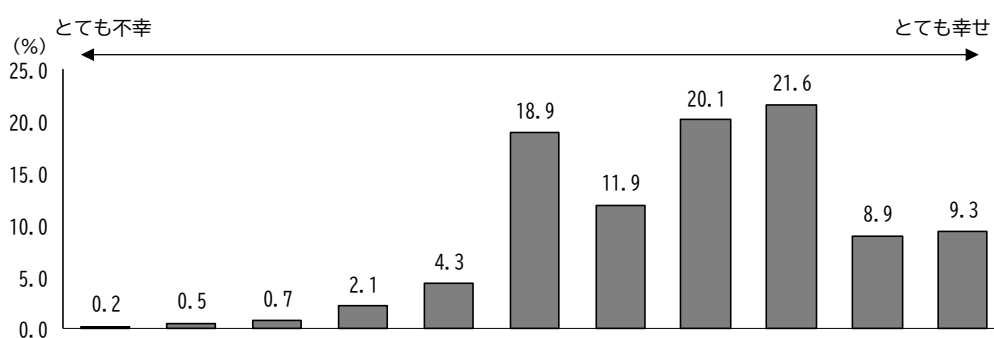
（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として点数に○をつけてください）。

現在の幸福度についてみると、「8点」が21.6%と最も高く、次いで「7点」(20.1%)、「5点」(18.9%)の順となっており、平均点は6.9点となっている。

男女別にみると、男性は「7点」が20.2%（平均点6.7点）、女性は「8点」が23.7%（平均点7.1点）とそれぞれ最も高くなっており、女性の方が幸せ度は高い。

年齢別にみると、80歳以上になると「10点（とても幸せ）」の割合が他の年代と比べて高くなる。

図表7(2)現在の幸福度



		0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	平均点
全体 (N=2,470)		0.2	0.5	0.7	2.1	4.3	18.9	11.9	20.1	21.6	8.9	9.3	6.9
性別	男性 (N=1,216)	0.2	0.8	0.8	2.8	4.9	20.1	12.7	20.2	19.7	8.1	8.5	6.7
	女性 (N=1,217)	0.1	0.2	0.6	1.4	3.8	17.5	11.1	19.9	23.7	9.8	10.3	7.1
年齢別	65歳～69歳 (N=499)	0.2	0.4	0.4	3.4	4.0	15.8	12.8	21.8	21.8	9.0	9.6	6.9
	70歳～74歳 (N=565)	0.4	0.4	0.9	1.4	4.1	17.0	11.9	22.5	25.1	7.4	7.8	6.9
	75歳～79歳 (N=707)	0.0	0.3	0.7	2.1	4.8	21.1	11.0	19.8	22.1	9.9	6.9	6.8
	80歳～84歳 (N=395)	0.0	1.0	1.0	2.3	4.3	19.7	13.7	16.2	19.0	8.4	11.9	6.8
	85歳～89歳 (N=196)	0.5	1.5	0.5	1.0	2.6	22.4	9.7	19.9	15.8	9.7	13.8	6.9
	90歳以上 (N=90)	1.1	0.0	0.0	0.0	8.9	18.9	8.9	13.3	20.0	10.0	15.6	7.1

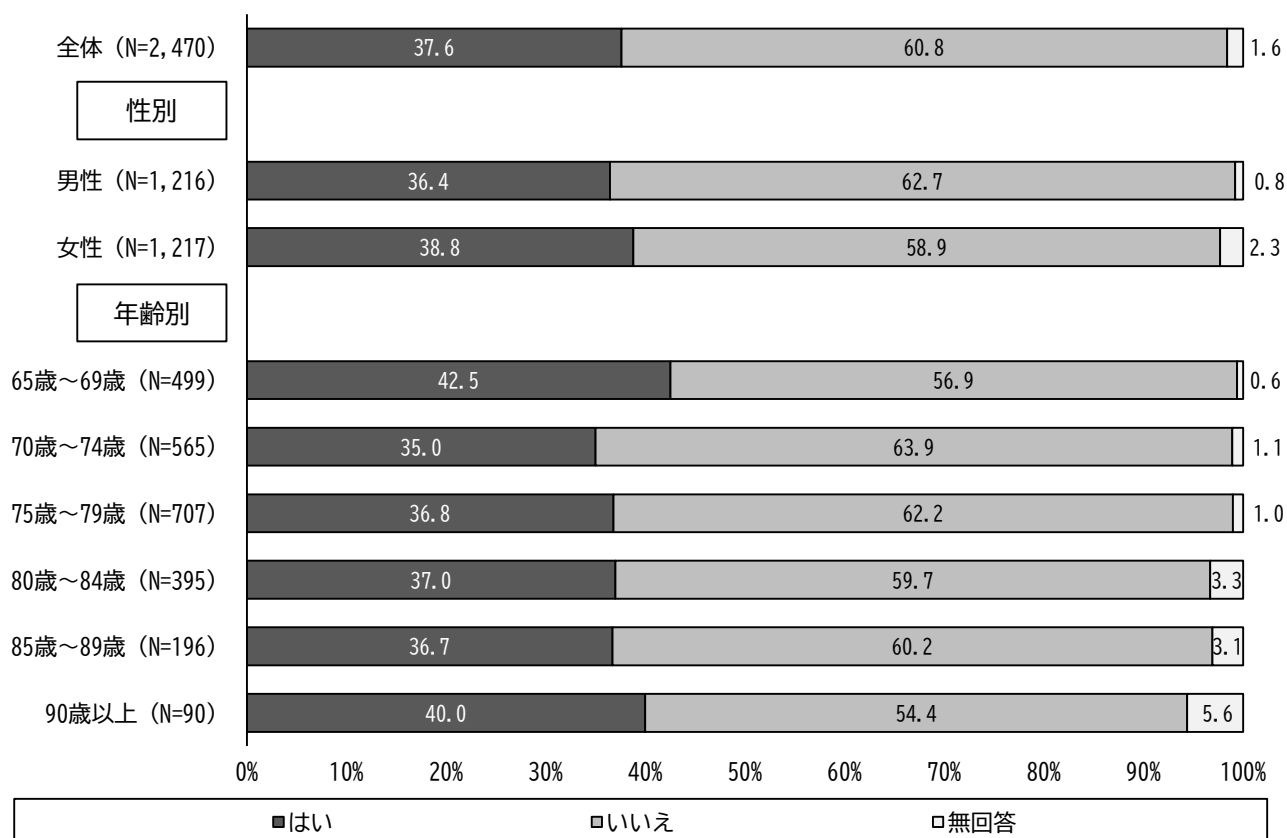
問7（3）この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。

最近1か月の間に気分が沈んだり、ゆううつになったりすることがあったかについてみると、「はい（ある）」が37.6%、「いいえ（ない）」が60.8%となっている。

男女別にみると、女性は「はい（ある）」が38.8%と、男性（36.4%）に比べて高くなっている。

年齢別にみると、「はい（ある）」の割合は「65歳～69歳」で42.5%と特に高くなっており、70歳代で低くなるものの、以降は再び年齢とともに高くなり、「90歳以上」で40.0%となっている。

図表7(3)気分が沈んだり、ゆううつになったりすることの有無(最近1か月)



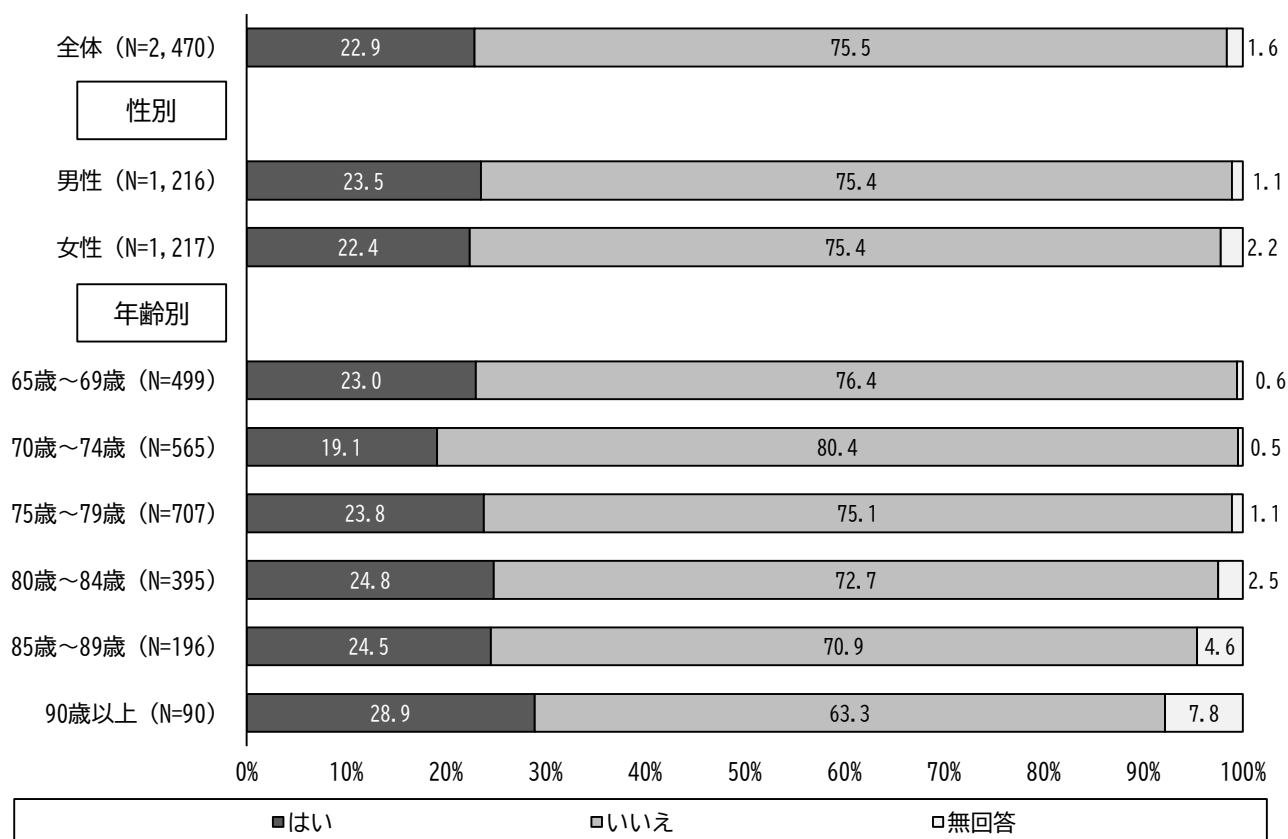
問7（4）この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがありましたか。

最近1か月の間にどうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがあったかについてみると、「はい（ある）」が22.9%、「いいえ（ない）」が75.5%となっている。

男女別にみると、男性は「はい（ある）」が23.5%と、女性（22.4%）に比べて高くなっている。

年齢別にみると、「はい（ある）」の割合は「65歳～69歳」で23.0%であり、70歳代で低くなるものの、以降は再び年齢とともに高くなり、「90歳以上」では28.9%と最も高くなっている。

図表7(4)物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じの有無(最近1か月)



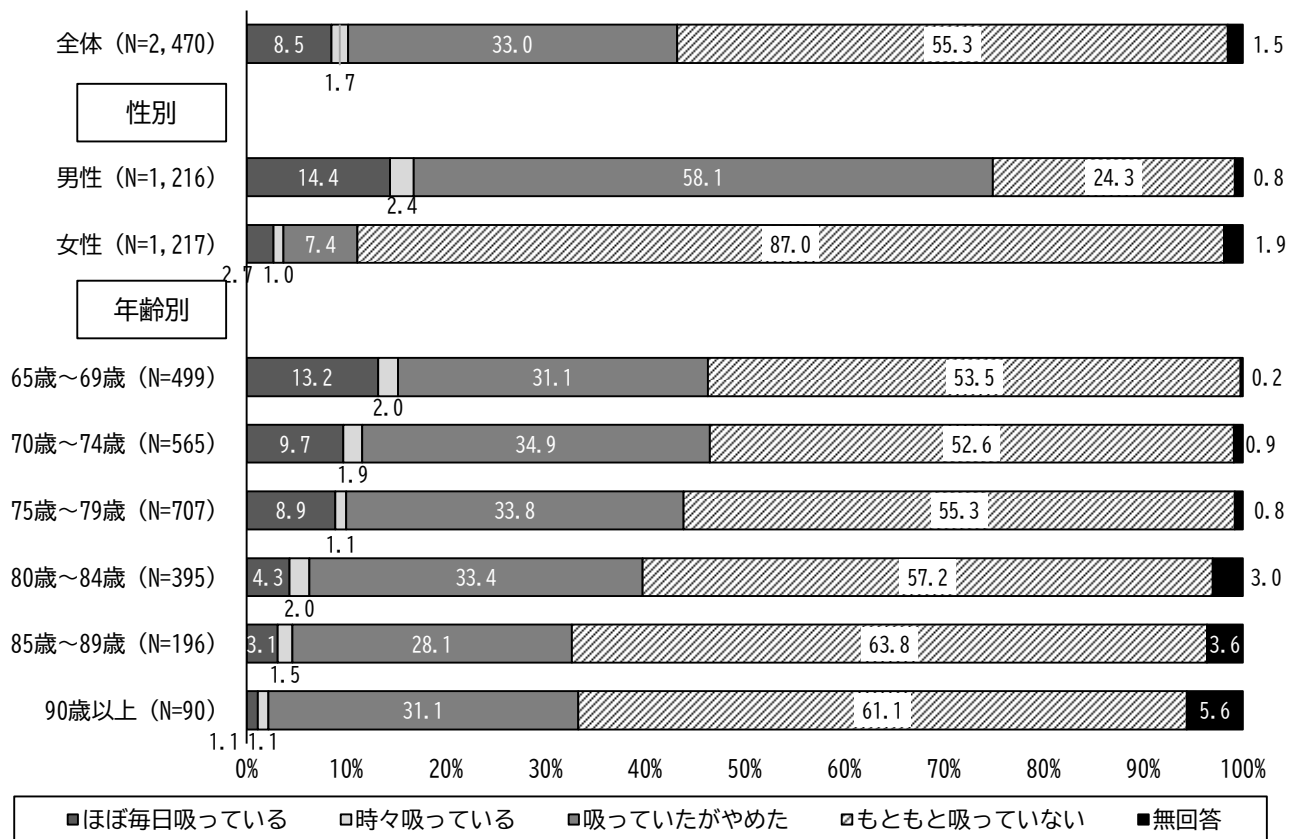
問7（5）タバコは吸っていますか。

喫煙歴についてみると、「ほぼ毎日吸っている」が8.5%、「時々吸っている」が1.7%「吸っていたがやめた」が33.0%、「もともと吸っていない」が55.3%となっている。

男女別にみると、「もともと吸っていない」は男性が24.3%に対し、女性は87.0%となっている。また、男性は58.1%が「吸っていたがやめた」としているが、まだ14.4%が「ほぼ毎日吸っている」。

年齢別にみると、年齢とともに喫煙率（「ほぼ毎日吸っている」＋「時々吸っている」）は低くなる。

図表7(5)喫煙歴



問7（6）現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。（いくつでも）

現在治療中、または後遺症のある病気の有無についてみると、「高血圧」が45.4%と最も高く、次いで「目の病気」（18.5%）、「高脂血症（脂質異常）」（16.1%）、「糖尿病」（15.6%）の順となっている。

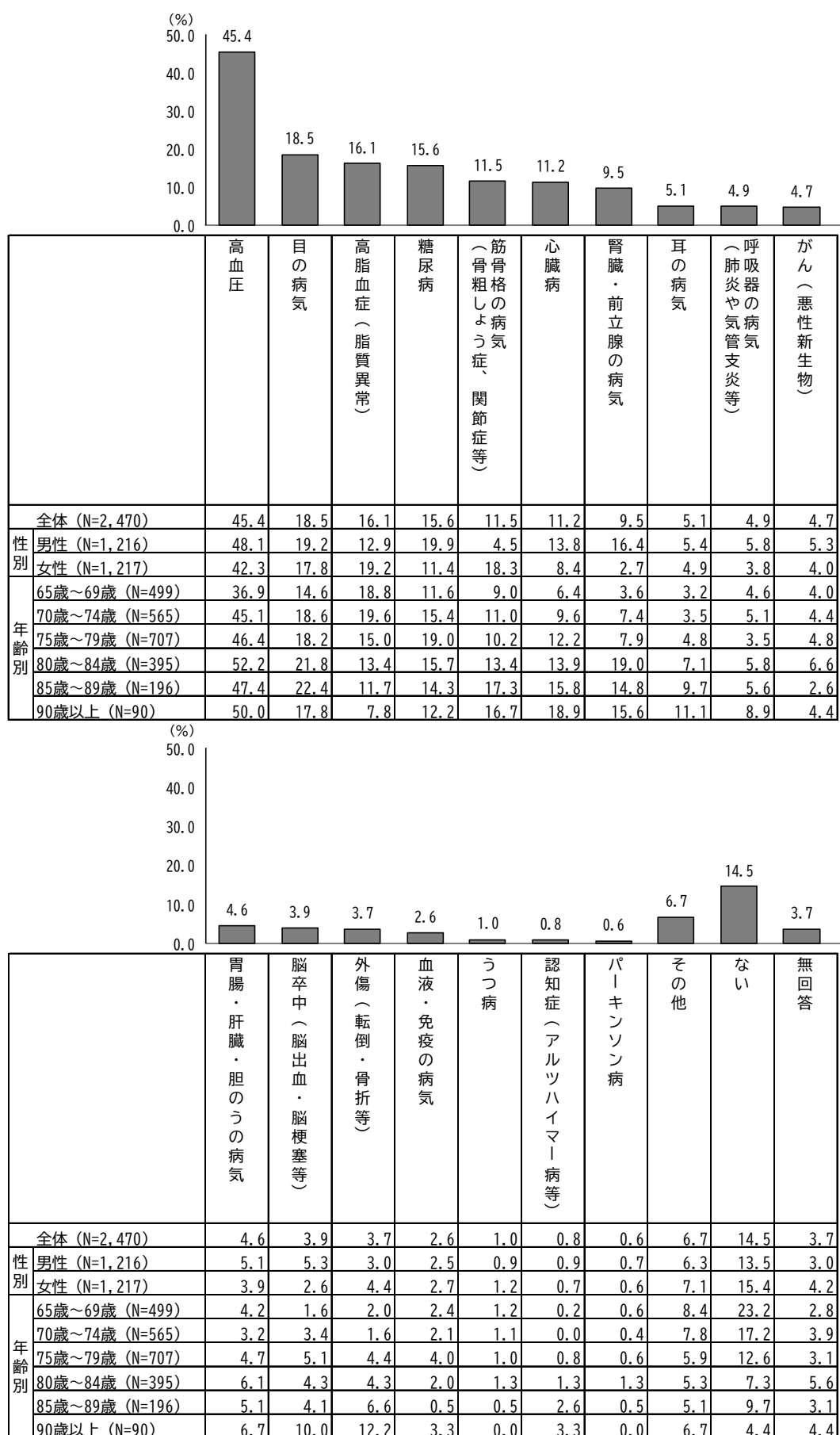
男女別にみると、男性は「糖尿病」をはじめ「腎臓・前立腺の病気」、「高血圧」、「心臓病」、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」など多くの病気で女性に比べて高くなっている。他方で女性は「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」、「高脂血症（脂質異常）」などで男性より高くなっている。

年代別にみると、すべての年代で「高血圧」が最も高くなっている。また、多くの病気は年齢とともに割合が高くなっていくが、なかでも「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」や「心臓病」や「耳の病気」はその傾向が顕著である。他方で「糖尿病」や「高脂血症（脂質異常）」は、逆に年齢とともに低くなる傾向がみられる。

一方で、現在治療中または後遺症のある病気が「ない」とする割合は、全体で14.5%となっている。

男性（13.5%）より女性（15.4%）の方がやや多く、年齢とともに低くなる傾向がみられる。

図表7(6)現在治療中、または後遺症のある病気の有無



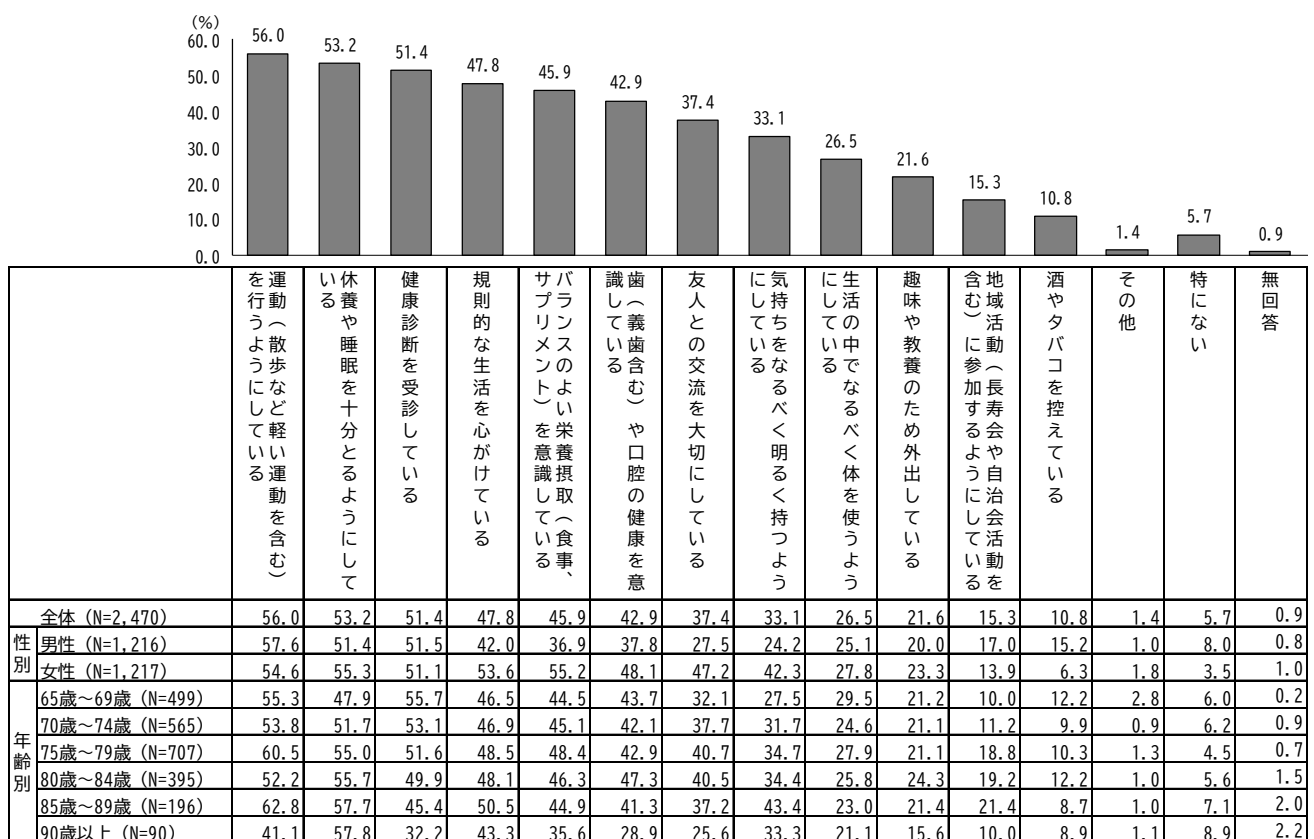
問7（7）健康づくりや介護予防のためにどのようなことをしていますか。（いくつでも）

健康づくりや介護予防のための取り組みについてみると、「運動（散歩など軽い運動を含む）を行うようにしている」が56.0%と最も高く、次いで「休養や睡眠を十分とるようにしている」（53.2%）、「健康診断を受診している」（51.4%）、「規則的な生活を心がけている」（47.8%）の順となっている。

男女別にみると、男性は「酒やたばこを控えている」、「運動（散歩など軽い運動を含む）を行うようにしている」などで女性に比べて高い。他方で女性は、「友人との交流を大切にしている」、「気持ちをなるべく明るく持つようにしている」、「規則的な生活を心がけている」、「バランスのよい栄養摂取（食事、サプリメント）を意識している」など多くの項目で男性に比べ相当高く、女性がより活発に取り組んでいることが伺える。

年齢別にみると、80歳代までは全体と同様に「運動（散歩など軽い運動を含む）」が最も高くなっているが、90歳以上の年代は「休養や睡眠を十分とるようにしている」が最も高くなる。また、90歳以上では「特にない」が8.9%と他の年代に比べて際立って高い。

図表7(7)健康づくりや介護予防のための取り組み



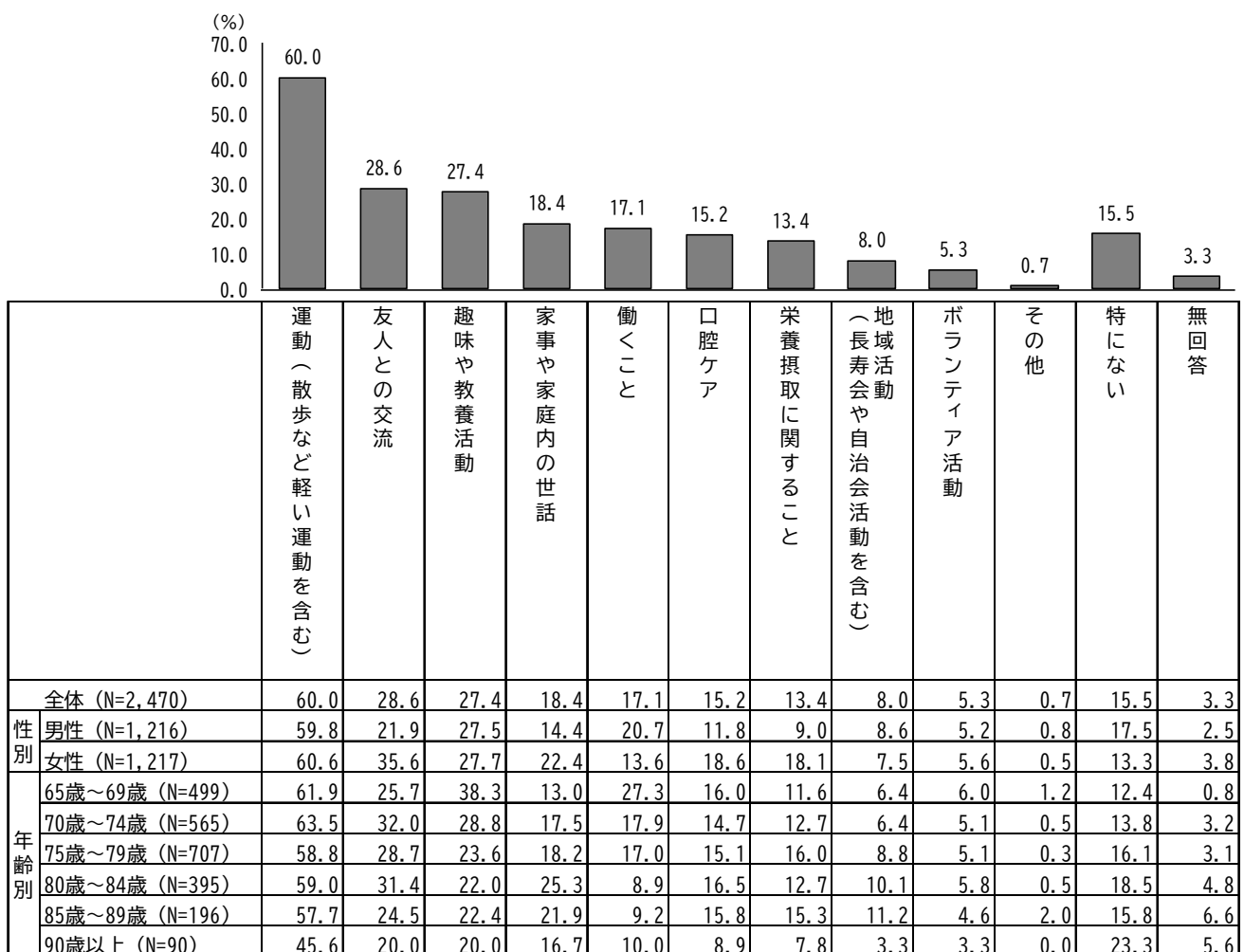
問7（8）健康づくりや介護予防のために今後やってみたいことは何ですか。（いくつでも）

健康づくりや介護予防のために今後やってみたいことについてみると、「運動（散歩など軽い運動を含む）」が60.0%と最も高く、次いで「友人との交流」（28.6%）、「趣味や教養活動」（27.4%）の順となっている。

男女別にみると、男性は「働くこと」、「地域活動（長寿会や自治会活動を含む）」が女性に比べて高い。他方で女性は「友人との交流」、「家事や家庭内の世話」、「栄養摂取に関すること」が男性に比べて相当高くなっている。

年齢別にみると、すべての年代で全体と同様に「運動（散歩など軽い運動を含む）」が最も高くなっている。また、「90歳以上」では「特にない」が23.3%と他の年代に比べて高く、「口腔ケア」、「栄養摂取に関すること」、「地域活動（長寿会や自治会活動を含む）」が他の年代に比べてかなり低くなっている。

図表7(8)健康づくりや介護予防のために今後取り組みたいこと



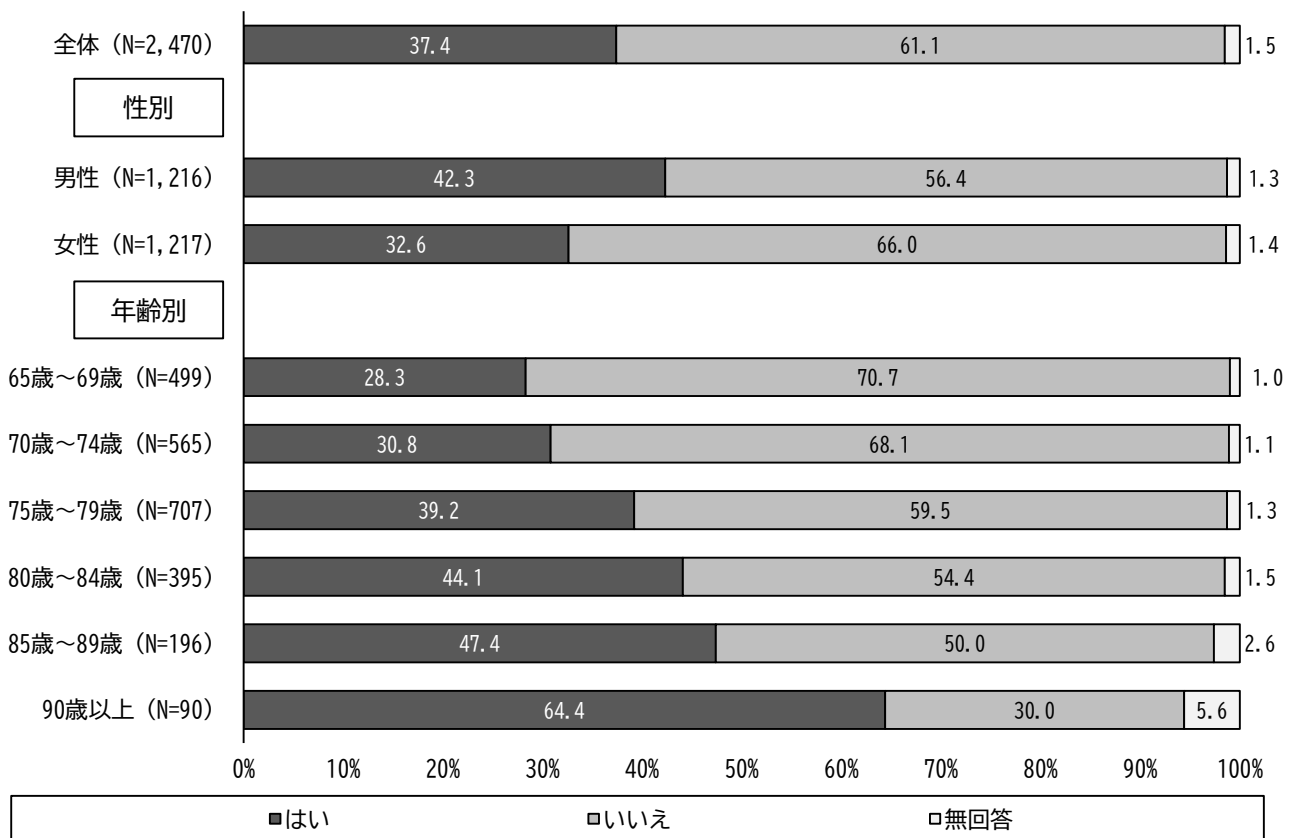
問7（9）話し声や周囲の音が聞こえにくいと感じることはありますか。

話し声や周囲の音が聞こえ方についてみると、「はい（聞こえにくい）」が37.4%、「いいえ（聞こえにくい）」が61.1%となっている。

男女別にみると、男性は「はい（聞こえにくい）」が42.3%と、女性（32.6%）に比べて高くなっている。

年齢別にみると、年齢とともに「はい（聞こえにくい）」の割合が高くなる傾向がみられ、「90歳以上」では最も高い64.4%となっている。

図表7(9)話し声や周囲の音が聞こえにくいと感じることがあるか



問7（9）で「はい」と回答された方のみ回答

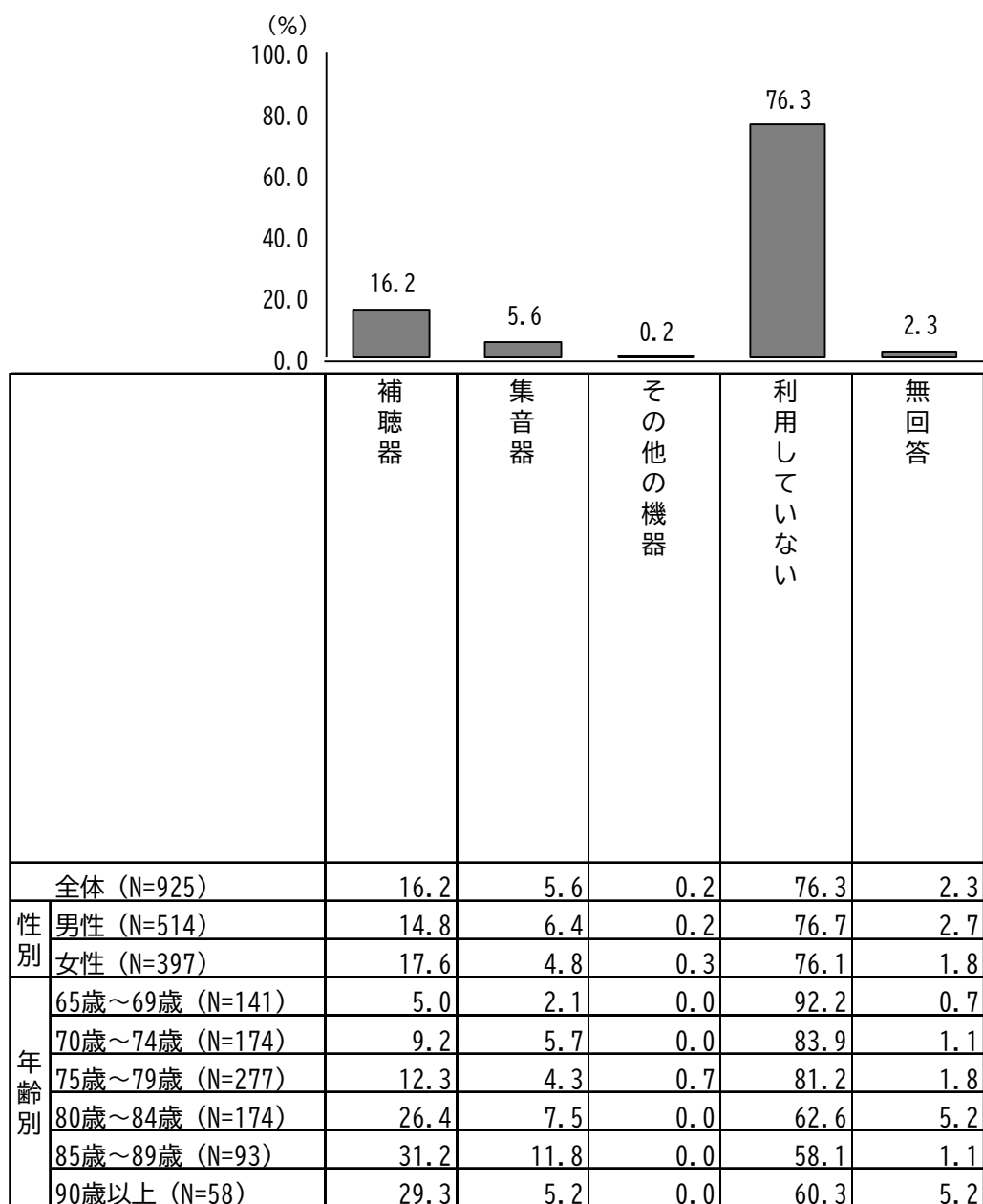
問7（9）①音の聞こえが良くなる機器を利用していますか。

音の聞こえが良くなる機器の利用についてみると、「利用していない」が76.3%と最も高く、次いで「補聴器」（16.2%）、「集音器」（5.6%）の順となっている。

男女別にみると、男性は「集音器」利用の割合が女性に比べて高く、他方で女性は「補聴器」利用の割合が男性より高い。

年齢別にみると、「補聴器」利用の割合が年齢とともに高くなる傾向が顕著にみられた。

図表7(9)① 音の聞こえが良くなる機器を利用しているか



問7（9）①で「集音器」「その他の機器」「利用していない」と回答された方のみ回答

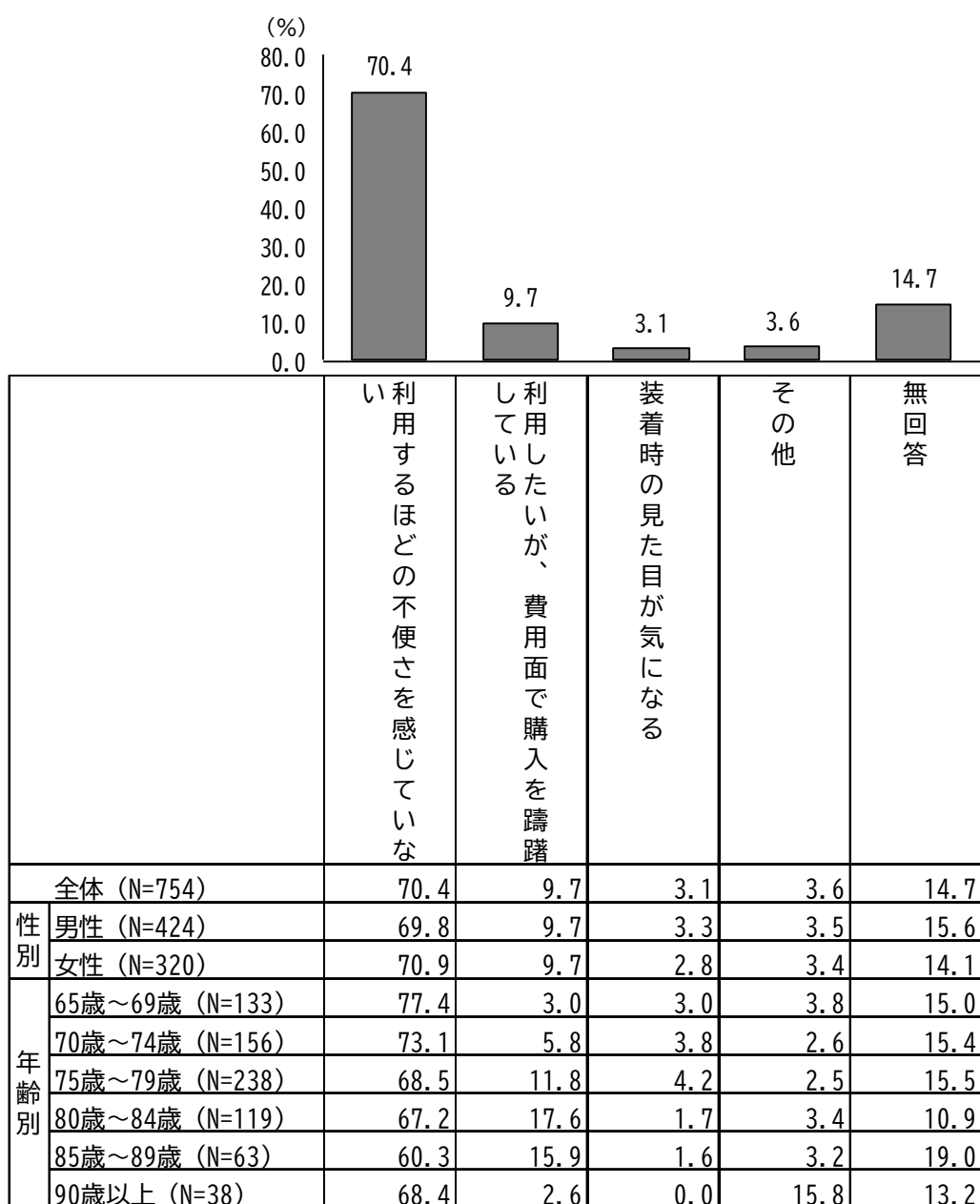
問7（9）②補聴器を利用しない理由は何ですか。

補聴器を利用しない理由についてみると、「利用するほどの不便さを感じていない」が70.4%と最も高く、次いで「利用したいが、費用面で購入を躊躇している」(9.7%)、「装着時の見た目が気になる」(3.1%)の順となっている。

男女別にみても、大きな差はみられない。

年齢別にみると、「利用するほどの不便さを感じていない」割合が年齢とともに低くなる傾向がみられる。また、70歳代後半～80歳代では「利用したいが、費用面で購入を躊躇している」割合が特に高くなっている。

図表7(9)② 補聴器を利用しない理由



8 認知症について

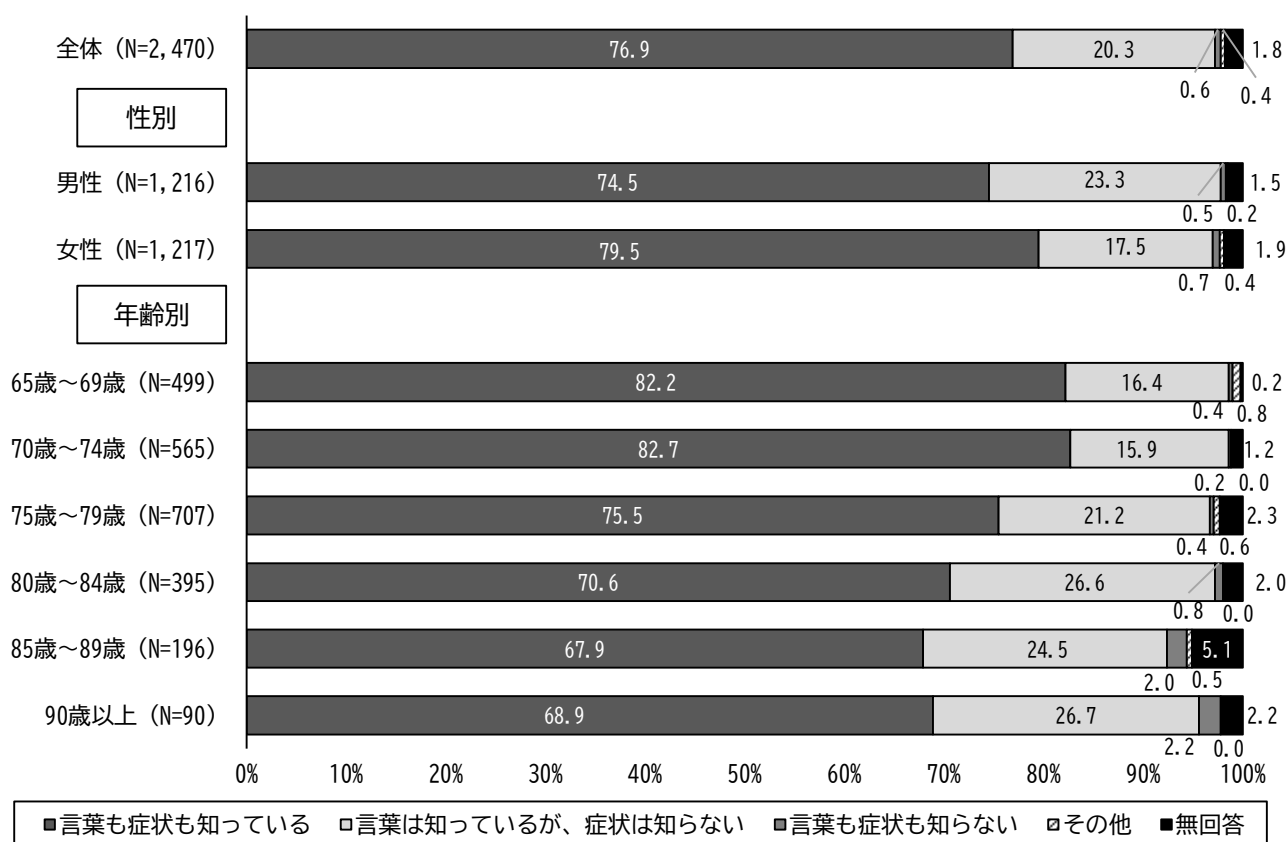
問8（1）あなたは、認知症という言葉や症状についてどの程度知っていますか。

認知症という言葉や症状についてどの程度知っているかについてみると、「言葉も症状も知っている」が76.9%、「言葉は知っているが、症状は知らない」が20.3%となり、認知症という言葉に関しては97.2%に知られているため非常に高い割合となっている。

男女別にみると、女性は「言葉も症状も知っている」が79.5%と、男性に比べて高くなっている。

年齢別にみると、年齢とともに「言葉も症状も知っている」割合が低くなる傾向がみられる。

図表8(1)認知症という言葉や症状についてどの程度知っているか



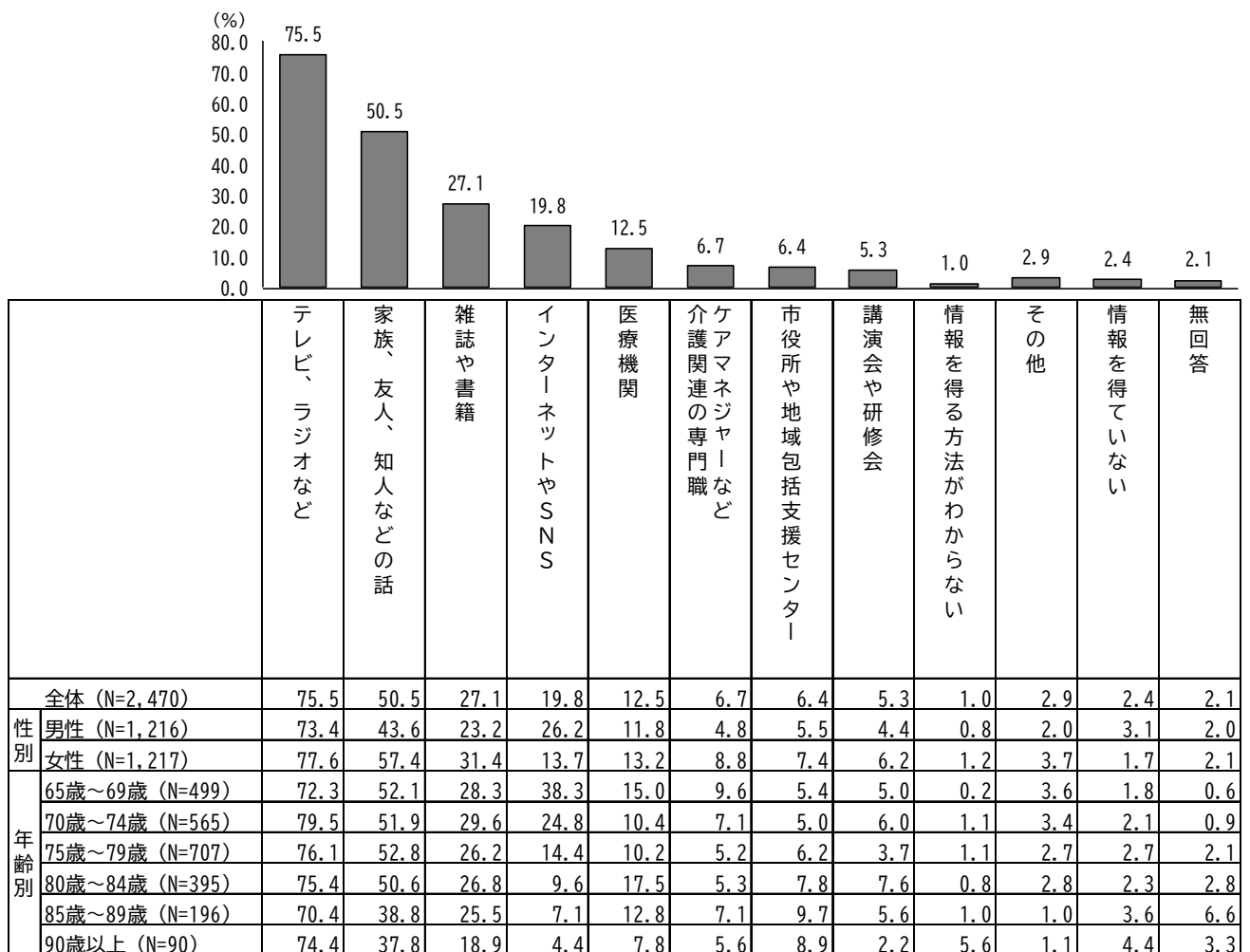
問8（2）あなたは認知症についての情報を何から得ていますか。（いくつでも）

認知症についての情報を何から得ているかについてみると、「テレビ、ラジオなど」が75.5%と最も高く、次いで「家族、友人、知人などの話」（50.5%）、「雑誌や書籍」（27.1%）の順となっている。

男女別にみると、男性は「インターネットやSNS」が女性に比べて高い。他方で女性は「家族、友人、知人などの話」、「雑誌や書籍」が男性に比べて相当高くなっている。

年齢別にみると、すべての年代で全体と同様に「テレビ、ラジオなど」が最も高くなっている。また、「インターネットやSNS」の割合は年齢とともに低くなる傾向が顕著であり、他方で「情報を得ていない」の割合は年齢とともに高くなる傾向がみられる。

図表8(2)認知症についての情報を何から得ているか



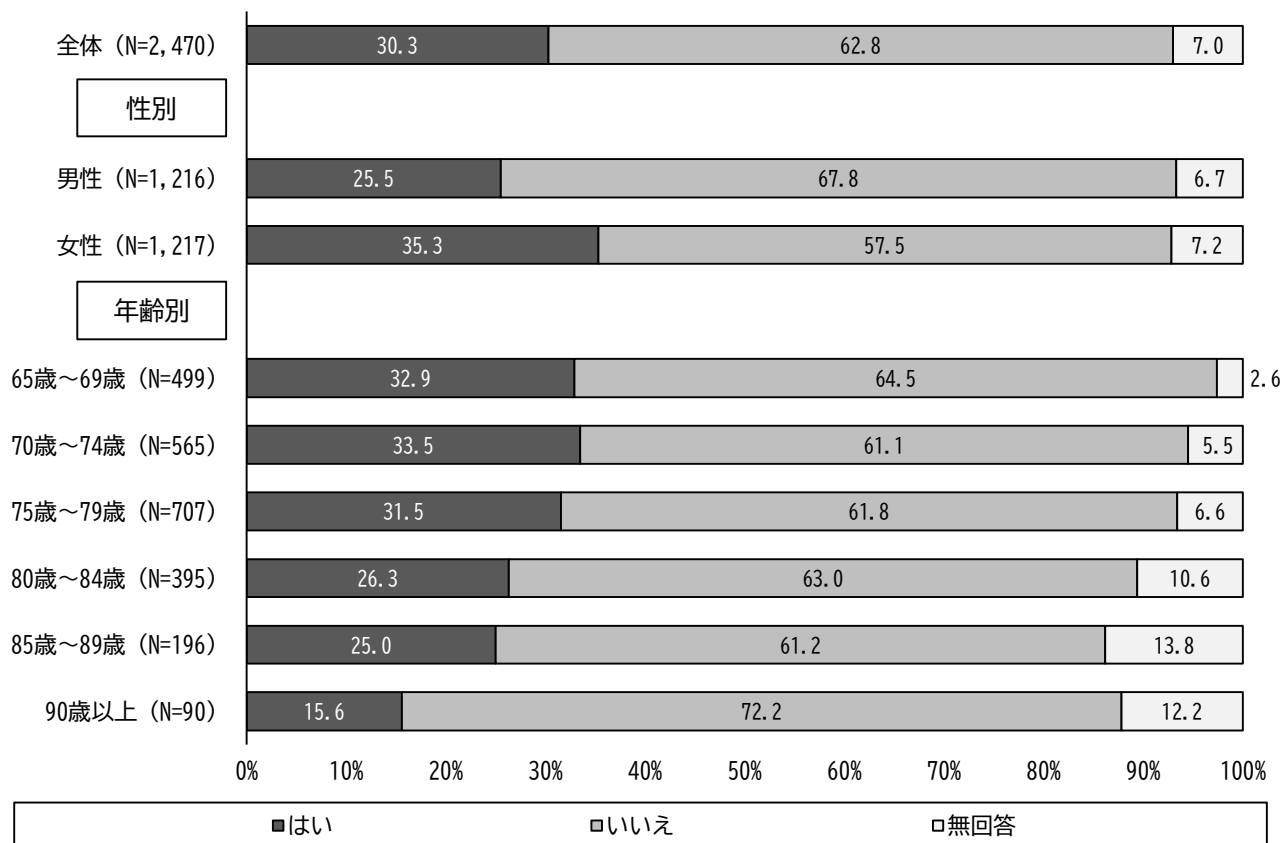
問 8（3）認知症に関する相談窓口を知っていますか。

認知症に関する相談窓口の認知度についてみると、「はい（知っている）」が30.3%、「いいえ（知らない）」が62.8%となっている。

男女別にみると、女性の方が「はい（知っている）」が35.3%と、男性（25.5%）より高い。

年齢別にみると、年齢とともに「はい（知っている）」は低くなる傾向がみられる。

図表8(3)認知症に関する相談窓口の認知度



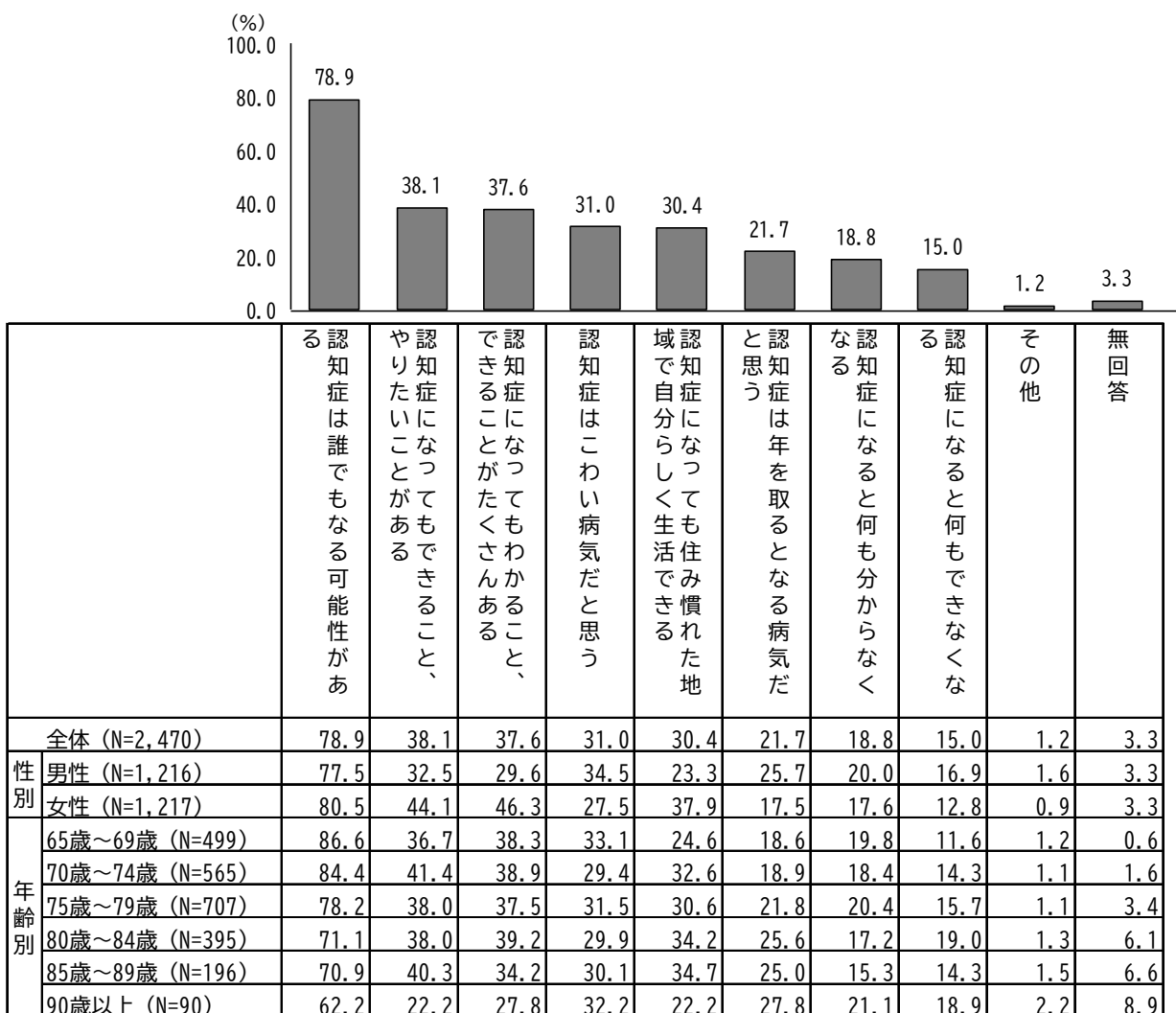
問8（4）認知症についてどのようなイメージがありますか。（いくつでも）

認知症についてのイメージについてみると、「認知症は誰にでもなる可能性がある」が78.9%と最も高く、次いで「認知症になってもできること、やりたいことがある」（38.1%）、「認知症になってもわかること、できることがたくさんある」（37.6%）の順となっている。

男女別にみると、男性は「認知症はこわい病気だと思う」、「認知症は年を取るとなる病気だと思う」、「認知症になると何もできなくなる」などが女性に比べて高く、他方で女性は「認知症になってもできること、やりたいことがある」、「認知症になってもわかること、できることがたくさんある」、「認知症になっても住み慣れた地域で自分らしく生活できる」などが男性に比べて相当高く、認知症については女性の方が前向きなイメージを持っている。

年齢別にみると、すべての年代で全体と同様に「認知症は誰にでもなる可能性がある」が最も高くなっている。また、「認知症は年を取るとなる病気だと思う」の割合は年齢とともに高くなる傾向がみられる。

図表8(4)認知症についてのイメージ



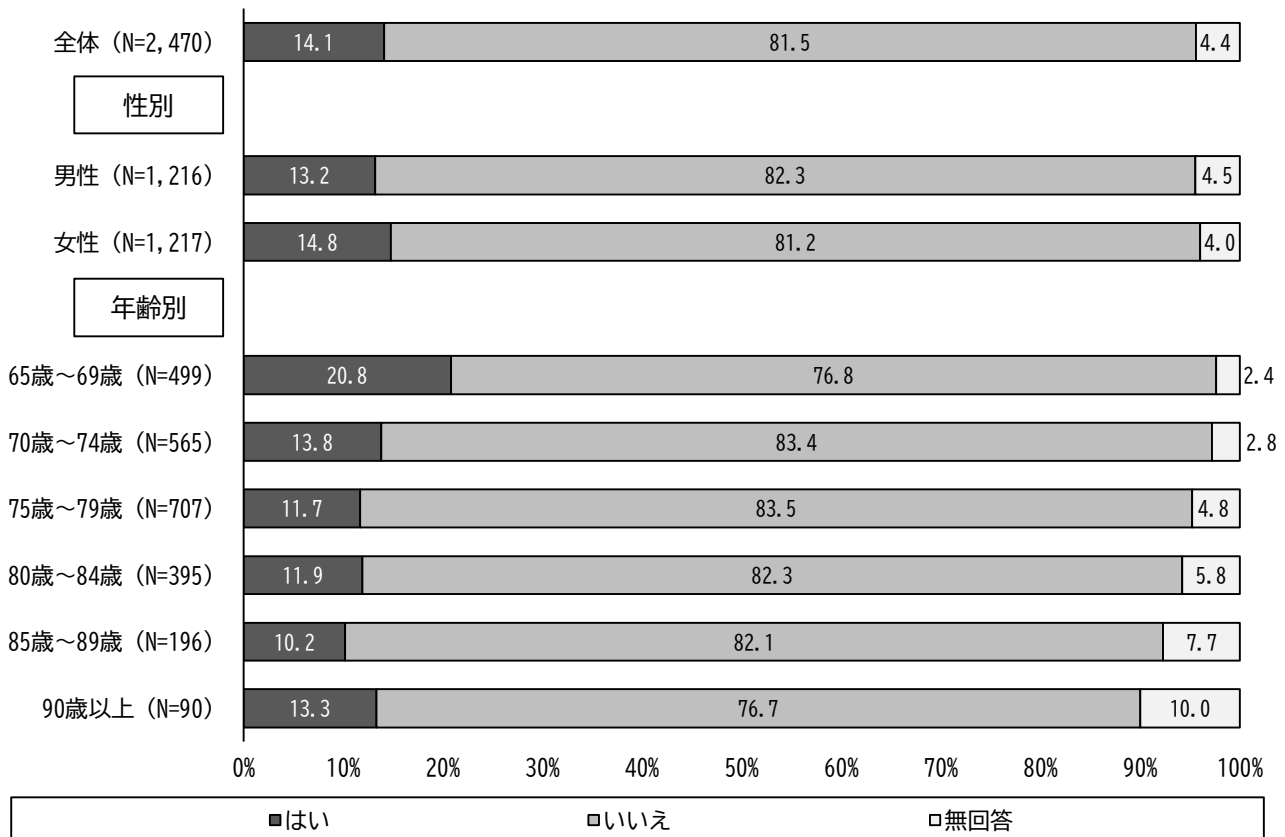
問 8（5）認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。

認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるかについてみると、「はい（いる）」が14.1%、「いいえ（いない）」が81.5%となっている。

男女別にみても、大きな差はみられない。

年齢別にみると、「85歳～89歳」にかけて「はい（いる）」の割合は低くなる傾向があるものの、「90歳以上」で再び高くなった。

図表8(5)認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるか



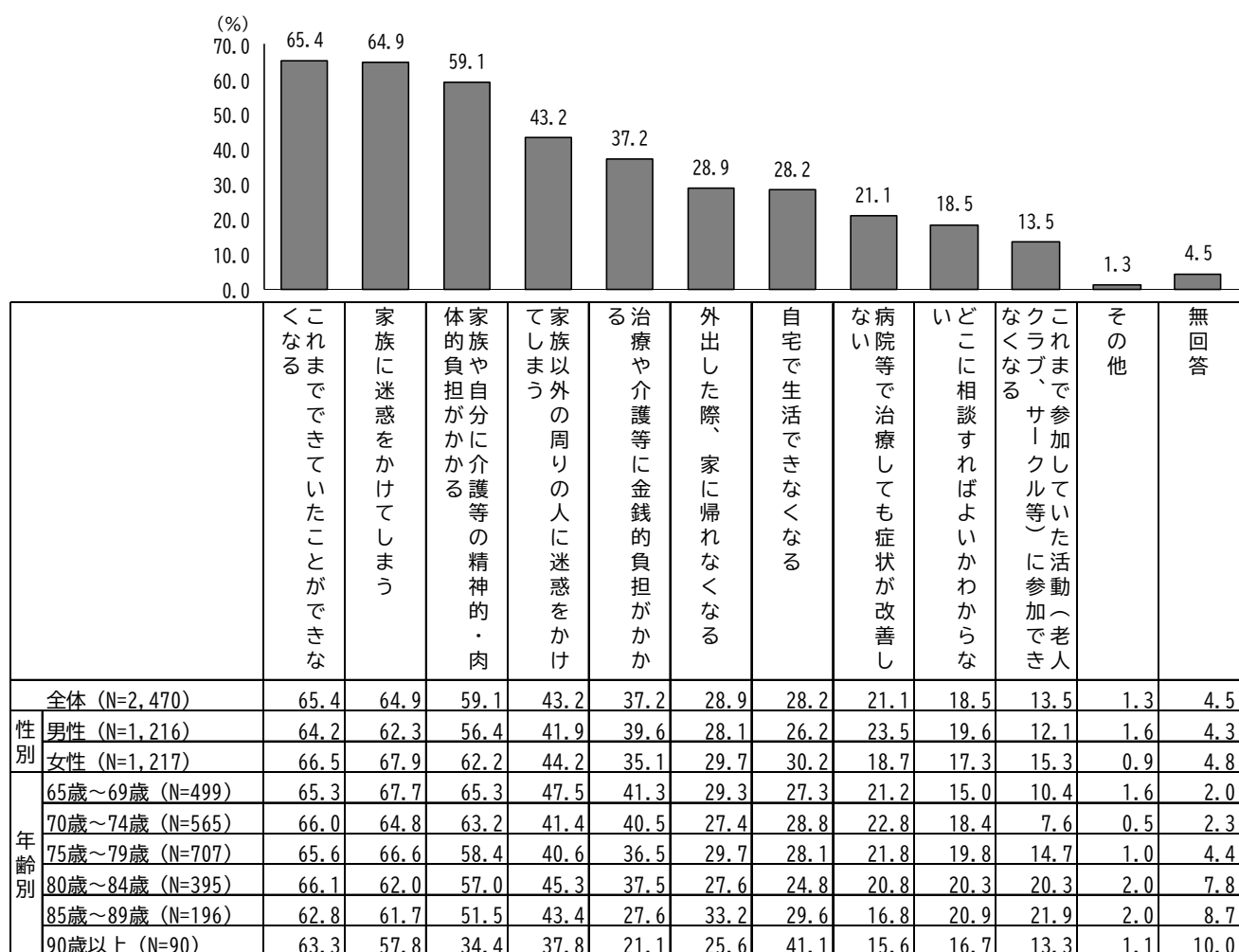
問8（6）もし、あなたや家族が認知症になったとしたら、どのようなことが不安ですか。
（いくつでも）

自分や家族が認知症になった時にどのようなことが不安かについてみると、「これまでできていたことができなくなる」が65.4%と最も高く、次いで「家族に迷惑をかけてしまう」(64.9%)、「家族や自分に介護等の精神的・肉体的負担がかかる」(59.1%)の順となっている。

男女別にみると、男性は「治療や介護等に金銭的負担がかかる」、「病院等で治療しても症状が改善しない」などが女性に比べて高く、他方で女性は「家族に迷惑をかけてしまう」、「家族や自分に介護等の精神的・肉体的負担がかかる」などが男性に比べて高い。

年齢別にみると、すべての年代で上位2項目は全体と同じだが、「自宅で生活できなくなる」は年齢とともに高くなる傾向がみられる。

図表8(6)本人や家族が認知症になった時の不安



問8（7）もし、あなたが認知症になったとしたら、家族や友人、近隣の人、友人に認知症であることを伝えようと思いますか。

※①～⑤それぞれに回答してください

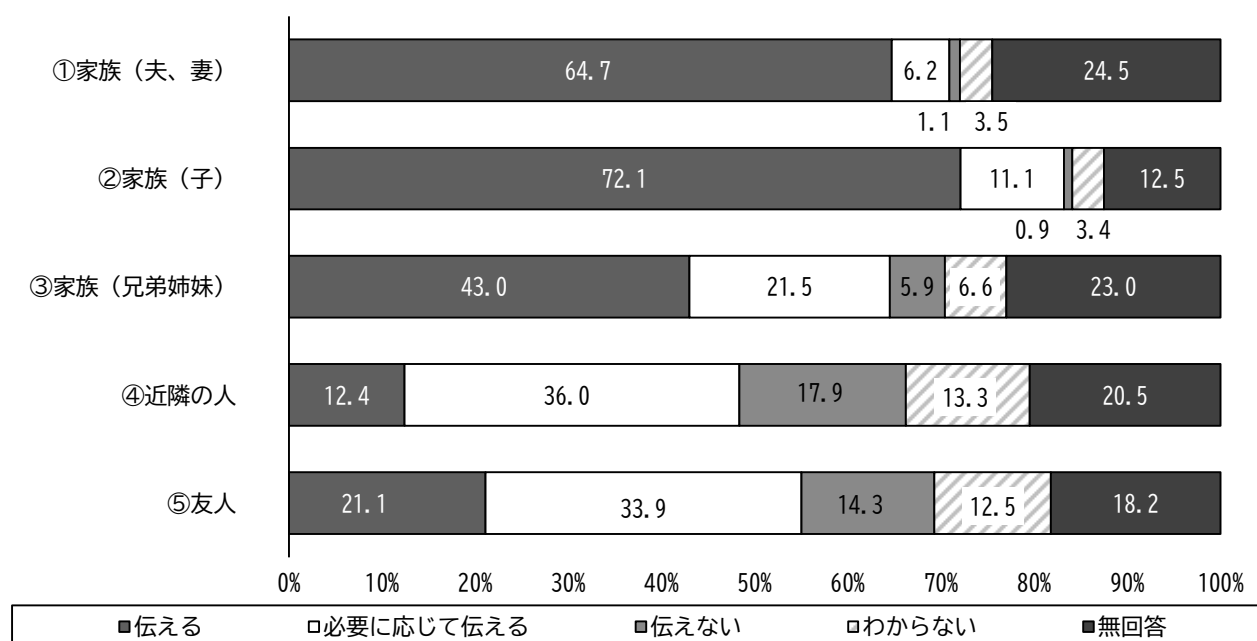
「①家族（夫、妻）」、「②家族（子）」、「③家族（兄弟姉妹）」で「伝える」が4割～7割超で、それぞれ最も高くなっている。

伝える可能性がある割合（「伝える」＋「必要に応じて伝える」）でみると、「②家族（子）」が83.2%と最も高く、「①家族（夫、妻）」（70.9%）、「③家族（兄弟姉妹）」（64.5%）の順となっている。

（以下、グループごとに上位の選択を示す）

- ① 家族（夫、妻） …………… 「伝える」（64.7%）、「必要に応じて伝える」（6.2%）
- ② 家族（子） …………… 「伝える」（72.1%）、「必要に応じて伝える」（11.1%）
- ③ 家族（兄弟姉妹） …………… 「伝える」（43.0%）、「必要に応じて伝える」（21.5%）
- ④ 近隣の人 …………… 「必要に応じて伝える」（36.0%）、「伝えない」（17.9%）
- ⑤ 友人 …………… 「必要に応じて伝える」（33.9%）、「伝える」（21.1%）

図表8(7)認知症だと伝えるか(全体 N=2,470)



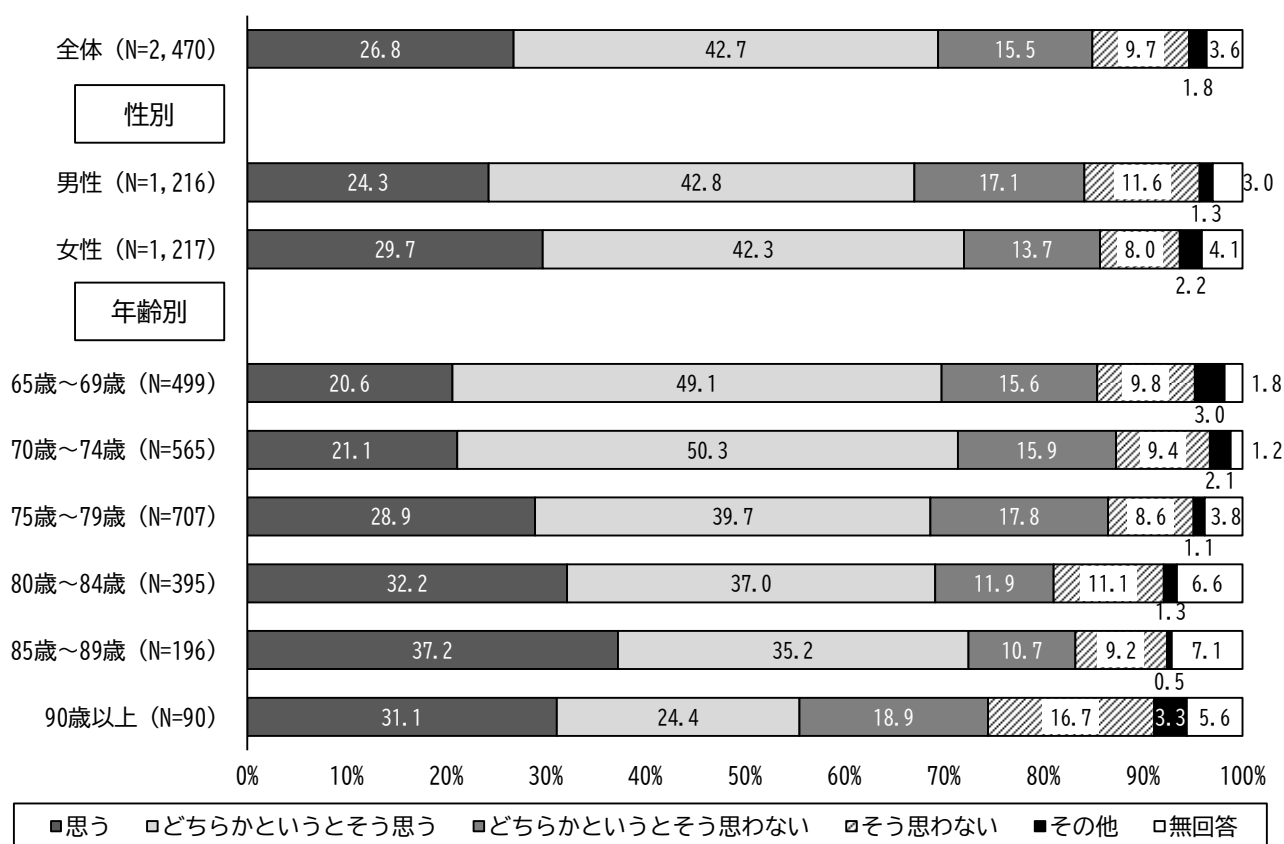
問8（8）あなたは、認知症について知りたい、学びたいと思いますか。

認知症について知りたい、学びたいかについてみると、「思う（知りたい）」が26.8%、「どちらかというと思う（どちらかという知りたい）」が42.7%、「どちらかというと思わない（どちらかという知りたいくない）」が15.5%、「そう思わない（知りたいくない）」が9.7%となっている。

男女別にみると、女性の方が「知りたい」割合（「思う（知りたい）」＋「どちらかというと思う（どちらかという知りたい）」）が72.0%と、男性（67.1%）に比べ高い。

年齢別にみると、「思う（知りたい）」割合は80歳代まで年齢とともに高くなる傾向がみられる。

図表8(8)認知症について知りたい、学びたいと思うか



問8（8）で「思う」「どちらかというと思う」と回答された方のみ回答

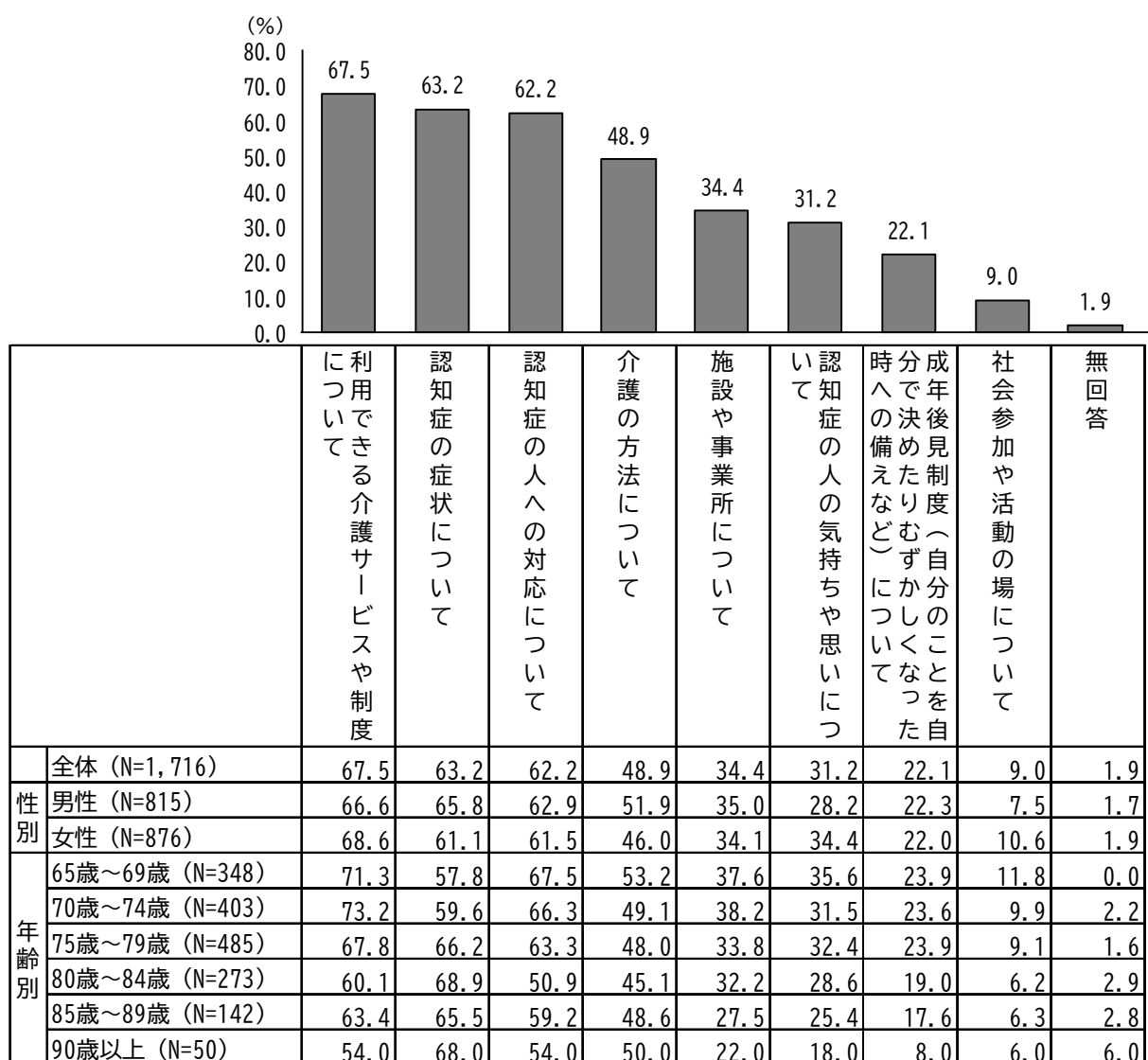
問8（8）①認知症に関するどのようなことを知りたい、学びたいと思いますか。（いくつでも）

認知症に関するどのようなことを知りたい、学びたいかについてみると、「利用できる介護サービスや制度について」が67.5%と最も高く、次いで「認知症の症状について」（63.2%）、「認知症の人への対応について」（62.2%）の順となっている。

男女別にみると、男性は「介護の方法について」などが女性に比べて高く、他方で女性は「認知症の人の気持ちや思いについて」などが男性より高い。

年齢別にみると、「成年後見制度（自分のことを自分で決めたりむずかしくなった時への備えなど）について」、「社会参加や活動の場について」などが、年齢とともに低くなる傾向がみられた。

図表8(8)① 認知症に関するどのようなことを知りたい、学びたいと思うか



問8（9）認知症の人が住み慣れた地域で暮らしていくためにはどのような支援が必要だとおもいますか。（特に当てはまるもの3つまで○印を付けてください）

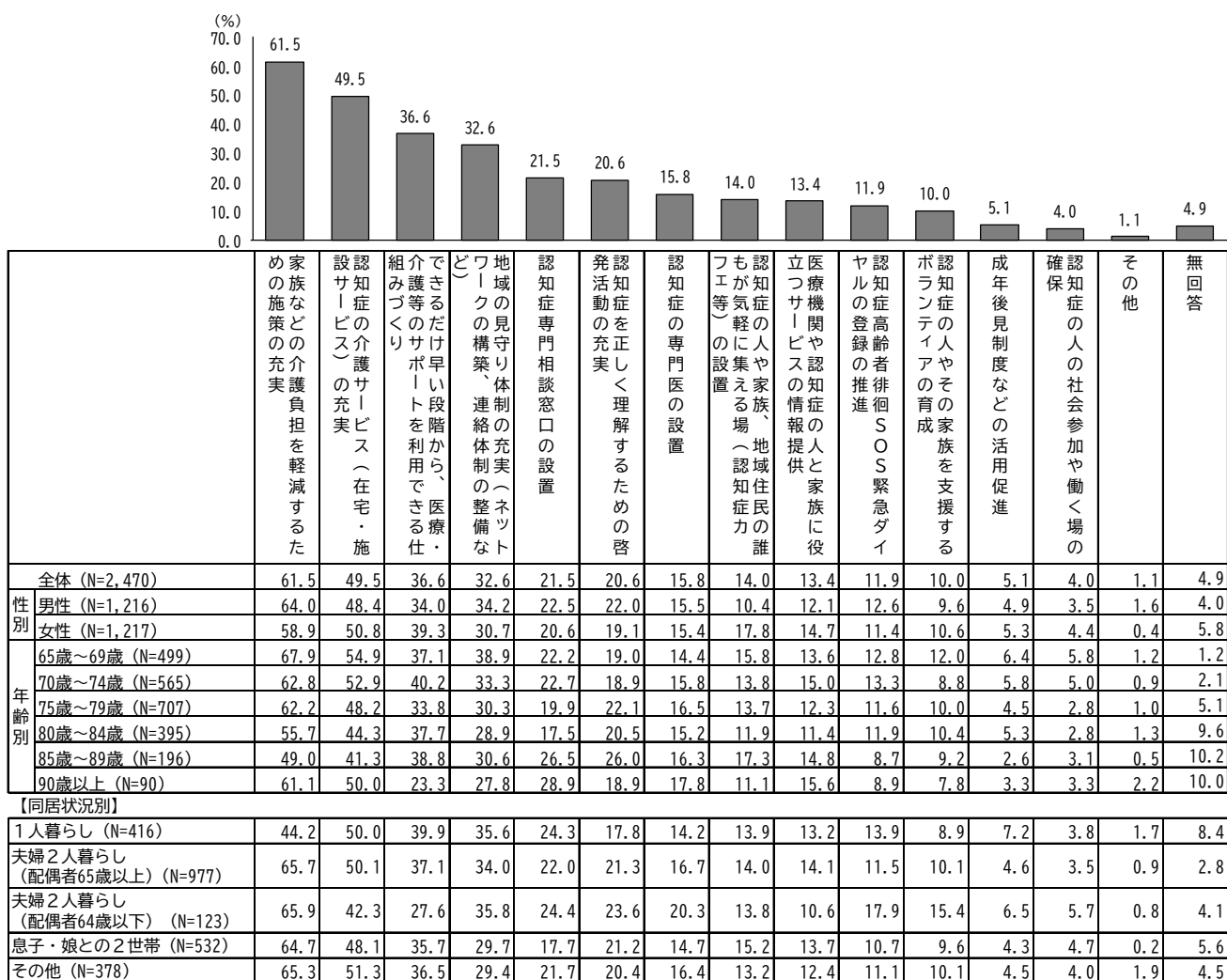
認知症の人が住み慣れた地域で暮らしていくために必要な支援についてみると、「家族などの介護負担を軽減するための施策の充実」が61.5%と最も高く、次いで「認知症の介護サービス（在宅・施設サービス）の充実」（49.5%）、「できるだけ早い段階から、医療・介護等のサポートを利用できる仕組みづくり」（36.6%）の順となっている。

男女別にみると、男性は「家族などの介護負担を軽減するための施策の充実」、「地域の見守り体制の充実」などで女性に比べて高くなっている。他方で、女性は「認知症の人や家族地域住民の誰もが気軽に集える場（認知症カフェ等）の設置」、「できるだけ早い段階から、医療・介護等のサポートを利用できる仕組みづくり」などで男性より高い。

年齢別では、大きな差はみられない。

同居状況別にみると、「1人暮らし」の人は他の状況の人に比べて「家族などの介護負担を軽減するための施策の充実」が当然ながら低いが、一方で、「できるだけ早い段階から、医療・介護等のサポートを利用できる仕組みづくり」（39.9%）などが高くなっている。

図表8(9)認知症の人が住み慣れた地域で暮らしていくために必要な支援



9 高齢者福祉について

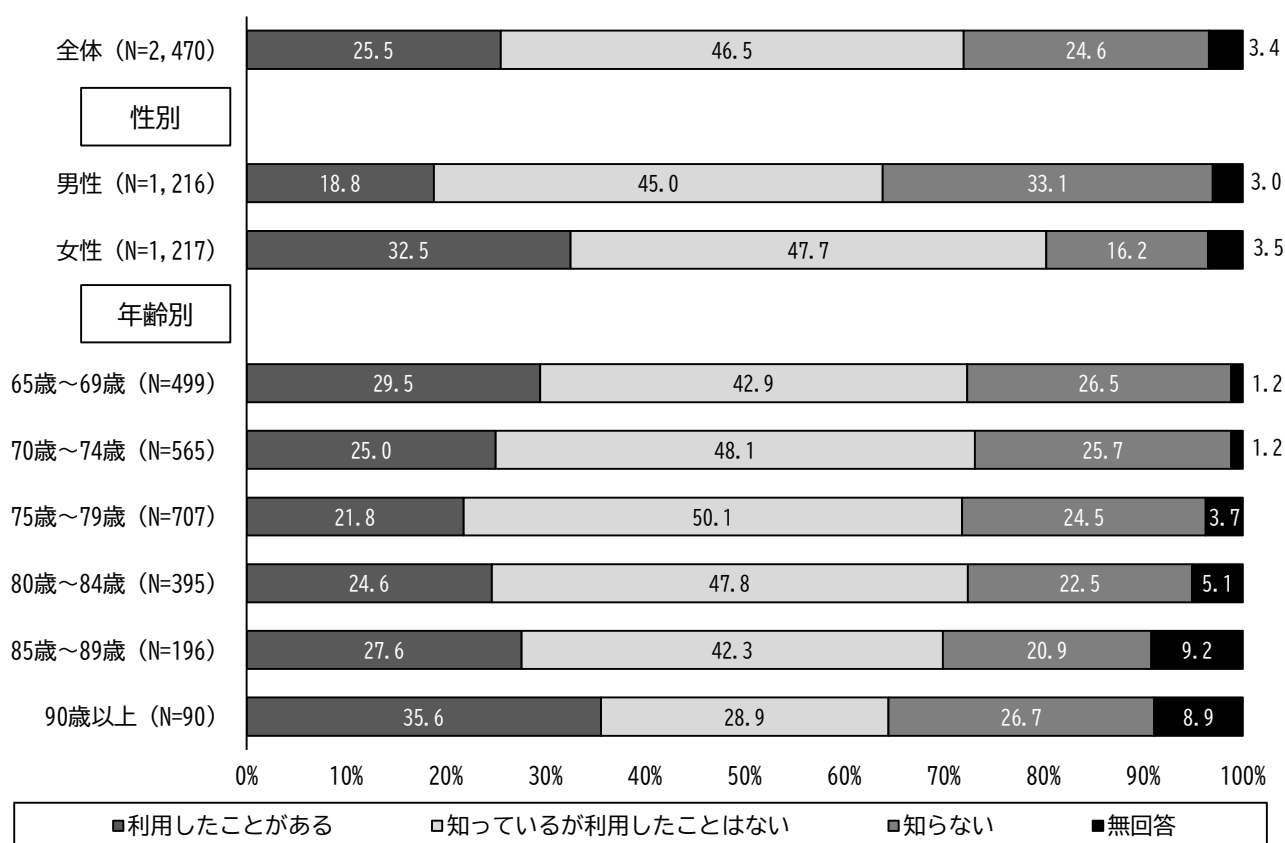
問9（1）身近な地域で総合的な相談ができる機関として、地域包括支援センターを知っていますか。
また、利用したことがありますか。

地域包括支援センターの認知度と利用経験についてみると、「利用したことがある」が25.5%、「知っているが利用したことはない」が46.5%、「知らない」が24.6%となっている。

男女別にみると、女性は「利用したことがある」、「知っているが利用したことはない」で男性に比べて高く、女性の認知の方が高いことがわかる。

年齢別にみると、「利用したことがある」は70歳代後半まで低くなるが、そこから年齢とともに高くなる傾向がみられ、「90歳以上」では35.6%と特に高い割合になっている。

図表9(1)地域包括支援センターの認知度と利用経験



問9（2）介護を受けながら生活していくときに、どの生活が望ましいと思いますか。（最も近いもの1つのみ○印を付けてください）

介護を受けながらの生活に対する希望についてみると、「在宅で訪問介護、デイサービス、ショートステイなどのサービスを活用しながら暮らしたい」が36.4%と最も高く、次いで「在宅で家族の介護を受けながら暮らしたい」が25.1%、「特別養護老人ホームなどのプライバシーの確保された個室で安心して生活を送りたい」が13.0%の順となっている。

男女別にみると、男性は「在宅で家族の介護を受けながら暮らしたい」が女性に比べて高く、他方で、女性は「在宅訪問介護、デイサービス、ショートステイなどのサービスを活用しながら暮らしたい」が男性より高い。

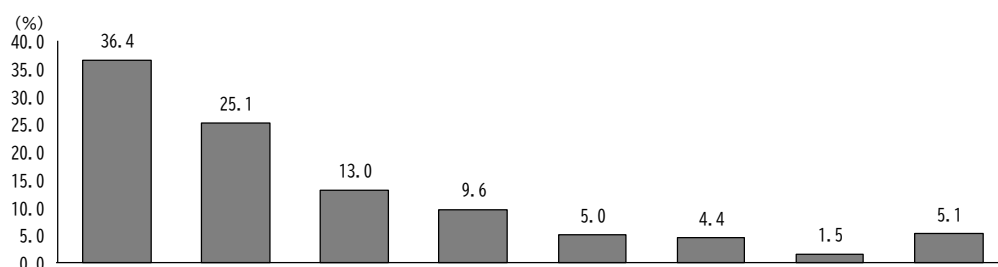
年齢別にみると、年齢とともに「在宅で家族の介護を受けながら暮らしたい」が高くなる傾向がみられる。

同居状況別にみると、「1人暮らし」の人は他の状況の人と比べて「在宅で家族の介護を受けながら暮らしたい」が低い反面、「特別養護老人ホームなどのプライバシーの確保された個室で安心して生活を送りたい」が高くなっている。

要介護認定の状況別にみると、「要支援2」、「事業対象者」の人は他の状況の人と比べて「在宅で訪問介護、デイサービス、ショートステイなどのサービスを活用しながら暮らしたい」が高くなっている。

介護・介助の必要性別にみると、「現在何らかの介護を受けている」、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」など介護の必要な人たちは、「在宅で家族の介護を受けながら暮らしたい」が高くなっている。

図表9(2)介護を受けながらの生活に対する希望



	在宅でヘルパーによる訪問介護、日帰り施設に泊るサービス、短期間のサービス	在宅で家族の介護を受けながら暮らしたい	特別養護老人ホームなどの生活を送りたい	自宅の近くにある小規模なグループホーム（認知症対応の施設）で安心した生活を送りたい	特別養護老人ホームなどで安心した生活を送りたい	有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅などで暮らしたい	その他	無回答
全体 (N=2,470)	36.4	25.1	13.0	9.6	5.0	4.4	1.5	5.1
性別								
男性 (N=1,216)	31.2	31.8	13.8	8.5	4.9	4.1	1.3	4.4
女性 (N=1,217)	41.7	18.2	12.0	10.9	5.2	4.8	1.5	5.8
年齢別								
65歳～69歳 (N=499)	39.7	16.6	18.4	12.2	3.8	4.6	2.2	2.4
70歳～74歳 (N=565)	39.8	20.5	14.0	10.4	4.8	6.2	1.2	3.0
75歳～79歳 (N=707)	35.8	28.3	12.0	9.5	4.0	3.5	1.8	5.1
80歳～84歳 (N=395)	33.7	30.4	8.9	8.1	5.6	4.3	0.8	8.4
85歳～89歳 (N=196)	31.6	28.6	8.2	8.2	10.2	2.6	0.5	10.2
90歳以上 (N=90)	22.2	44.4	11.1	2.2	7.8	3.3	1.1	7.8
同居状況別								
1人暮らし (N=416)	36.1	12.0	17.1	8.7	9.1	6.5	2.6	7.9
夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）(N=977)	35.2	29.4	13.7	8.9	3.7	4.5	0.8	3.8
夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）(N=123)	31.7	35.0	13.0	8.1	4.1	0.8	4.1	3.3
息子・娘との2世帯 (N=532)	39.5	25.2	10.3	10.0	4.9	3.8	1.1	5.3
その他 (N=378)	36.5	25.9	11.1	12.2	4.2	4.0	1.3	4.8
【要介護認定の状況別】								
受けていない (N=2,255)	36.7	25.1	13.2	10.1	5.0	4.2	1.5	4.4
事業対象者 (N=5)	60.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
要支援1 (N=72)	29.2	27.8	9.7	6.9	6.9	8.3	0.0	11.1
要支援2 (N=54)	48.1	25.9	7.4	1.9	3.7	7.4	1.9	3.7
【介護・介助の必要性別】								
介護・介助は必要ない (N=2,118)	37.8	23.9	13.6	9.9	4.9	4.3	1.6	4.2
何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない (N=199)	30.2	32.7	10.6	8.5	5.0	2.0	0.0	11.1
現在、何らかの介護を受けている (N=103)	24.3	35.9	9.7	3.9	6.8	10.7	1.9	6.8

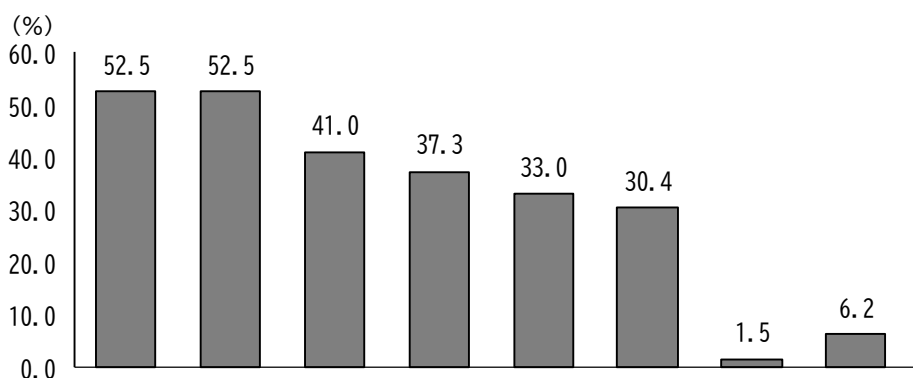
問9（3）介護サービスを受けながら自宅で生活し続けるために必要なことは何だと思いますか。
（いくつでも）

介護サービスを受けながら自宅で生活し続けるために必要なことについてみると、「ヘルパーや看護師などが自宅を訪れ、日常生活の世話や療養上の世話を行うサービス」が52.5%と最も高く、同率で「日帰りで施設に通うデイサービス」（52.5%）、「在宅で生活する高齢者を介護する家族に対する支援」（41.0%）の順となっている。

男女別にみると、男性は「ヘルパーや看護師などが自宅を訪れ、日常生活の世話や療養上の世話を行うサービス」が女性に比べて高く、他方で女性は「日帰りで施設に通うデイサービス」、「短期間施設に宿泊するショートステイなどのサービス」で男性より高い。

年齢別にみても、すべての年代で上位2項目は全体と変わらない。

図表9(3)-1介護サービスを受けながら自宅で生活し続けるために必要なこと



		ヘルパーや看護師などが自宅を訪れ、日常生活の世話や療養上の世話を行うサービス	日帰りで施設に通うデイサービス	在宅で生活する高齢者を介護する家族に対する支援	短期間施設に宿泊するショートステイなどのサービス	住宅の改修や福祉用具の貸与・購入に関する費用の支給	在宅で生活する高齢者に対する見守り体制	その他	無回答
全体 (N=2,470)		52.5	52.5	41.0	37.3	33.0	30.4	1.5	6.2
性別	男性 (N=1,216)	54.7	48.5	40.7	32.7	32.4	31.9	1.2	5.8
	女性 (N=1,217)	50.1	56.7	41.4	42.1	33.9	29.3	1.5	6.4
年齢別	65歳～69歳 (N=499)	56.5	57.7	49.7	48.5	43.1	35.5	2.0	2.8
	70歳～74歳 (N=565)	57.9	59.8	42.3	44.1	35.6	30.4	1.8	2.8
	75歳～79歳 (N=707)	49.2	49.6	37.1	34.7	29.6	27.0	1.1	6.6
	80歳～84歳 (N=395)	48.4	46.6	37.2	26.8	26.3	31.6	1.3	8.9
	85歳～89歳 (N=196)	48.5	42.3	36.2	25.0	29.6	28.1	1.0	12.8
	90歳以上 (N=90)	44.4	45.6	41.1	25.6	24.4	28.9	0.0	17.8

図表9(3)-2介護サービスを受けながら自宅で生活し続けるために必要なこと【圏域別】

		在宅で生活する高齢者に対する地域住民や介護施設職員の見守り体制	の世話や療養上の世話をを行うサービス	ヘルパーや看護師などが自宅を訪れ、日常生活	日帰りで施設に通うデイサービス	短期間施設に宿泊するショートステイなどのサービス	住宅の改修や福祉用具の貸与・購入に関する費用の支給	在宅で生活する高齢者を介護する家族に対する支援	その他	無回答
総曲輪、愛宕、安野屋、八人町、五番町、柳町、清水町、星井町	(N=144)	27.1	61.8	58.3	47.2	38.9	45.1	0.7	8.3	
東部、山室	(N=147)	37.4	53.7	51.0	32.7	31.3	46.3	1.4	6.8	
西田地方、堀川、光陽	(N=138)	30.4	58.0	55.1	37.7	30.4	44.9	1.4	8.7	
堀川南、蜷川	(N=119)	30.3	59.7	51.3	41.2	30.3	38.7	1.7	4.2	
奥田、奥田北	(N=131)	30.5	50.4	45.8	35.9	29.0	43.5	1.5	6.1	
桜谷、五福、神明	(N=142)	31.7	53.5	45.8	34.5	33.8	38.7	1.4	7.0	
岩瀬、萩浦、大広田、浜黒崎	(N=138)	31.2	57.2	55.8	34.1	35.5	44.9	1.4	4.3	
針原、豊田	(N=131)	22.9	47.3	49.6	39.7	28.2	42.7	0.8	9.2	
広田、新庄、新庄北	(N=134)	30.6	56.0	47.8	38.1	27.6	38.1	0.0	9.0	
藤ノ木、山室中部	(N=115)	40.9	61.7	53.0	40.0	30.4	41.7	1.7	3.5	
太田、新保、熊野、月岡	(N=136)	27.2	48.5	50.7	28.7	36.8	40.4	2.9	6.6	
四方、八幡、草島、倉垣	(N=133)	28.6	49.6	48.1	38.3	33.1	33.8	2.3	7.5	
呉羽、長岡、寒江、古沢、老田、池多	(N=138)	29.0	47.8	50.7	41.3	40.6	38.4	1.4	5.8	
水橋中部、水橋西部、水橋東部、三郷、上条	(N=141)	29.8	59.6	56.0	36.9	34.8	38.3	0.0	5.7	
大沢野地域、細入地域	(N=144)	29.2	42.4	55.6	40.3	32.6	36.8	1.4	7.6	
大山地域	(N=143)	28.0	45.5	55.9	39.9	32.2	37.8	2.8	5.6	
八尾地域、山田地域	(N=147)	31.3	47.6	57.8	33.3	32.0	36.7	1.4	2.0	
婦中地域	(N=137)	32.1	44.5	56.2	33.6	35.8	51.1	1.5	3.6	

問9(4) あなたがいつまでも住み慣れた地域で安心して暮らしていくためには、どのような生活支援やサービス等が必要だと思いますか。(特に当てはまるものを3つまで○を付けてください)

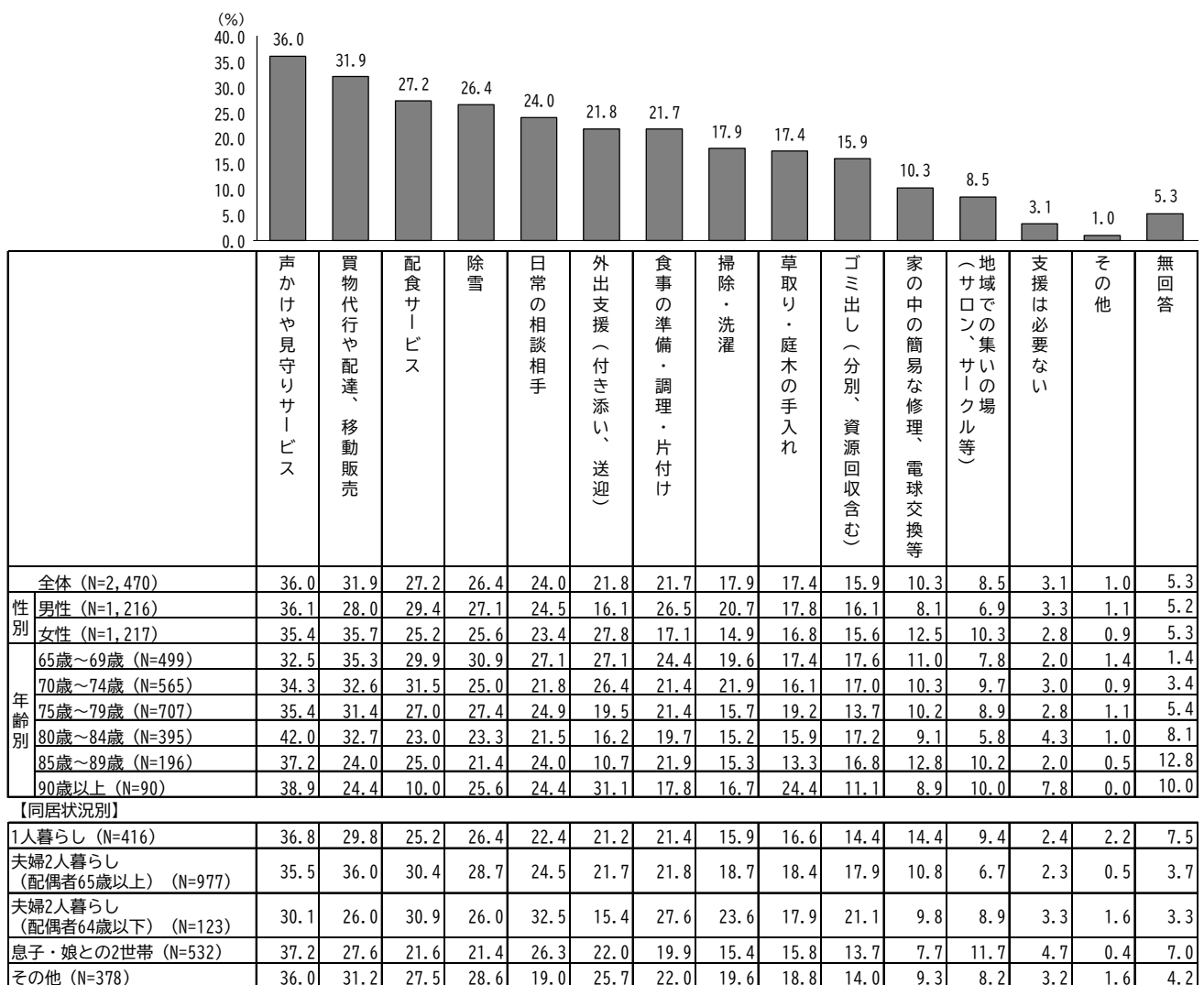
住み慣れた地域で安心して暮らしていくために必要な生活支援やサービスについてみると、「声かけや見守りサービス」が36.0%と最も高く、次いで「買物代行や配達、移動販売」が31.9%、「配食サービス」(27.2%)、「除雪」(26.4%)、「日常の相談相手」(24.0%)の順となっている。

男女別にみると、男性は「食事の準備・調理・片付け」、「配食サービス」、「掃除・洗濯」などで女性に比べて高く、他方で女性は「買物代行や配達、移動販売」、「外出支援(付き添い、送迎)」、「家の中の簡易な修理、電球交換等」などで男性より高くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど「買物代行や配達、移動販売」、「外出支援(付き添い、送迎)」などは低くなる傾向がみられる。

同居状況別にみると、「夫婦二人暮らし」の世帯では、「配食サービス」や「日常の相談相手」を他の同居状況に比べて重視する割合が高くなっている。

図表9(4)-1 住み慣れた地域で安心して暮らしていくために必要な生活支援やサービス



図表9(4)-2住み慣れた地域で安心して暮らしていくために必要な生活支援やサービス【圏域別】

		声かけや見守りサービス	日常の相談相手	食事の準備・調理・片付け	配食サービス	掃除・洗濯	ゴミ出し（分別、資源回収含む）	買物代行や配達、移動販売	外出支援（付き添い、送迎）	草取り・庭木の手入れ	家の中の簡易な修理、電球交換等	除雪	地域での集いの場（サロン、サークル等）	その他	支援は必要ない	無回答
総曲輪、愛宕、安野屋、八人町、五番町、柳町、清水町、星井町	(N=144)	25.7	26.4	29.2	31.9	27.1	21.5	33.3	22.9	2.8	14.6	17.4	10.4	2.8	2.1	7.6
東部、山室	(N=147)	38.8	27.2	27.2	27.9	19.7	16.3	27.2	22.4	15.0	12.2	27.9	3.4	3.4	0.7	4.1
西田地方、堀川、光陽	(N=138)	30.4	25.4	20.3	27.5	23.9	11.6	25.4	21.0	10.9	14.5	22.5	10.9	4.3	2.9	5.8
堀川南、蜷川	(N=119)	33.6	21.0	26.1	29.4	16.8	26.9	31.1	25.2	21.0	11.8	27.7	9.2	3.4	0.8	2.5
奥田、奥田北	(N=131)	35.9	21.4	19.8	30.5	18.3	13.7	35.9	25.2	9.9	8.4	13.7	8.4	4.6	1.5	5.3
桜谷、五福、神明	(N=142)	31.0	21.8	21.8	29.6	22.5	16.2	26.8	23.9	20.4	8.5	23.2	9.9	4.9	0.0	5.6
岩瀬、萩浦、大広田、浜黒崎	(N=138)	34.1	29.0	21.0	30.4	17.4	21.7	37.0	22.5	16.7	19.6	26.1	7.2	0.7	0.7	2.9
針原、豊田	(N=131)	35.9	26.0	23.7	26.7	17.6	15.3	26.7	23.7	13.7	7.6	21.4	8.4	3.8	0.0	7.6
広田、新庄、新庄北	(N=134)	25.4	21.6	15.7	31.3	11.9	15.7	29.1	17.9	20.1	12.7	31.3	7.5	1.5	0.0	9.0
藤ノ木、山室中部	(N=115)	40.0	29.6	18.3	27.0	20.9	21.7	28.7	16.5	20.9	7.8	28.7	9.6	2.6	0.9	2.6
太田、新保、熊野、月岡	(N=136)	35.3	26.5	16.2	18.4	15.4	14.0	30.9	24.3	23.5	8.8	22.8	11.0	5.9	2.2	5.1
四方、八幡、草島、倉垣	(N=133)	34.6	21.1	24.8	22.6	15.0	15.8	35.3	18.8	15.8	13.5	18.8	6.8	4.5	0.0	6.8
呉羽、長岡、寒江、古沢、老田、池多	(N=138)	38.4	18.1	13.8	24.6	11.6	18.8	34.1	18.8	24.6	8.0	30.4	14.5	2.9	1.4	4.3
水橋中部、水橋西部、水橋東部、三郷、上条	(N=141)	44.0	20.6	23.4	29.8	12.8	12.8	31.2	19.1	21.3	9.2	30.5	7.1	1.4	0.7	4.3
大沢野地域、細入地域	(N=144)	40.3	29.9	26.4	28.5	16.7	10.4	31.9	20.1	20.8	7.6	32.6	7.6	2.8	0.0	6.9
大山地域	(N=143)	43.4	21.7	26.6	23.1	18.9	9.1	43.4	24.5	18.2	6.3	35.7	10.5	0.7	2.8	3.5
八尾地域、山田地域	(N=147)	38.8	22.4	15.0	21.1	19.0	14.3	38.8	18.4	15.6	6.8	34.7	5.4	2.0	0.7	4.8
婦中地域	(N=137)	39.4	21.2	20.4	29.9	17.5	14.6	26.3	26.3	21.9	8.0	27.7	6.6	3.6	0.0	5.8

問9（5）あなたは介護保険制度における費用負担について、どのようにお考えですか。（最も当てはまるもの1つのみ○印を付けてください）

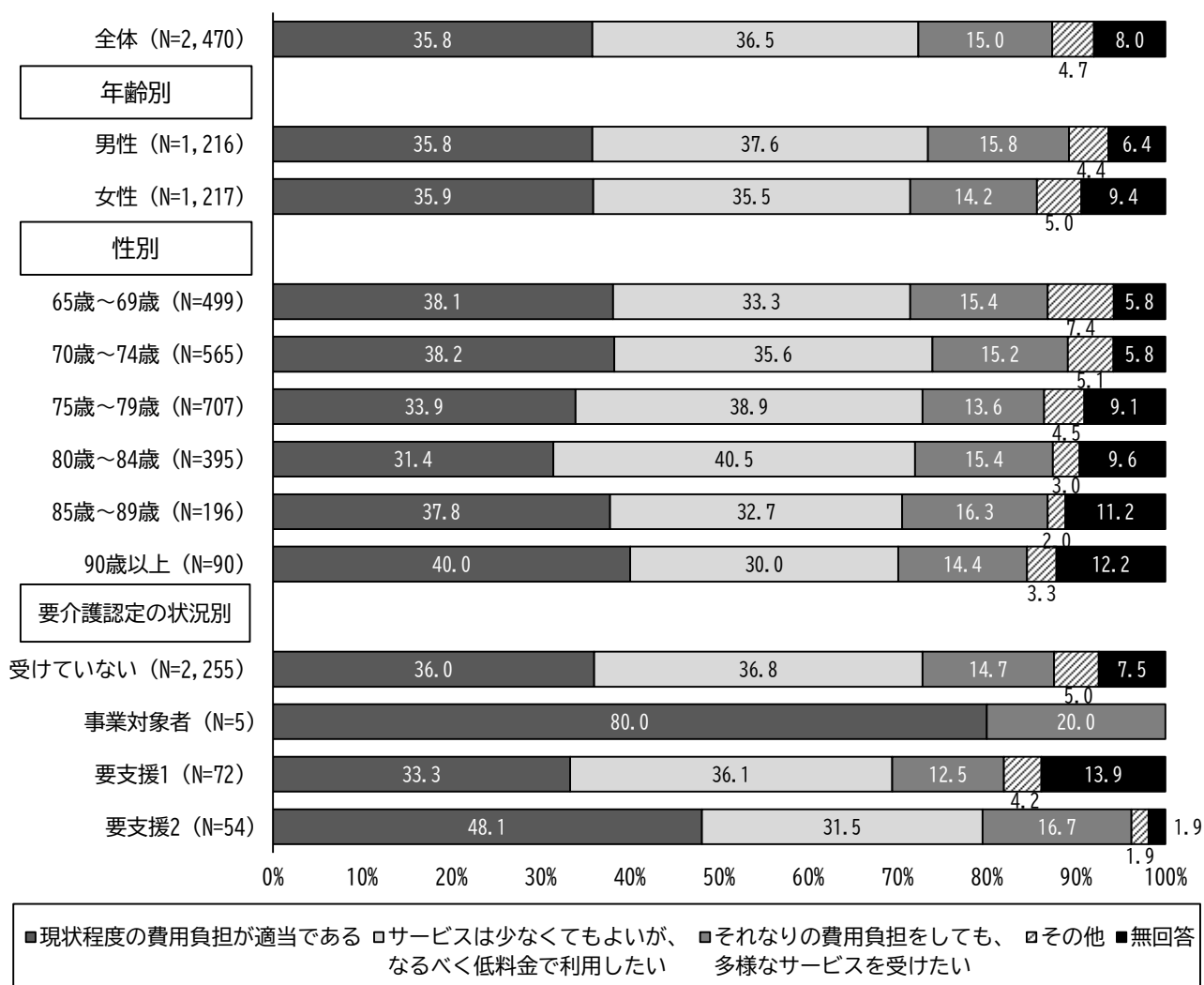
介護保険制度における費用負担についてみると、「現状程度の費用負担が適当である」が35.8%、「サービスは少なくてもよいが、なるべく低料金で利用したい」が36.5%、「それなりの費用負担をしても、多様なサービスを受けたい」が15.0%となっている。

男女別にみると、大きな差はみられないが、男性は「サービスは少なくてもよいが、なるべく低料金で利用したい」が若干高くなっている。

年齢別にみると、「75歳～79歳」と「80歳～84歳」で「現状程度の費用負担が適当である」が低くなっている。

要介護認定の状況別にみると、「要支援2」の人は、他の要介護状況の人に比べて「現状程度の費用負担が適当である」が48.1%と特に高くなっている。

図表9(5)介護保険制度における費用負担



問9（6）あなたが身近に整備してほしいと思う介護・福祉施設等はどれですか。（いくつでも）

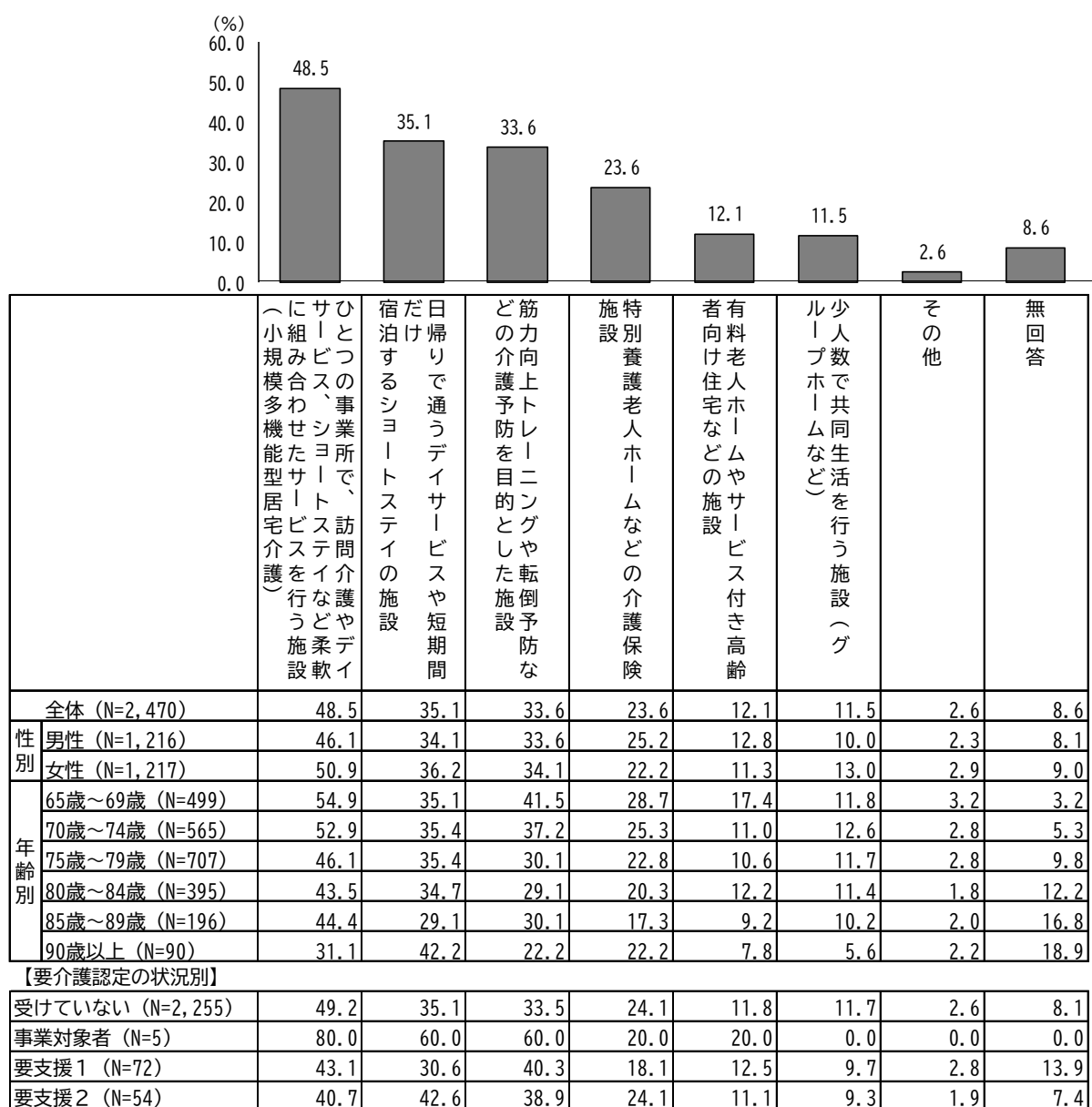
あなたが身近に整備してほしいと思う介護・福祉施設についてみると、「ひとつの事業所で、訪問介護やデイサービス、ショートステイなど柔軟に組み合わせたサービスを行う施設（小規模多機能型居宅介護）」が48.5%と最も高く、次いで「日帰りで通うデイサービスや短期間だけ宿泊するショートステイの施設」（35.1%）、「筋力向上トレーニングや転倒防止などの介護予防を目的とした施設」（33.6%）の順となっている。

男女別にみると、女性は「小規模多機能型居宅介護施設」、「グループホーム」などで男性に比べて高くなっている。

年齢別にみると、年齢とともに「筋力向上トレーニングや転倒防止などの介護予防を目的とした施設」は低くなる傾向がみられる。

要介護認定の状況別にみると、「事業対象者」は「小規模多機能型居宅介護施設」や「筋力向上トレーニングや転倒防止などの介護予防を目的とした施設」、「デイサービス・ショートステイ施設」などで、他の介護状況の人に比べて極めて高くなっている。

図表9(6)-1あなたが身近に整備してほしいと思う介護・福祉施設



図表9(6)-2あなたが身近に整備してほしいと思う介護・福祉施設【圏域別】

		介護向上トレーニングや転倒防止などの施設	日帰りで通うデイサービスや短期間だけ宿泊するショートステイの施設	ひとつの事業所で、訪問介護やデイサービス、ショートステイなど柔軟に組み合わせたサービスを行う施設（小規模多機能型居宅介護）	少人数で共同生活を行う施設（グループホームなど）	特別養護老人ホームなどの介護保険施設	有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅などの施設	その他	無回答
総曲輪、愛宕、安野屋、八人町、五番町、柳町、清水町、星井町	(N=144)	38.2	28.5	54.9	13.9	27.8	17.4	2.8	9.0
東部、山室	(N=147)	26.5	33.3	46.9	12.9	22.4	15.0	4.1	6.8
西田地方、堀川、光陽	(N=138)	36.2	40.6	54.3	11.6	22.5	17.4	3.6	8.0
堀川南、蜷川	(N=119)	26.1	39.5	57.1	8.4	27.7	15.1	0.8	8.4
奥田、奥田北	(N=131)	36.6	31.3	43.5	9.2	26.7	17.6	3.1	6.9
桜谷、五福、神明	(N=142)	34.5	23.2	52.1	12.0	28.2	16.2	0.0	11.3
岩瀬、萩浦、大広田、浜黒崎	(N=138)	33.3	39.1	49.3	8.7	19.6	13.8	0.0	9.4
針原、豊田	(N=131)	42.0	34.4	47.3	9.2	21.4	11.5	1.5	9.9
広田、新庄、新庄北	(N=134)	29.1	41.0	45.5	9.7	23.1	12.7	4.5	9.0
藤ノ木、山室中部	(N=115)	42.6	30.4	53.9	12.2	20.0	8.7	3.5	5.2
太田、新保、熊野、月岡	(N=136)	43.4	31.6	41.9	8.8	25.0	5.9	5.1	8.1
四方、八幡、草島、倉垣	(N=133)	37.6	27.8	49.6	11.3	22.6	7.5	2.3	7.5
呉羽、長岡、寒江、古沢、老田、池多	(N=138)	33.3	38.4	41.3	13.0	24.6	5.8	3.6	7.2
水橋中部、水橋西部、水橋東部、三郷、上条	(N=141)	29.1	37.6	45.4	11.3	26.2	14.9	0.0	8.5
大沢野地域、細入地域	(N=144)	34.0	43.8	42.4	11.8	23.6	8.3	1.4	13.2
大山地域	(N=143)	25.9	40.6	53.8	21.0	18.2	12.6	2.8	7.0
八尾地域、山田地域	(N=147)	27.9	38.8	49.0	7.5	24.5	6.1	3.4	10.2
婦中地域	(N=137)	30.7	29.9	46.0	13.1	21.2	10.9	4.4	9.5

10 医療について

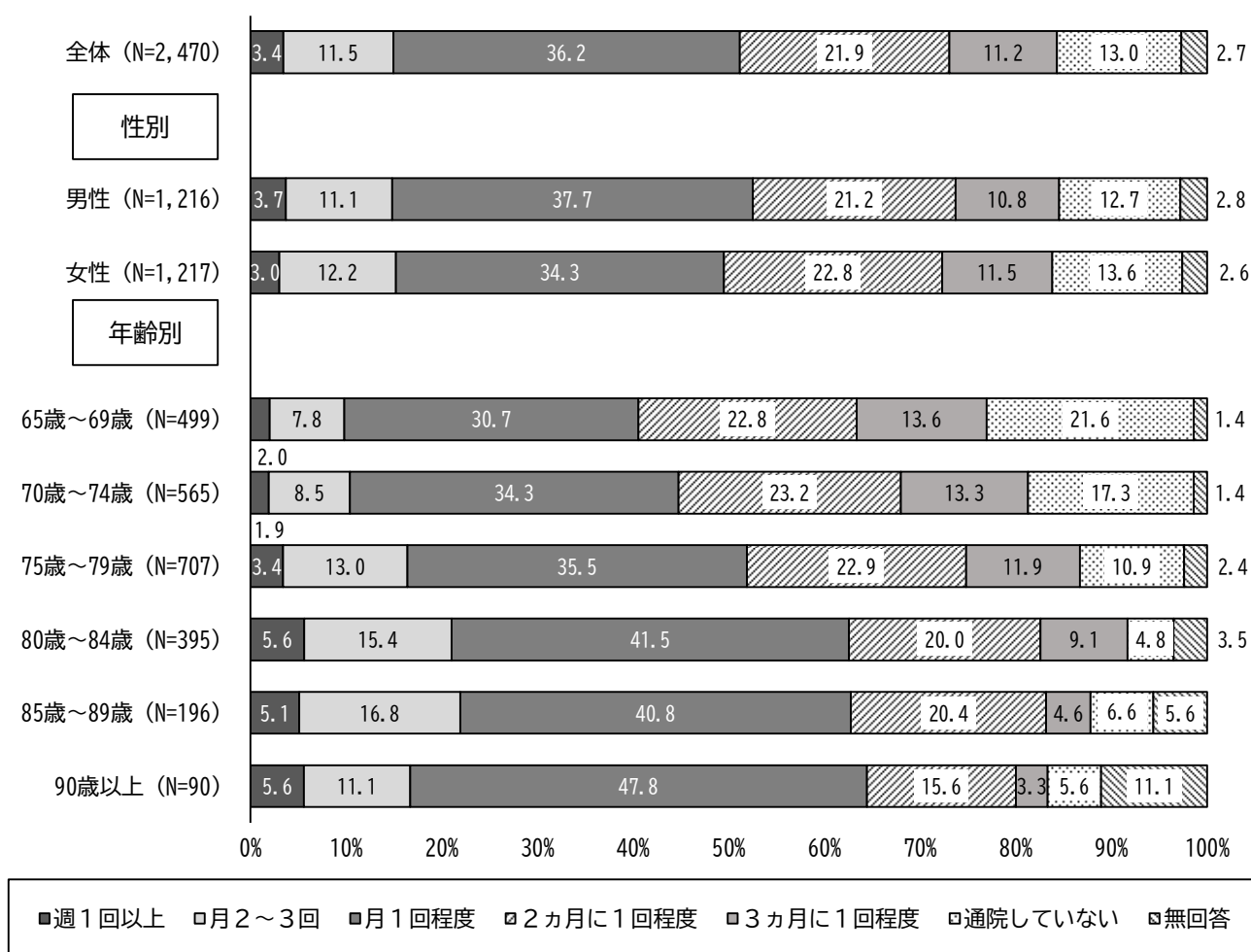
問 10（１）現在、病院・医院（診療所、クリニック）に通院していますか。

現在の通院状況についてみると、「月１回程度」が36.2%と最も高く、次いで「２ヵ月に１回程度」（21.9%）、「通院していない」（13.0%）の順となっている。

男女別にみると、大きな差はみられないが、女性は男性に比べて「通院していない」が若干高くなっている。

年代別にみると、年齢とともに通院している割合は高くなる傾向がみられ、特に80歳代以上は２ヵ月に１回以上通院している割合は８割以上と高くなっている。

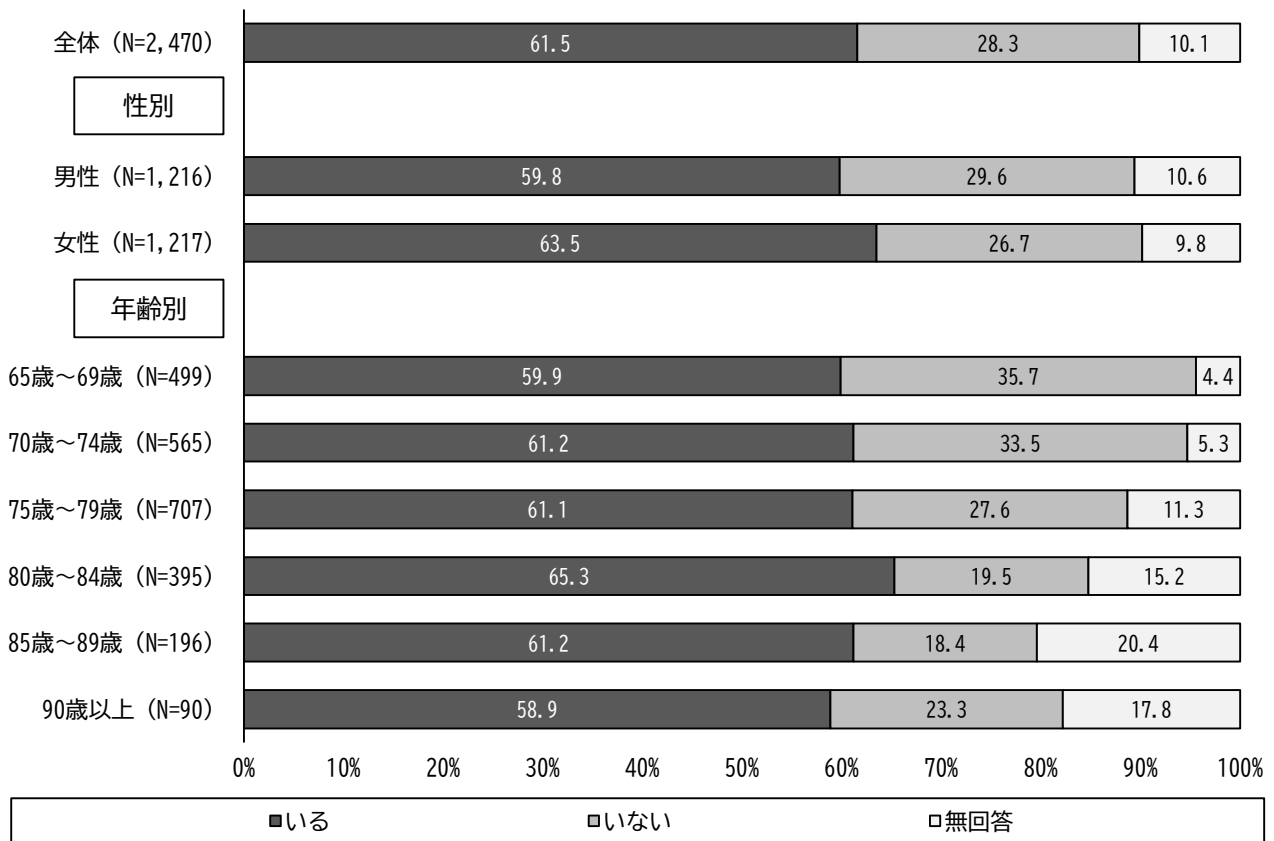
図表 10(1)現在の通院状況



問 10（2）現在、身近に何でも相談できる「かかりつけ医」はいますか。

かかりつけ医の存在の有無についてみると、「いる」が61.5%、「いない」が28.3%となっている。
男女別、年齢別にみても、大きな差はみられない。

図表 10(2)かかりつけ医の有無



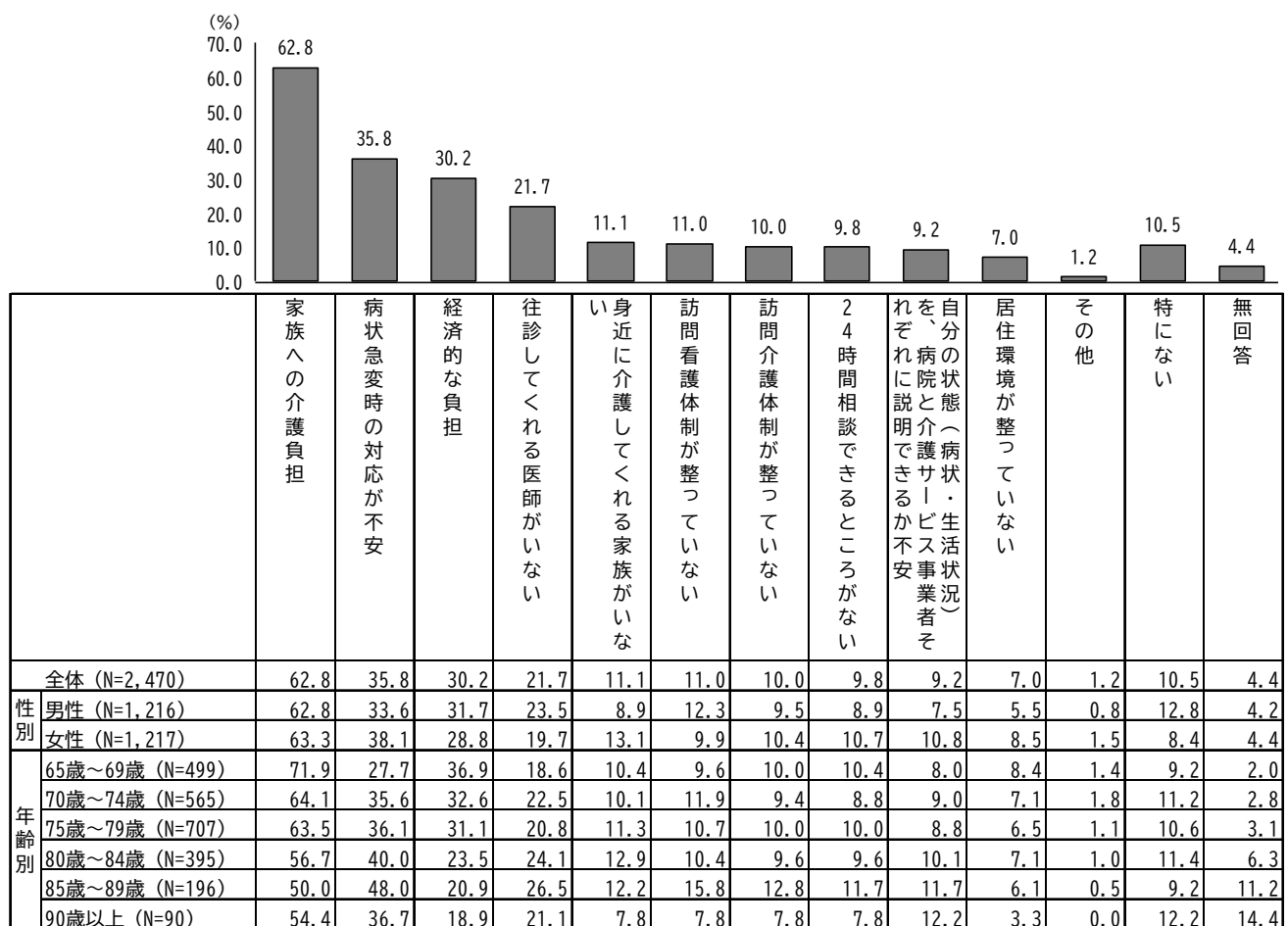
問 10（3）自宅で療養する場合に、どんな不安や課題等がありますか。（いくつでも）

自宅で療養する場合の不安や課題についてみると、「家族への介護負担」が62.8%と最も高く、次いで「病状急変時の対応が不安」（35.8%）、「経済的な負担」（30.2%）の順となっている。

男女別にみると、男性は「経済的な負担」、「往診してくれる医師がいない」などで女性に比べて高くなっている。他方で女性は「病状急変時の対応が不安」で男性より高くなっている。

年齢別にみると、すべての年代で上位1項目は変わらないものの、2項目目をみると、「65歳～69歳」の年代が「経済的な負担」となっており、他の世代の「病状急変時の対応が不安」と逆転している。

図表 10(3)自宅で療養する場合の不安や課題



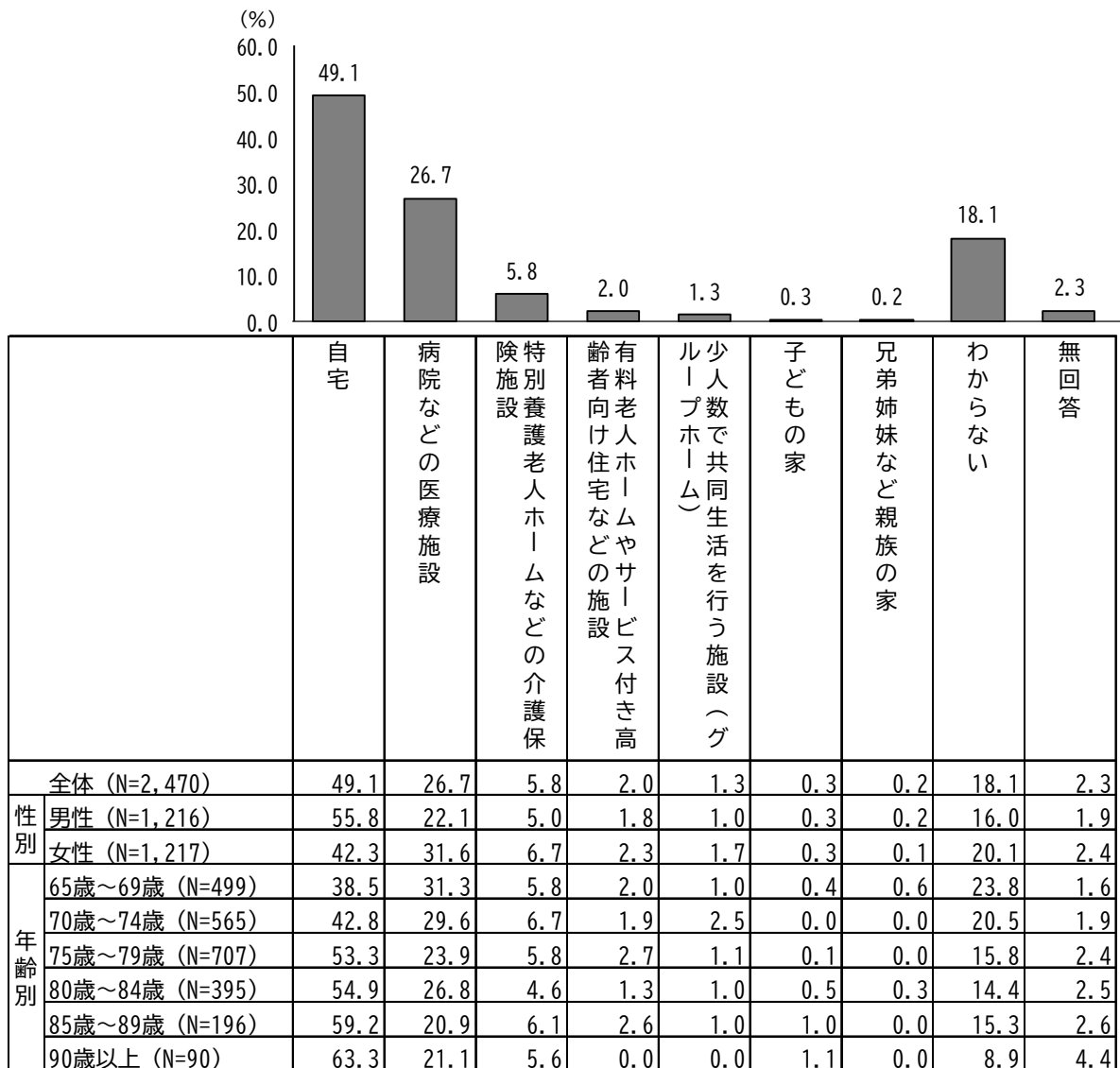
問 10（４）あなたはどこで最期を迎えることを望みますか（いくつでも）

希望する最期を迎える場所についてみると、「自宅」が49.1%と最も高く、次いで「病院などの医療施設」（26.7%）となっており、この2つの場所に集中している。また、「わからない」との回答は18.1%。

男女別にみると、男性は「自宅」が55.8%と、女性（42.3%）に比べて高くなっている。他方で女性は「病院などの医療施設」が31.6%と、男性（22.1%）に比べて高い。

年齢別にみると、すべての年代で上位の2項目は順位も含め変わらないが、「自宅」の割合は年齢とともに高くなる傾向がみられる。

図表 10(4)希望する最期を迎える場所



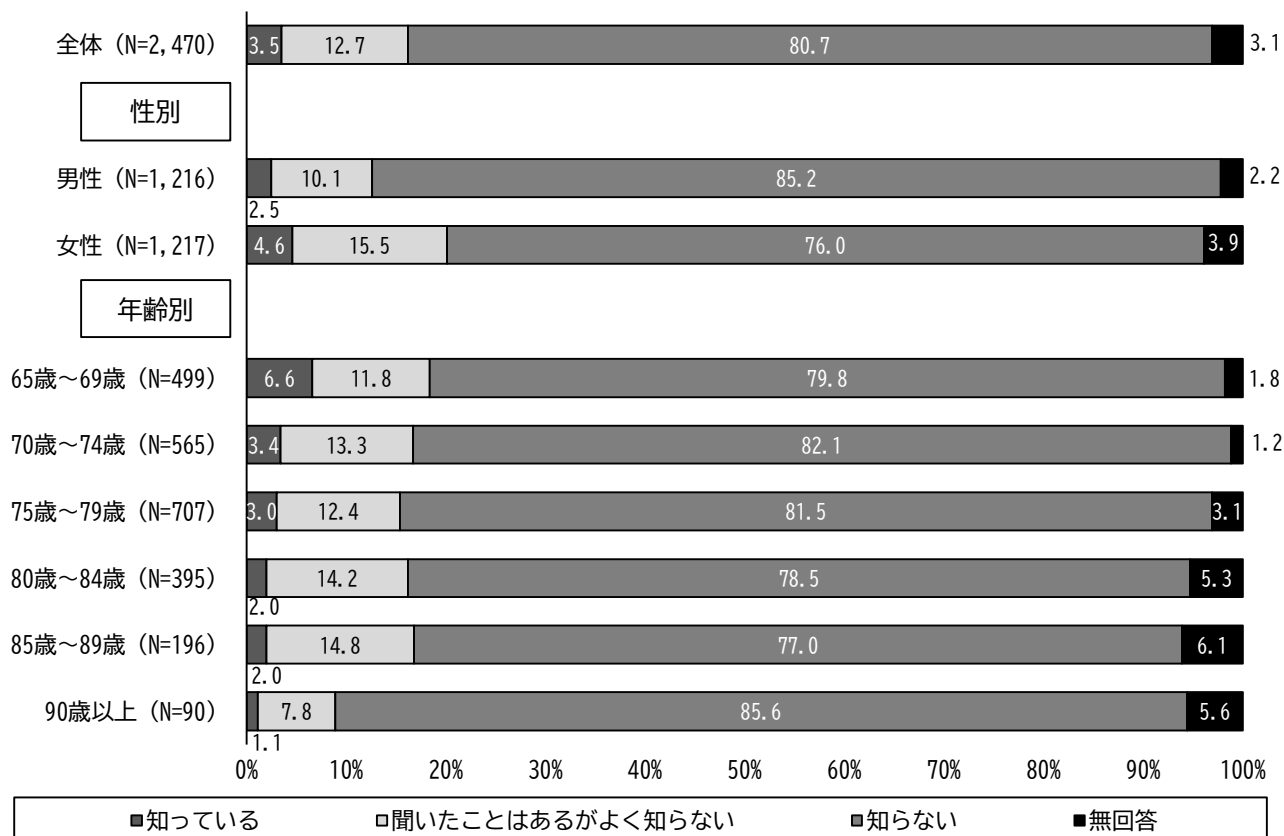
問 10（5）人生会議（ACP：アドバンスケア・プランニング）は知っていますか。

人生会議（ACP）について知っているかについてみると、「知っている」が3.5%、「聞いたことはあるがよく知らない」が12.7%、「知らない」が80.7%となっている。

男女別にみると、男性は「知らない」が85.2%と、女性（76.0%）に比べ高くなっている。

年齢別にみると、「知っている」割合が年齢とともに低くなる傾向がみられる。

図表 10(5)人生会議(ACP)を知っているか



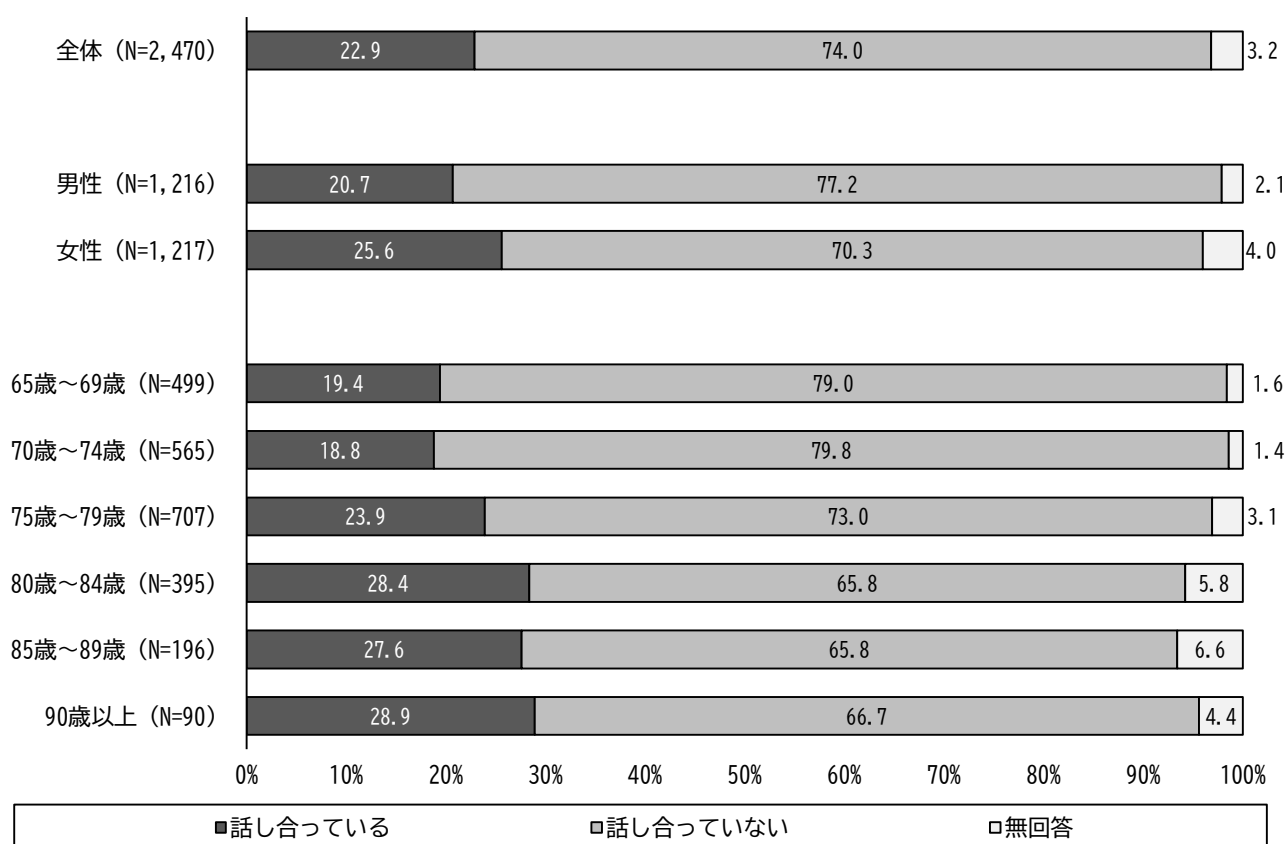
問 10（6）あなたが望む、人生の最終段階における医療やケアについて、家族等まわりの信頼する人
たちと話し合っていますか。

人生の最終段階における医療やケアについて、家族等まわりの信頼する人たちと話し合っているかについてみると、「話し合っている」が22.9%、「話し合っていない」が74.0%となっている。

男女別にみると、女性は「話し合っている」が25.6%と、男性（20.7%）に比べ高くなっている。

年齢別にみると、「話し合っている」割合は年齢とともに高くなる傾向がみられる。

図表 10(6)人生の最終段階における医療やケアについて、家族等まわりの信頼する人たちと話し合っているか



IV 調査票

高齢者保健福祉実態調査

令和8年2月
富山市

※回答は、この用紙に直接ご記入ください。(別に回答用紙はありません。) ボールペンでのご記入をお願いします。

設問のはじめに

(1)このアンケートに記入いただく方を教えてください。

1. あなた(ご本人)
2. ご家族(ご本人からの聞き取りにより記入)
3. その他(ご本人からの聞き取りにより記入)

(2)あなたの性別を教えてください。

1. 男性
2. 女性

(3)あなたの満年齢を教えてください。(令和8年1月1日現在)

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 65歳～69歳 | 2. 70歳～74歳 | 3. 75歳～79歳 |
| 4. 80歳～84歳 | 5. 85歳～89歳 | 6. 90歳以上 |

(4)あなたはどの地域にお住まいですか。(お住まいの地域に○をつけてください)

- | | |
|--------------------------------------|--------------------------|
| 1. 総曲輪、愛宕、安野屋、八人町、
五番町、柳町、清水町、星井町 | 2. 東部、山室 |
| 3. 西田地方、堀川、光陽 | 4. 堀川南、蜷川 |
| 5. 奥田、奥田北 | 6. 桜谷、五福、神明 |
| 7. 岩瀬、萩浦、大広田、浜黒崎 | 8. 針原、豊田 |
| 9. 広田、新庄、新庄北 | 10. 藤ノ木、山室中部 |
| 11. 太田、新保、熊野、月岡 | 12. 四方、八幡、草島、倉垣 |
| 13. 呉羽、長岡、寒江、古沢、老田、池多 | 14. 水橋中部、水橋西部、水橋東部、三郷、上条 |
| 15. 大沢野地域、細入地域 | 16. 大山地域 |
| 17. 八尾地域、山田地域 | 18. 婦中地域 |

(5)あなたは、介護認定を受けていますか。

1. 受けていない
2. 事業対象者
3. 要支援1
4. 要支援2

問1 あなたのご家族や生活状況について

(1)あなたは誰と一緒に暮らしていますか。

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 1人暮らし | 2. 夫婦2人暮らし（配偶者 65歳以上） |
| 3. 夫婦2人暮らし（配偶者 64歳以下） | 4. 息子・娘との2世帯 |
| 5. その他（ ） | |

【(1)において家族など同居されている方のみ】

①日中、高齢者(65歳以上)のみになることがありますか。

- | | | |
|---------|----------|-------|
| 1. よくある | 2. たまにある | 3. ない |
|---------|----------|-------|

②日中、一人になることがありますか。

- | | | |
|---------|----------|-------|
| 1. よくある | 2. たまにある | 3. ない |
|---------|----------|-------|

(2) あなたには、いざという時に頼りになる親族はいますか。

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(3)あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。

1. 介護・介助は必要ない
2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
3. 現在、何らかの介護を受けている
(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)

【(3)で「2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」または「3. 現在、何らかの介護を受けている」と回答された方のみ】

①介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。(いくつでも)

- | | |
|---|--|
| 1. 脳卒中（ <small>のうそっちゅう</small> 脳出血・ <small>のうしゅけつ</small> 脳梗塞等） | 2. 心臓病 |
| 3. がん（悪性新生物） | 4. 呼吸器の病気（ <small>はいきしゅ</small> 肺気腫・肺炎等） |
| 5. 関節の病気（リウマチ等） | 6. 認知症（ <small>にんちしょう</small> アルツハイマー病等） |
| 7. パーキンソン病 | 8. 糖尿病（ <small>とうようびょう</small> ） |
| 9. 腎疾患（ <small>じんしかん</small> 透析） | 10. 視覚・聴覚障害（ <small>しかく ちょうかくしょうがい</small> ） |
| 11. 骨折・転倒（ <small>こっせつ てんとう</small> ） | 12. 脊椎損傷（ <small>せきついそんしょう</small> ） |
| 13. 高齢による衰弱（ <small>すいじゃく</small> ） | 14. その他（ ） |
| 15. 不明 | |

【(3)で「3. 何らかの介護を受けている」と回答された方のみ】

②主にどなたの介護を受けていますか。(いくつでも)

- | | | |
|----------------|-----------|----------|
| 1. 配偶者（夫・妻） | 2. 息子 | 3. 娘 |
| 4. 子の配偶者 | 5. 孫 | 6. 兄弟・姉妹 |
| 7. 介護サービスのヘルパー | 8. その他（ ） | |

問1 あなたのご家族や生活状況について

(4)現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。

- | | | |
|-------------|-------------|--------|
| 1. 大変苦しい | 2. やや苦しい | 3. ふつう |
| 4. ややゆとりがある | 5. 大変ゆとりがある | |

(5)あなたが、生活の中で不安に思うことはありますか。(いくつでも)

1. 病気に関する不安
2. 寝たきりになることの不安
3. にんちしょう 認知症になることの不安
4. 孤独に関する不安(ひとり暮らしである、人とのつきあいがうまくいっていないなど)
5. 頼れる人が周囲にいないことへの不安
6. 家族の介護に関する不安
7. 経済(生活費など)に関する不安
8. 住宅の維持管理(除雪、庭木の手入れ、修繕など)に関する不安
9. じんけんしんがいはい 人権侵害に対する不安(暴力、無視、金銭の要求・無断使用 など)
10. 犯罪に対する不安(「オレオレ詐欺」、「振り込め詐欺」 など)
11. 災害(地震、火事、水害など)に関する不安
12. デジタル化への対応の不安
(パソコンやスマートフォンを使いこなせないこと、情報漏えいへの不安 など)
13. 特にない
14. その他 ()

(6)現在のお住まいで困っていることはありますか。(いくつでも)

- | | |
|--------------------------------|------------------|
| 1. 玄関や敷居等の段差 | 2. 庭木の手入れや除草 |
| 3. 冬期の除雪 | 4. 住宅の修繕などの維持・管理 |
| 5. 生活が不便(交通の便が悪い、近くにスーパーがないなど) | |
| 6. 近くに医療機関や介護保険施設などが無い | |
| 7. 特に困っていることはない | |
| 8. その他 () | |

(7)お住まいは、次のどれにあたりますか。

- | | |
|---|---|
| 1. 持家(一戸建て)
<small>こうえいちんたいじゅうたく</small> | 2. 持家(集合住宅)
<small>みんかんちんたいじゅうたく</small> |
| 3. 公営賃貸住宅
<small>みんかんちんたいじゅうたく</small> | 4. 民間賃貸住宅(一戸建て) |
| 5. 民間賃貸住宅(集合住宅) | 6. 借間 |
| 7. 有料老人ホーム、ケアハウス、サービス付き高齢者向け住宅 | |
| 8. その他 () | |

問2 からだを動かすことについて

(1)階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(2)椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(3)15分位続けて歩いていますか。

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(4)過去1年間に転んだ経験がありますか。

1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない

(5)転倒に対する不安は大きいですか。

1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない

(6)週に1回以上は外出していますか。

1. ほとんど外出しない 2. 週1回 3. 週2～4回 4. 週5回以上

(7)昨年と比べて外出の回数が減っていますか。

1. とても減っている 2. 減っている 3. あまり減っていない 4. 減っていない

【(7)で「1. とても減っている」または「2. 減っている」と回答された方のみ】

①外出の回数が減っている理由は、次のどれですか。(いくつでも)

1. 病気 2. 障害 (脳卒中の後遺症など) 3. 足腰などの痛み
 4. トイレの心配(失禁など) 5. 耳の障害 (聞こえの問題など) 6. 目の障害
 7. 外での楽しみがない 8. 経済的に出られない 9. 交通手段がない
 10. その他 ()

(8)外出する際の移動手段は何ですか。(いくつでも)

1. 徒歩 2. 自転車 3. バイク
 4. 自動車 (自分で運転) 5. 自動車 (人に乗せてもらう) 6. 電車
 7. 路線バス 8. 病院や施設のバス 9. 車いす
 10. 電動車いす (カート) 11. 歩行器・シルバーカー 12. タクシー
 13. コミュニティバス・シルバータクシー
 14. その他 ()

問3 食べることについて

(1)身長・体重

身長 _____ c m 、 体重 _____ k g

(2)半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。

1. はい 2. いいえ

(3)あなたの口腔の状態について、次に当てはまるものはありますか。(いくつでも)

1. お茶や汁物などでむせることがある
2. 口の渇きが気になる
3. 歯磨きをしない日がある
4. かかりつけの歯科医がいない
5. この中に当てはまるものはない

(4)歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。

(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です)

1. 自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用 2. 自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし
3. 自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用 4. 自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし

(5)どなたかと食事をとにもする機会がありますか。

1. 毎日ある 2. 週に何度かある 3. 月に何度かある
4. 年に何度かある 5. ほとんどない

問4 毎日の生活について

(1)物忘れが多いと感じますか。

1. はい 2. いいえ

(2)周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあると言われるか。

1. はい 2. いいえ

(3)自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。

※他者に電話番号を聞いたり、電話をかけてもらって会話するだけの場合は「いいえ」となります。

1. はい 2. いいえ

(4)バスや電車を使って 1 人で外出していますか。(自家用車でも可)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(5)自分で食品・日用品の買物をしていますか。

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

問4

毎日の生活について

(6)自分で食事の用意をしていますか。

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(7)自分で請求書の支払いをしていますか。

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(8)自分で預貯金の出し入れをしていますか。

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(9)自分でゴミ出しをしていますか。

1. している 2. していない

【(9)で「2. していない」と回答された方のみ】

①どなたがゴミ出しをしていますか。

1. 家族 2. 近隣の人 3. 友人 4. サービス事業者
5. その他（ ）

(10) 家庭内で何か役割はありますか。(いくつでも)

1. 炊事 2. 掃除 3. 洗濯 4. 孫の世話 5. 家族の介護
6. 庭や植栽の管理 7. ない 8. その他（ ）

(11)新聞や本、雑誌を読んでいますか。

1. はい 2. いいえ

(12) 家族や友人の相談にのっていますか。

1. はい 2. いいえ

(13)趣味や生きがいがありますか。

1. ある () 2. ない・思いつかない

(14)運動(散歩など軽い運動を含む)はどのぐらいの頻度で行っていますか。

1. ほぼ毎日 2. 週4～5日 3. 週2～3日 4. 週1日
5. 週1日未満 6. 以前はしていたが、現在はしていない 7. 全くしていない

問4

毎日の生活について

(15) 10～20 歳代の世代との交流がありますか。

1. はい 2. いいえ

【(15) で「1. はい」と回答された方のみ】

①それはどのような方ですか。

1. 孫 2. 親戚 3. 近隣の方 4. 利用するサービス事業所の職員
5. その他（ ）

②10～20 歳代の世代と交流することでうれしいと思うこと、支えになっていることは何ですか。(いくつでも)

1. おしゃべり
2. スマートフォンや機械の操作をしてくれる
3. 散歩やおでかけ
4. 生活支援（ゴミ出し、買い物、家事など）
5. 普段の見守り、声掛け
6. 特にない
7. その他（

(16)インターネットを活用していますか。

1. はい 2. いいえ

【(16)で「1. はい」と回答された方のみ】

①どのようなことに活用していますか。(いくつでも)

1. メール 2. 情報収集 3. 富山市公式 LINE
4. SNS(X、Instagram、TikTok など) 5. ネットショッピング
6. オンライン予約 7. ネットバンキング
8. その他()

【(16)で「2.いいえ」と回答された方のみ】

②インターネットを利用しない理由は何ですか。(いくつでも)

1. 使い方がわからないから
2. 経済的な理由から
3. インターネットによるトラブルが怖いから
4. 必要性を感じないから
5. その他()

問5 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

※①～⑧それぞれに回答してください。

	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない
① ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
② スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③ 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④ 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤ 介護予防ふれあいサークルや楽楽いきいき運動など介護予防のための通いの場	1	2	3	4	5	6
⑥ 老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦ 町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑧ 収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。

1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。

1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している

問6 たすけあいについて

あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします

(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人はどなたですか。(いくつでも)

- | | | |
|----------------|---------------|-----------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他 () | 8. そのような人はいない | |

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人はどなたですか。(いくつでも)

- | | | |
|----------------|---------------|-----------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他 () | 8. そのような人はいない | |

問6

たすけあいについて

あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします

(3)あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はどなたですか。
(いくつでも)

- | | | |
|--------------------------|-----------|-----------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他 () 8. そのような人はいない | | |

(4)反対に、あなたが看病や世話をしてあげる人はどなたですか。(いくつでも)

- | | | |
|--------------------------|-----------|-----------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他 () 8. そのような人はいない | | |

(5)家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。
(いくつでも)

- | | | |
|--------------------------|-------------------|------------|
| 1. 自治会・町内会・老人クラブ | 2. 社会福祉協議会・民生委員 | 3. ケアマネジャー |
| 4. 医師・歯科医師・看護師 | 5. 地域包括支援センター・市役所 | |
| 6. その他 () 7. そのような人はいない | | |

(6)友人・知人と会う頻度はどのくらいですか。

- | | | |
|----------|----------|-----------|
| 1. 週4回以上 | 2. 週2～3回 | 3. 週1回 |
| 4. 月1～3回 | 5. 年に数回 | 6. 会っていない |

問7

健康について

(1)現在のあなたの健康状態はいかがですか。

- | | | | |
|----------|---------|------------|---------|
| 1. とてもよい | 2. まあよい | 3. あまりよくない | 4. よくない |
|----------|---------|------------|---------|

(2)あなたは、現在どの程度幸せですか。

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として点数に○をつけてください)。

とても不幸 ←————→ とても幸せ

0点 1点 2点 3点 4点 5点 6点 7点 8点 9点 10点

(3)この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(4)この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問7 健康について

(5)タバコは吸っていますか。

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. ほぼ毎日吸っている | 2. 時々吸っている |
| 3. 吸っていたがやめた | 4. もともと吸っていない |

(6)現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(いくつでも)

- | | |
|--|--|
| 1. ない | 2. 高血圧 |
| 3. 脳卒中 <small>（脳出血・脳梗塞等）</small>
<small>のうそっちゅう のうしゅけつ のうこうそくなど</small> | 4. 心臓病 |
| 5. 糖尿病
<small>とうようびょう</small> | 6. 高脂血症 <small>（脂質異常）</small>
<small>こうしけっしょう ししつじょう</small> |
| 7. 呼吸器の病気 <small>（肺炎や気管支炎等）</small> | 8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気 |
| 9. 腎臓・前立腺の病気
<small>じんぞう ぜんりつせん</small> | 10. 筋骨格の病気 <small>（骨粗しょう症、関節症等）</small>
<small>きんこつかく こつそ しょう</small> |
| 11. 外傷 <small>（転倒・骨折等）</small>
<small>がいしょう てんとう こっせつなど</small> | 12. がん <small>（悪性新生物）</small> |
| 13. 血液・免疫の病気
<small>めんえき</small> | 14. うつ病 |
| 15. 認知症 <small>（アルツハイマー病等）</small>
<small>にんちしょう</small> | 16. パーキンソン病 |
| 17. 目の病気 | 18. 耳の病気 |
| 19. その他（ | ） |

(7)健康づくりや介護予防のためにどのようなことをしていますか。(いくつでも)

1. 運動（散歩など軽い運動を含む）を行うようにしている
2. 生活の中でなるべく体を使うようにしている（エレベーターや車を使わないなど）
3. バランスのよい栄養摂取（食事、サプリメント）を意識している
4. 休養や睡眠を十分とるようにしている
5. 規則的な生活を心がけている
6. 歯（義歯含む）や口腔の健康を意識している
7. 健康診断を受診している
8. 気持ちをなるべく明るく持つようにしている
9. 酒やタバコを控えている
10. 趣味や教養のため外出している
11. 地域活動（長寿会や自治会活動を含む）に参加するようにしている
12. 友人との交流を大切にしている
13. 特にない
14. その他（

）

問7 健康について

(8)健康づくりや介護予防のために今後やってみたいことは何ですか。(いくつでも)

- | | | |
|-----------------------|---------------|--------------|
| 1. 運動（散歩など軽い運動を含む） | 2. 働くこと | 3. 家事や家庭内の世話 |
| 4. ボランティア活動 | 5. 趣味や教養活動 | 6. 友人との交流 |
| 7. 地域活動（長寿会や自治会活動を含む） | 8. 栄養摂取に関すること | |
| 9. 口腔ケア | 10. 特にない | |
| 11. その他（ | | ） |

(9)話し声や周囲の音が聞こえにくいと感じることはありますか。

1. はい 2. いいえ

【(9)で「1. はい」と回答された方のみ】

①音の聞こえが良くなる機器を利用していますか。

1. 補聴器
2. 集音器（補聴器のように周波数ごとの精密調整ができず、周囲の音を一律で大きくする機器）
3. その他の機器（ ） 4. 利用していない

【①で「2. 集音器」「3.その他の機器」「4. 利用していない」と回答された方のみ】

②補聴器を利用しない理由は何ですか。

1. 利用するほどの不便さを感じていない
2. 利用したいが、費用面で購入を躊躇している
3. 装着時の見た目が気になる
4. その他（ ）

問8 認知症について

(1)あなたは、認知症という言葉や症状についてどの程度知っていますか

1. 言葉も症状も知っている 2. 言葉は知っているが、症状は知らない
3. 言葉も症状も知らない 4. その他（ ）

(2)あなたは認知症についての情報を何から得ていますか(いくつでも)

- | | | |
|-------------------|-----------------|----------------------|
| 1. テレビ、ラジオなど | 2. インターネットや SNS | 3. 家族、友人、知人などの話 |
| 4. 雑誌や書籍 | 5. 医療機関 | 6. ケアマネジャーなど介護関連の専門職 |
| 7. 市役所や地域包括支援センター | 8. 講演会や研修会 | 9. 情報を得る方法がわからない |
| 10. 情報を得ていない | 11. その他（ | ） |

(3)認知症に関する相談窓口を知っていますか。

1. はい 2. いいえ

問8

認知症について

(4) 認知症についてどのようなイメージがありますか。(いくつでも)

1. 認知症になると何もできなくなる
2. 認知症になってもできること、やりたいことがある
3. 認知症になると何も分からなくなる
4. 認知症になっても住み慣れた地域で自分らしく生活できる
5. 認知症は年を取るとなる病気だと思う
6. 認知症は誰でもなる可能性がある
7. 認知症はこわい病気だと思う
8. 認知症になってもわかること、できることがたくさんある
9. その他 ()

(5) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。

1. はい
2. いいえ

(6) もし、あなたや家族が認知症になったら、どのようなことが不安ですか。(いくつでも)

1. これまでできていたことができなくなる
2. 病院等で治療しても症状が改善しない
3. どこに相談すればよいかわからない
4. 家族や自分に介護等の精神的・肉体的負担がかかる
5. 治療や介護等に金銭的負担がかかる
6. 自宅で生活できなくなる
7. 外出した際、家に帰れなくなる
8. 家族に迷惑をかけてしまう
9. 家族以外の周りの人に迷惑をかけてしまう
10. これまで参加していた活動（老人クラブ、サークル等）に参加できなくなる
11. その他 ()

(7) もし、あなたが認知症になったら、家族や近隣の人、友人に認知症であることを伝えようと思いますか。①～⑤それぞれに○印を付けてください。

①家族 (夫、妻)	②家族 (子)	③家族 (兄弟姉妹)	④近隣の人	⑤友人
1. 伝える	1. 伝える	1. 伝える	1. 伝える	1. 伝える
2. 必要に応じて伝える	2. 必要に応じて伝える	2. 必要に応じて伝える	2. 必要に応じて伝える	2. 必要に応じて伝える
3. 伝えない	3. 伝えない	3. 伝えない	3. 伝えない	3. 伝えない
4. わからない	4. わからない	4. わからない	4. わからない	4. わからない

問8

認知症について

(8)あなたは、認知症について知りたい、学びたいと思いますか

1. 思う
2. どちらかというと思う
3. どちらかというと思わない
4. そう思わない
5. その他 ()

【(8)で「1. 思う」または「2. どちらかというと思う」と回答されたのみ】

①認知症に関するどのようなことを知りたい、学びたいと思いますか。(いくつでも)

1. 認知症の症状について
2. 認知症の人への対応について
3. 介護の方法について
4. 利用できる介護サービスや制度について
5. 施設や事業所について
6. 成年後見制度（自分のことを自分で決めたりむずかしくなった時への備えなど）について
7. 社会参加や活動の場について
8. 認知症の人の気持ちや思いについて

(9)認知症の人が住み慣れた地域で暮らしていくためにはどのような支援が必要だと思いますか。(特に当てはまるもの3つまで○印を付けてください)

1. 地域の見守り体制の充実（ネットワークの構築、連絡体制整備など）
2. 認知症を正しく理解するための啓発活動の充実
3. 家族などの介護負担を軽減するための施策の充実
4. 認知症専門相談窓口の設置
5. 認知症の専門医の設置
6. 認知症の介護サービス（在宅・施設サービス）の充実
7. 認知症高齢者徘徊 SOS 緊急ダイヤル（事前登録制）の登録の推進
8. 成年後見制度などの活用促進
9. 認知症の人や家族、地域住民の誰もが気軽に集える場（「認知症カフェ」など）の設置
10. 認知症の人の社会参加や働く場の確保
11. 認知症の人やその家族を支援するボランティアの育成
12. できるだけ早い段階から、医療・介護等のサポートを利用できる仕組みづくり
13. 医療機関や認知症の人と家族に役立つサービスの情報提供（地域資源マップなど）
14. その他 ()

高齢者福祉について

(1)身近な地域で総合的な相談ができる機関として、地域包括支援センターを知っていますか、また、利用したことがありますか。

1. 利用したことがある 2. 知っているが利用したことはない 3. 知らない

(2)介護を受けながら生活していくときに、どの生活が望ましいと思いますか。

(最も当てはまるものの1つのみ○印を付けてください)

1. 在宅で家族の介護を受けながら暮らしたい
2. 在宅でヘルパーによる訪問介護、日帰りで施設に通うデイサービス、短期間だけ施設に宿泊するショートステイなどのサービスを活用しながら暮らしたい
3. 自宅の近くにある小規模なグループホーム（認知症対応の施設）で安心した生活を送りたい
4. 特別養護老人ホームなどのプライバシーの確保された個室で安心した生活を送りたい
5. 特別養護老人ホームなどで安心した生活を送りたいが個室にはこだわらない
6. 有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅などで暮らしたい
7. その他（ ）

(3)介護サービスなどを受けながら自宅で生活し続けるために必要なことは何だと思えますか。(いくつでも)

1. 在宅で生活する高齢者に対する地域住民や介護施設職員の見守り体制
2. ヘルパーや看護師などが自宅を訪れ、日常生活の世話や療養上の世話をを行うサービス
3. 日帰りで施設に通うデイサービス
4. 短期間施設に宿泊するショートステイなどのサービス
5. 住宅の改修や福祉用具の貸与・購入に関する費用の支給
6. 在宅で生活する高齢者を介護する家族に対する支援
7. その他（ ）

(4)あなたがいつまでも住み慣れた地域で安心して暮らしていくためには、どのような生活支援やサービス等が必要だと思いますか。(特に当てはまるもの3つまで○印を付けてください)

1. 声かけや見守りサービス
2. 日常の相談相手
3. 食事の準備・調理・片付け
4. 配食サービス
5. 掃除・洗濯
6. ゴミ出し（分別、資源回収含む）
7. 買物代行や配達、移動販売
8. 外出支援（付き添い、送迎）
9. 草取り・庭木の手入れ
10. 家の中の簡易な修理、電球交換等
11. 除雪
12. 地域での集いの場（サロン、サークル等）
13. 支援は必要ない
14. その他（ ）

問9 高齢者福祉について

(5)あなたは介護保険制度における費用負担について、どのようにお考えですか。
(最も当てはまるもの1つのみ○印を付けてください)

1. 現状程度の費用負担が適当である
2. サービスは少なくともよいが、なるべく低料金で利用したい
3. それなりの費用負担をしても、多様なサービスを受けたい
4. その他 ()

(6)あなたが身近に整備してほしいと思う介護・福祉施設などはどれですか。(いくつでも)

1. 筋力向上トレーニングや転倒予防などの介護予防を目的とした施設
2. 日帰りで通うデイサービスや短期間だけ宿泊するショートステイの施設
3. ひとつの事業所で、訪問介護やデイサービス、ショートステイなど柔軟に組み合わせたサービスを行う施設(小規模多機能型居宅介護)
4. 少人数で共同生活を行う施設(グループホームなど)
5. 特別養護老人ホームなどの介護保険施設
6. 有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅などの施設
7. その他 ()

問10 医療について

(1)現在、病院・医院(診療所、クリニック)に通院していますか。

- | | | |
|-------------|-------------|------------|
| 1. 週1回以上 | 2. 月2～3回 | 3. 月1回程度 |
| 4. 2ヵ月に1回程度 | 5. 3ヵ月に1回程度 | 6. 通院していない |

(2)現在、身近に何でも相談できる「かかりつけ医」はいますか。

1. いる
2. いない

(3)自宅で療養する場合に、どんな不安や課題等がありますか。(いくつでも)

- | | |
|---|----------------------|
| 1. 特にない | 2. 家族への介護負担 |
| 3. 病状急変時の対応が不安 | 4. 往診してくれる医師がいない |
| 5. 訪問看護体制が整っていない | 6. 訪問介護体制が整っていない |
| 7. 24時間相談できるところがない | 8. 居住環境が整っていない |
| 9. 経済的な負担 | 10. 身近に介護してくれる家族がいない |
| 11. 自分の状態(病状・生活状況)を、病院と介護サービス事業者それぞれに説明できるか不安 | |
| 12. その他 () | |

問10 医療について

(4)あなたは、どこで最期を迎えることを望みますか。

- | | | |
|-------------------------------|-----------------------|---------------|
| 1. 自宅 | 2. 子どもの家 | 3. 兄弟姉妹など親族の家 |
| 4. 病院などの医療施設 | 5. 特別養護老人ホームなどの介護保険施設 | |
| 6. 少人数で共同生活を行う施設（グループホームなど） | | |
| 7. 有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅などの施設 | | |
| 8. わからない | | |

(5)人生会議(ACP:アドバンスケア・プランニング)は知っていますか。

- | | |
|----------|--------------------|
| 1. 知っている | 2. 聞いたことはあるがよく知らない |
| 3. 知らない | |

人生会議（ACP：アドバンスケア・プランニング）とは…

あなたが大事にしていることや望んでいること、どこで、どのような医療・ケアを受けたいかを、自分自身で前もって考え、周囲の信頼する人たちと共有しておくこと。

(6)あなたが望む、人生の最終段階における医療やケアについて、家族等まわりの信頼する人たちと話し合っていますか。

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 話し合っている | 2. 話し合っていない |
|------------|-------------|

■■■以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました■■■

※記入もれがないか、今一度お確かめください。

※記入した調査票は切り離すことなく3つ折りにして、同封の返信用封筒に入れて（切手は不要です）令和8年2月13日（金）までに投函してください。

高齢者保健福祉実態調査報告書

令和8年3月 発行

富 山 市

富山市新桜町7番38号

T E L : 076-431-6111

お問い合わせ先 **富山市福祉保健部長寿福祉課**

T E L : 076-443-2150

調査・分析 **有限会社W I Z A R D**
富山市秋吉191番地9号
T E L : 076-464-3272
